令和８年度　第１回静岡市生涯学習推進審議会（第９期第４回）

日時：令和８年６月 22 日（月）14 時 00 分～
会場：葵消防署　７階　講堂

次　　第

１　開　会

２　生涯学習推進課長挨拶

３　議事
（１）報告事項
　ア　第３次大綱推進計画の令和７年度実績について 資料１―１，２，３
　イ　第３次大綱推進計画の前期推進計画中間評価について　資料２

（２）審議事項
　ア　第３次大綱推進計画の見直し骨子案について 資料３－１、２

４　事務連絡

５　閉会

令和7年度推進計画　施策評価

資料１－１

総合評価

A

・生涯学習施設の利用者数が前年度に比べて約1.3%増加している。「こ・こ・に」については、令和6年度に特定の分野やテーマに必要な知識・スキルを体系的に身につけられる内容となるよう見直しを行ったことにより、講座数が43講座から30講座に再編されたものの、受講生数に対する修了生数の割合は9割を超えており、地域や社会で求められる知識や技術を身につけられている。
・今後、生涯学習に取り組む市民の数を増やし、第3次大綱を進捗させる上では、社会情勢の変化による地域や社会に求められる人材の変化を的確にとらえ、求められる学習ニーズに合わせた講座の実施や人材養成を進めるとともに、「学び」を地域や社会に活かすために、市民の自発的な地域・社会活動を支援していくことが必要である。また、Wi-Fiの整備をはじめとしたデジタル化を推進することによる施設の利便性向上やオンライン学習ニーズへの対応にも併せて取り組む必要がある。

施策の柱・リーディングプロジェクト



A

【評価点】
現代的課題に関する講座は全生涯学習施設で計画以上に開催され、受講生満足度は平均約91.7%に達し、概ね目標値(91.8%)を達成することができた。また、生涯学習団体数については、生涯学習団体発足のための講座を実施したことで、徐々に増加しており、令和7年度末時点で1,907団体となった。芹沢銈介美術館の観覧者数や駿府匠宿の創作体験者は、企画展の開催や体験内容の充実により、目標値を大きく上回る結果となった。

【改善点】
各生涯学習施設で、職業能力の向上、キャリア観の形成、就労支援等を扱った講座を実施し、受講生満足度も93.3%と目標値の94.0%に近いものであった。実施日時については、平日の夜間や土日に設定して就労者でも参加しやすい工夫をしたが、募集定員を大きく下回った講座もあったため、講座の内容や開催方法について工夫する必要がある。

【リーディングプロジェクト①】
「大人の学び直し」を推進する“Reまなび”プロジェクト
※PICK UP 項目　生涯学習施設の「Reまなび講座」
「大人の学び直し」をテーマに大学と連携した講座を展開し、現役社会人も含め、多くの市民に高度で専門的な学習機会を提供できた。例えば、Reまなび大学リレー講座6回と大学共催公開講座37回を計画以上に開催し、受講者満足度はいずれも目標を概ね達成した。
一方、社会ニーズの高度化に対応するため、大学との連携を一層強化し、講座内容を時代に合わせアップデートしていく必要があり、学習効果を最大化することで、市民の“Reまなび”を継続的に支えていく。



B

【評価点】
「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」では、地域や社会で活躍するために求められる知識・技能・技術を習得できる講座を提供し、最終回アンケートでは修了生の9割以上から「学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい」という回答を得ることができた。
令和7年度からオープンバッジを導入したことにより、個人の学びや活動を記録に残すだけでなく、学びで得た専門的な知識やスキルを客観的にデジタルで証明できるようになったことで、修了後の支援を充実させた。

【改善点】
学生を対象にした課題解決型の講座を複数提供しているが、他の自治体や民間企業等でも同様の講座が増えてきており、受講生の獲得が激化している。市内の高校や大学への広報活動を通じて申込に繋がっているものの、いずれも申込者数が募集人数を下回っている状態である。講座の特徴や受講後に習得できる能力や技術を伝えながら、他の講座との差別化を図る必要がある。

【リーディングプロジェクト②】シン「こ・こ・に」プロジェクト
※PICK UP 項目　静岡シチズンカレッジこ・こ・に推進事業
参加者の自己評価が極めて高く、令和7年度は、受講生のうちシチズンチップ(公共意識)が身についた人の割合が96.0%(目標値98.0%)に達した。
多文化共生や障がい者理解など多様なプログラムを通じて地域社会を担う人材を養成できた。
デジタルで講座の受講歴を客観的に証明できるオープンバッジの導入により、講座で身につけた知識やスキルを就職や転職などの場面や、地域活動を行う際に活用ができるような修了後の支援策が強化された。



A

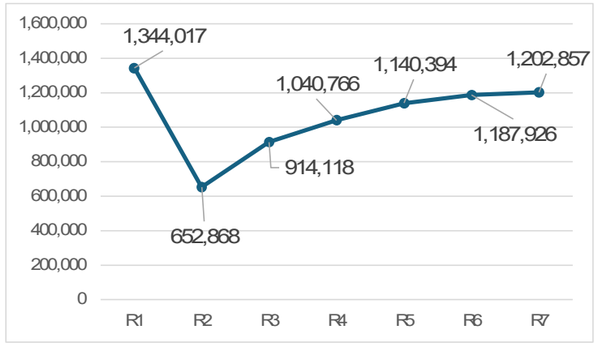
【評価点】
令和6年度から導入した施設予約システムが安定に稼働し、利用者がいつでも施設予約システムを使用できる状態を提供することができた。それにより、利用申請前の予約受付や抽選などを円滑に行うことができ、利用者の利便性向上や施設管理業務の効率化につなげることができた。また、キャッシュレス決済を導入したことにより、さらなる利便性の向上を図っている。

【改善点】
キャッシュレス決済は、支払いのため窓口で手続きを行う必要があるため、予約システムにオンライン決済機能を追加し、自宅で使用料の支払いができるよう改善を図る必要がある。そのためには、実際の利用に支障が出ないよう、各生涯学習施設の指定管理者と十分な協議を行っていく。

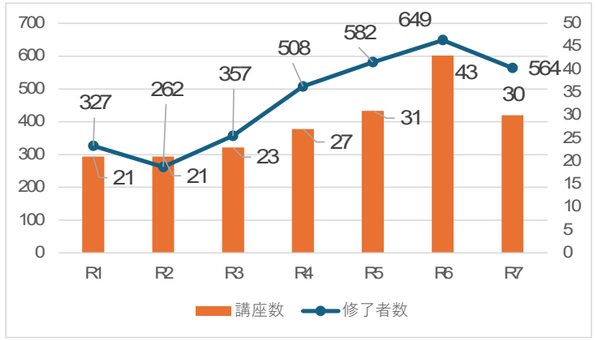
【リーディングプロジェクト③】生涯学習DXプロジェクト
※PICK UP 項目　生涯学習施設デジタル化推進事業
各施設に配備しているモバイルWi-Fiルーターの利用について、延べ利用回数が目標の85.5%とやや低い結果となったが、着実にモバイルWi-Fiルーターを使用してのデジタル学習が浸透している。ルーター4台を山間地域でも電波受信できる携帯キャリアへ契約変更し、市内全域での活用を可能とした。デジタル基盤の利便性を最大限に活かし、市民の学習機会拡充と参加率向上に繋げていく。

参考資料

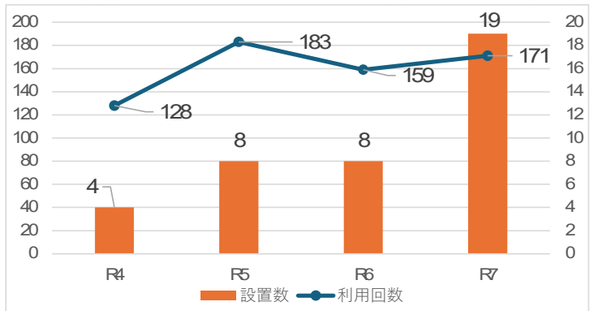
①生涯学習施設の利用者数



②「こ・こ・に」講座　講座数及び修了数の推移



③生涯学習施設のモバイルWi-Fiルーター設置数及び延べ利用回数



※Wi-Fiの整備は令和４年度途中からの実施。指定管理施設、直営館の合計を算出。

※評価方法

本シートの総合評価及び施策の柱・リーディングプロジェクトの評価については、推進計画登載事業中の所管課による評価を参考にしつつ、それぞれの事業における実施状況や実績に基づくデータ等参考にし、総合的に判断してA、B、Cの3段階で評価した。(A:施策の進捗はおおむね順調、B:施策の進捗が停滞、C:施策の進捗には大幅な改善が必要)

令和7年度推進計画　事務事業評価

資料1－2

推進目標	施策の方向性（大施策）	施策の取組み（小施策）	R7年度の取組予定を基準値とした達成状況						進捗評価（施策ごと）		【参考】
			登載事業数	期待以上 S（105%以上）	達成できた A（104～90%）	やや達成できた B（89%～70%）	達成できなかった C（70%未満）	未実施 D（コロナ等）	A評価以上の割合（未実施を評価対象から除く）	A:80%以上達成 B:50～79%達成 C:50%未満	S評価の割合
1 誰もが気軽に学び、互いに学び合える機会の充実	(1)変化の激しい社会で生き抜くための学習機会の提供	①現代的課題に関する学習機会の提供	19	3	14	1	1	0	92.9%	A	14.3%
		②青少年期に学びの基礎を身に付けるための学習機会の提供	6	1	5	0	0	0			
		③仕事や就職に関する学習機会の提供	3	0	3	0	0	0			
	(2)暮らしを豊かにする学習機会の提供	①学びとしてのスポーツに関わる学習機会の提供	14	4	6	2	2	0	73.1%	B	23.1%
		②文化・芸術・趣味に関する学習機会の提供	4	1	2	1	0	0			
		③健康に関する学習機会の提供	8	1	5	2	0	0			
	(3)市民の自発的な学習の促進	①生涯学習施設等の学ぶ場所の提供（貸館・展示等）	27	10	14	2	1	0	86.5%	A	27.0%
		②展示等による鑑賞・学習機会の提供	10	d	8	2	0	0			
		小計	91	20	57	10	4	0	84.6%	A	22.0%
2 学びを地域や社会に活かすための支援の充実	(1)地域や社会を担う人材の養成	①シチズンシップに富んだ人材の養成	23	6	8	9	0	0	57.5%	B	17.5%
		②地域経済を担う人材の養成	17	1	8	6	2	0			
	(2)対話や地域交流の促進	①対話を通じた学びや地域・社会活動の促進	1	0	0	1	0	0	33.3%	C	0%
		②学びをきっかけにした地域交流の活性化	2	0	1	1	0	0			
	(3)市民の自発的な地域・社会活動の促進	①人材活用の場の提供	2	1	1	0	0	0	90.9%	A	27.3%
		②自発的な地域・社会活動の支援	3	1	2	0	0	0			
		③学びを活かして活動する場所の提供	6	1	4	1	0	0			
		小計	54	10	24	18	2	0	63.0%	B	18.5%
3 「学ぶ」「活かす」の循環を支える基盤の充実	(1)学びやすい生涯学習施設等の整備	①生涯学習施設等の整備・維持・管理	37	13	21	3	0	0	92.1%	A	34.2%
		②生涯学習施設等の使いやすさの向上	1	0	1	0	0	0			
	(2)生涯学習施設等のデジタル環境の整備	①生涯学習施設等のデジタル環境の整備	1	0	0	1	0	0	66.7%	B	0.0%
		②生涯学習施設等の予約システムの管理・運用	2	0	2	0	0	0			
	(3)生涯学習に関する啓発や情報発信	①学ぶことの大切さの啓発	1	0	1	0	0	0	100%	A	0%
		②学習情報などの効果的な発信	1	0	1	0	0	0			
	(4)学習・活動相談体制の整備	①学習相談・活動相談の充実	1	1	0	0	0	0	100%	A	100%
	(5)生涯学習推進体制の充実	①行政・企業・高等教育機関・NPO等との連携	1	0	1	0	0	0	100%	A	25%
		②市における推進体制の充実	3	1	2	0	0	0			
		小計	48	15	29	4	0	0	91.7%	A	31.3%
		合計	193	45	110	32	6	0	80.3%	A	23.3%

※評価方法　各事業の評価は、所管課による自己評価に基づき、達成度に応じてS～Cの4段階で評価した。未実施の事業はD評価とした。
総合評価、施策の柱及び大施策ごとの評価は各事業の評価のうちA評価以上の割合に応じてA～Cの3段階で評価した。（A評価以上の割合が80%以上→A、50%以上→B、49%以下→C）

第３次静岡市生涯学習推進大綱　前期推進計画期間　令和７年度登載事業一覧

資料１－３

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
1　誰もが気軽に学び、互いに学び合える機会の充実																									
（１）変化の激しい社会で生き抜くための学習機会の提供																									
①現代的課題に関する学習機会の提供																									
1	1	(1)	①	生涯学習事業（現代的課題）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	人権、多文化共生、政治、経済、情報リテラシー、環境問題、防災、交通安全等を扱った講座の実施	講座回数	各館5分野のうち4分野実施	32施設中26施設で5分野のうち４分野実施。	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	91.8%	91.8%	90.4%	91.4%	直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	91.7%	A	A	受講生満足度がほぼ目標どおりであり、目的に沿った学習機会の提供をすることができたため。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	市民に身近な各生涯学習施設において、現代的課題等に関する学習機会を提供することができた。
2	1	(1)	①	社会教育事業	生涯学習推進課	市（直営・委託）	高齢者、こどもの保護者、女性を対象に、それぞれの現代的課題に対する学習ニーズに応える。	①高齢者学級の開催 ②家庭教育学級の開催 ③女性学級の開催	①高齢者学級の学級数 ②家庭教育学級の学級数 ③女性学級の学級数	①36学級 ②28学級 ③25学級	①36学級 ②29学級 ③24学級	26,413千円＋指定管理料の一部	25,552千円＋指定管理料の一部	①延べ参加者数 ②受講生満足度	①21,827人 ②93.3%	①21,608人 ②93.3%	①22,262人 ②92.7%	①21,611人 ②92.4%	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①20,341人 ②92.3%	A	A	延べ参加者数、受講生満足度ともに目標の９割を超え、それぞれの対象者の学習ニーズに応えることができているため。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	高齢者、こどもの保護者、女性を対象に、社会教育として求められる学習機会を提供することができた。
3	1	(1)	①	オクシズの森林体感！事業	森林経営管理課	市（委託）	豊かな自然環境下での学習や実際に林業の仕事を体験することで、市民の森林や林業への関心を高め、健全な森林の育成に携わる担い手の確保に寄与する。	森林教室委託業務（森林教室、昆虫教室、林業体験教室、井川しいただけ教室、きのこ祭り、出張林業教室）	森林教室等委託件数	6件	6件	4,200	3,600	森林教室等参加者満足度	90.0%	97.5%	99.1%	93.0%	Ｒ２～Ｒ６年度の間、連続で90%を超える満足度が得られており、現状を維持していくことを目指し90%以上を目標値とした。	98.8%	S	A	ほぼすべての参加者から「満足」との回答が得られたため、A評価とした。	参加度の満足度が高く、期待通りの普及啓発の効果が得られていることから、事業を継続して行っていく。	参加者へのアンケートの結果、満足度は90%を超えている。また、WEB申込に１本化していった結果、昨年度と比較して応募者数の増加も見られた。このことから、市民に森林及び林業の役割を啓発することができた。
4	1	(1)	①	環境学習会の開催支援、実施	環境共生課	市（直営・委託）	環境保全のために自ら行動する人を育み、持続可能な社会の実現に向けて地域、学校、団体、行政などが相互に連携し、協働による環境学習の推進を図る。	①環境学習推進のための指導員の活用 ②自然観察会等への参加機会の創出	①環境学習指導員の派遣 ②各種環境学習会の開催	①200人 ②80回	①220人 ②85回	5,043	4,950	環境学習会等への参加者数	3,517人	3,517人	3,229人	2,830人	過去10年間の実績の最大値を目標とする。 （児童数が減少する中で、参加者数の維持は、環境学習に参加した割合の増加を意味するため）	4,629人	S	S	外来生物についての市政出前講座が特に好評で、目標を達成することができたため。	適切な内容であるよう常にブラッシュアップする必要がある。 出前講座については、対応できる職員に限りがあり、業務に偏りが生じているため、係全員が対応できるように訓練をする必要がある。	市内で広く観察会や講座を実施することができ、多くの市民に環境について学ぶ場を提供することができた。
5	1	(1)	①	シニアの活躍支援	地域包括ケア推進課	補助等（交付先）	人生100年時代と言われる中、多くの元気な高齢者が、健康長寿で地域や経済において活躍できる環境を整備し、「健康長寿のまち」の実現を目指す。	①マッチング支援 ②重点分野雇用創出	①支援企業数 ②窓口相談件数 ③出張相談会参加者数	①120社 ②900件 ③60人	①124社 ②1,270件 ③95人	12,500	12,500	①高齢求職者の雇用・就業数 ②シルバー人材センター新規会員登録数 ③窓口による事業利用満足度 ④公式LINE新規登録者数	①250人 ②60人 ③90% ④100人	① 485人 ② 129人 ③ 100% ④ 342人	① 592人 ② 111人 ③ 100% ④ 380人	①308人 ②105人 ③99% ④345人	①前年度までの実績からボランティア等参加者数等を除いた人数を勘案して設定 ②月４～６人の登録を目指して設定 ③前年度までの実績を勘案して設定 ④月８～10人の登録を目指して設定	①341人 ②129人 ③100% ④714人	S	S	令和６年度で終了した厚労省モデル事業「生涯現役地域づくり環境整備事業」を継承し、企業訪問、普及啓発の取組を進め、その結果、目標値を超える実績を上げることができたため。	引き続き、ミドル・シニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」を中心に、高齢者等就労促進事業を実施していく。	中小企業者、ミドルシニアを対象とするセミナーを開催することで、人事課題やセカンドキャリア設計に役立つ学びの機会を提供することができた。
6	1	(1)	①	人権啓発事業	社会的包摂推進課	市（直営・委託）	人権の大切さ、人権尊重の理念を地域社会に広く浸透させる。	①人権教育事業 ②各種啓発イベントの実施	①市内こども園訪問回数 ②各種イベントの実施回数	①6回 ②3回	①6回 ②3回	3,110	2,930	各種イベントおける人権について理解が深まった人の割合	95.4%	92.7%	96.6%	96.8%	直近3か年の実績値の平均値とした。	97.2%	A	A	啓発活動を実施することで市民の人権に対する理解を深めることができた。	引き続き様々な啓発活動を通じ、ふだん「人権」になじみのない層に向けてアプローチしていく。	啓発活動を実施することで人権に対する学びの機会を市民に提供することができた。
7	1	(1)	①	生物多様性に係る学習会の実施	環境共生課	市（直営・委託）	2050年の静岡市の姿を「生きものとの共生による、健康で豊かな暮らしを次世代に受け継いでいく社会」とし、2030年までに「社会・自然の変化に対応した生物多様性への理解・協働推進による保全・再生の拡大」を図る。	①生物多様性地域戦略推進体制の構築 ②外来種の適正管理事業	①リーディングプロジェクトの進捗管理実施 ②出前講座の実施	①21事業 ②13回	①21事業 ②28回	2,397	2,032	市民生きもの調査員の登録者数	77名	62名	52名	33名	継続して生物多様性の保全活動に携わる人材の育成を目的に、市民生き物調査員の前年度比15名の増加を成果指標として設定した。	83名	A	A	生きもの調査員として登録し、継続して活動する市民の数が目標を上回ったため。	登録した市民が継続して活動できるよう、市内で行われる観察会等の紹介や、保全活動に取り組む市民団体とのマッチング等に取り組む必要がある。	高校生から高齢者まで、幅広い世代がともに学び、活動する場を提供することができている。
8	1	(1)	①	点字講習会	障害福祉企画課	市（委託）	視覚障がい者を支える点訳ボランティアを養成する。	初心者向けの点字講習会を実施	点字講習会の開催	実施	実施	199	199	受講者数	26人	19人	25人	35人	直近3か年の受講者数の平均値を目標値として設定した。	15人	C	C	受講者数が目標値を下回ったため。	講座内容や対象等の見直しを行うとともに、効果的な広報を検討し、周知拡大に努める。	点字体験等により、視覚障がいのある人に対する理解を深め、点訳ボランティアへの興味関心を高めるきっかけを提供できた。
9	1	(1)	①	防災教育事業	危機管理課	市（直営）	災害時における市民の的確な判断力や防災知識・技術の向上を図るため、防災意識の高揚及び啓発事業を実施	市政出前講座等による防災研修の実施、「わたしの避難計画」等による啓発	出前講座開催数	160回	138回	1,322	568	出前講座等受講者数	7,500人	6,654人	8,227人	7,504人	市民自らの意思で出前講座を受講し、防災意識や知識が向上することは、災害発生時における的確な判断等に直結し、市民の安全安心の確保につながると考え、直近３か年の受講者数実績の平均を成果指標として設定した。	7,075	A	A	出前講座開催回数及び受講者数については、当該年度の目標値を下回ったものの、受講者数が90%以上であるため、「A」評価とする。	あらゆる災害に備えて、市民の防災意識・知識の向上が求められる。出前講座等を継続して実施していく必要があり、市民のニーズにあった出前講座の実施についても検討していく必要がある。	市民が主体的かつ継続的に学べる環境づくりを意識して取り組んだ結果、参加者同士の交流促進につながり、地域等における学びの機械の充実に一定の成果を上げることができたと考えている。
10	1	(1)	①	国際理解に関する講座	社会的包摂推進課	市（直営）	本市の国際化・多文化共生を推進するため、国際交流員等を派遣し国際感覚豊かな市民や次世代を担う人材の育成を図る。	英語・中国語・フランス語国際交流員（ＣＩＲ）を派遣し、こども園等を対象とした国際理解講座の開催	国際理解講座の派遣回数	90回	108回	6	0	国際理解講座の受講者満足度	100%	100%	100%	100%	受講者アンケートの直近３か年の実績値を維持することを目標として設定した。	100%	A	A	受講生（主にこども）が興味を持つ内容を講座に取り入れることで、高い満足度につなげることができたため。	引き続き受講生が興味を持つ内容を取り入れた講座を続けていく。	多様な文化や習慣を相互理解し多文化共生意識の向上につながる学びの機会を提供することができた。
11	1	(1)	①	在宅医療出前講座	地域包括ケア推進課	市（直営）	在宅医療・介護の連携を推進する。	市民啓発のための講演会、出前講座の開催	在宅医療出前講座の実施	実施	実施	215	17	在宅医療出前講座で在宅医療サービスについて理解できた受講者の割合	91%	80%	94%	100%	在宅医療出前講座受講後のアンケートで「専門職が提供できるサービスやケアの内容について理解できましたか」の問いに「理解できた」「ある程度理解できた」と回答した受講者の割合を、直近３か間の平均値を踏まえ目標値として設定した。	87%	A	A	目標値をやや下回ったが、市民啓発を実施することができた。	講師に対し、わかりやすい説明に留意していただけるよう事前周知する。	講座等を実施することで、在宅医療に係る市民啓発に寄与した。
12	1	(1)	①	治水交流資料館講座の開催	河川課	市	治水・防災意識の向上を図る。	河川の歴史や地形などをテーマにした講座の開催	講座の開催回数	４回実施	４回実施	60	106	講座参加者の満足度	80.00%	87.60%	84.90%	73.90%	直近３か年の平均値をもとに算出した。	83.25%	A	A	計画どおりの実施ができたため。	来館者の増加につながるよう、新しい内容を取り入れ実施する。	講座の満足度について高い水準で維持し、市民の水防災意識向上に寄与することができた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
13	1	(1)	①	消費者教育の推進事業	生活安全安心課	市（直営・委託）	市民への消費者教育の実施を通じて、消費者トラブルの未然防止・早期相談を図るとともに、社会や環境等に配慮した消費行動の推進を図る。	①消費者教育出前講座の実施 ②消費者教育教材の配布（中学校） ③SNSによる市民への注意喚起情報の提供 ④公共交通広告の実施 ⑤WEB広告の実施	①消費者教育出前講座の実施 ②消費者教育教材の配布（中学校） ③SNSによる市民への注意喚起情報の提供 ④公共交通広告の実施 ⑤WEB広告の実施	①学校（主に中学）24校、地域（自治会等）20回、課主催2回 ②1回 ③28回 ④バス1回、電車1回 ④YouTube広告3回、WEB広告3回	①学校（主に中学）51校、地域（自治会等）58回、課主催2回 ②1回 ③32回 ④バス1回、電車1回 ④YouTube広告4回、WEB広告2回	7483千円の一部	6408千円の一部	①消費生活相談窓口としての消費生活センターの認知度 ②契約に関する正しい知識の定着度	①56.5% ②34.2%	①41.9% ②33.2%	①51.4% ②32.6%	①47.1% ②31.9%	令和8年度の中間目標値を達成するために割り返して算出	①48.3% ②32.1%	①B ②A	B	令和7年度の市民アンケート結果では、当該年度の目標値に達しなかったことから、評価は「B」とした。	消費者トラブルの発生状況を踏まえると、センターの認知度や契約に関する知識の定着率については、さらに高めていく必要があることが課題。 解決方針は、講座について、受講者は毎回対象者が変わるため、継続的に実施していく。 情報発信の広告事業については、プッシュ型で行うことのできる数少ない手法 のため、WEB広告は実施回数を増やす、公共交通広告は市民の目を引く工夫を行 う等を通じて成果指標の達成を目指す。	消費生活は社会生活を営む上で生涯誰もが関わり続けるものであり、消費生活の向上と安定に寄与する消費者教育の実施により、市民の生涯学習の推進に寄与することができた。
14	1	(1)	①	障がいの理解・啓発促進事業	障害福祉企画課	市・補助等（直営・交付先）	障がいや障がいのある人についての理解を深め、障がいのある人の社会参加の促進を図る。	①障がいに対する理解を深めるイベントの実施 ②障害者週間（12/3～9）における啓発活動の実施	①実行委員会開催 ②イベント開催	①開催 ②開催	①3回開催 ②開催	1,500	957	①イベント実施回数 ②イベント来場者へのアンケート回答で、共生社会への理解が深まった人の割合	①1回 ②97.4%	①1回 ②97.4%	悪天候により中止	悪天により中止	前年度の実績値を目標値として設定した。	①1回 ②93.6%	A	A	イベント実施時のアンケートでは、共生社会への理解が深まったと回答した人の割合が93.6%と昨年度を下回ったが、90%以上を維持しており、効果的な啓発活動を実施することができたため。	屋外の実施のため、悪天候によるイベント中止の可能性がある。実施場所、開催時期、開催方法を検討していく。	イベントを通じて、障がいのある人とない人との交流を深め、共生社会への理解促進の一助とすることができた。障害者週間では啓発活動を通じて市民に障害を身近に感じてもらう情報を発信し、共生意識の向上に寄与した。
15	1	(1)	①	食の安全・安心リスクコミュニケーション、食の安全教室の実施	食品衛生課	市（直営）	「食の安全確保」および「食の安心の提供」を図る。	食の安全・安心アクションプランに基づいた業務を実施	リスク・コミュニケーションの申請に対する実施率(食の安全教室、市政出前講座)	100%	100%	281	231	食の安全教室における受講者の理解度	90.0%	100%	100%	100.0%	講座終了後、受講者に対してアンケートを実施し、理解度90%以上を目標値に設定した。（理解度は、参加者による個人差が大きいため、90%以上とした。）	92.4%	A	A	市民の食に対する安全対策に関する理解を深めることに繋がったと評価できるため。	食中毒事故については、市民や食品関連事業者にとって、普段から身近で頻繁に発生するものではないため、食中毒そのものに対する認識が希薄化していることが課題である。 今後、受講者の興味関心を含め、きめ細やかにニーズを把握する聞き取りを行っていく。	小学生や妊婦など多様な市民を対象に食の安全安心に係る情報を提供することができた。
16	1	(1)	①	動物愛護の促進	動物愛護センター	市（委託）	指定管理者制度の導入により、合理的で専門性を持った運営を行い、動物の適切な飼育方法や動物愛護精神の普及を図る。	①指定管理関係事務（協定締結、年度評価等） ②活動状況の把握 ③愛護館の施設修繕及び備品購入	①広報掲載によるイベント開催の周知 ②毎朝のミーティングの実施 ③利用者への施設情報の発信	①広報掲載回数8回 ②100% ③実施	①広報掲載回数8回 ②100% ③実施	9,913	9,935	①来館者数 ②イベント・講座開催回数 ③子猫の譲渡率	①12,900人 ②12回 ③100%	① 12,774人 ②14回 ③100%	①14,856人 ②13回 ③100%	①10,993人 ②14回 ③100%	①直近3か年の平均人数を目標値に設定した。 ②動物の適正な飼育について市民の理解を深めるため、年12回を目標値にした。 ③殺処分をなくすため100%を目標値とした。	①13,826人 ②9回 ③100%	①S ②B ③A	A	来館者数は目標値を7%上回る数値であり、子猫の譲渡率は100%を達成することができた。しかし、イベント・講座の開催回数が目標値を下回ったため。	コロナ禍に減少した来館者数は全体的には回復傾向であり、令和7年度は前年度を上回ることができた。今後も魅力ある施設となるために利用者へアンケート調査を実施し、その結果を事業に反映させニーズに即した運営を行うよう努めていく。	幼児から高齢者まで幅広い世代の市民を対象に、犬猫の適正飼養や動物愛護に関する正しい知識や技術を習得する機会を提供することで生涯学習の推進に寄与できた。
17	1	(1)	①	料理教室等による食育推進	中央卸売市場	市（直営・委託）	市場を経由する食材を使用した料理教室を実施することで、市場の食に関する情報発信機能を強化し、市民の食育の強化と市場の活性化を図る。	市場関係者との企画協議による料理教室の開催。	実施回数	8回	10回	257	257	参加者数	144人	160人	141人	117人	各回の募集人数20名に対し9割の参加を目標値とした。	161人	S	S	活動指標及び成果指標に対し、目標以上の青果が上がっているため。	リピーターの参加が多いため、幅広い世代の人に参加してもらえるよう親子料理教室及び小学生講座の回数を増やす。	市場の役割及び食材について、市場独自の学習機会を提供することができた。
18	1	(1)	①	資源循環啓発施設運営事業	ごみ減量推進課	市（直営・委託）	市民のごみの減量化と資源化に関する意識向上を図る。	資源循環啓発施設の運営	①児童向け環境学習の開催回数 ②一般向け環境学習の開催回数	①100回 ②20回	①192回 ②34回	66,416	67,031	環境学習の理解度	100%	98.5%	95%	96%	環境学習は、環境に係る現状・課題・知識・考え方について啓発するために実施しており、受講者全員が理解することを目指すため100%を目標値に設定した。	94.4%	A	A	講座の内容、実施手順等について関係者で確認するなどした結果、理解度は94.4%と高い成果があったため。	小学生のみでなく、こども園などの未就学児から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした環境学習の拡充を図っていく。また、理解度の低い項目はさらにわかりやすい資料の作成に努める。	幅広い年代に合わせた、身近な環境問題や資源の循環を実感できる学習機会を提供することができた。
19	1	(1)	①	犯罪被害者等支援講演会	生活安全安心課	市（直営・委託）	犯罪被害者の遺族等を講師として招き、犯罪被害者等支援の必要性を学ぶ。	講演会の開催	講演会の開催	1回	1回	50	34	支援講演会参加者の理解度	100%	100.0%	100%	100%	犯罪被害者等支援の必要性や支援体制の周知啓発を目的とすることから、過去3か年の実績値である100%を目標値とした。	100%	A	A	アンケートにおいて、全ての参加者が講演会について「とてもよかった」「よかった」としていたため。	講演会への参加者やWeb配信希望者のさらなる増加のために、静岡犯罪被害者支援センター等とともに、効果的な周知方法を検討する。	普段スポットライトのあたりづらい、犯罪被害後の被害者や遺族について生の声を聞くことで一人ひとりが学び考える機会を提供することができた。
②青少年期に学びの基礎を身に付けるための学習機会の提供																									
20	1	(1)	②	生涯学習事業（青少年期）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	各生涯学習施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	自然科学、自然体験、子育て、読み聞かせ等を扱った講座の実施	講座回数	各館2分野実施	32施設中26施設で2分野実施。	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	95.5%	94.9%	95.2%	96.4%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	95.7%	A	A	受講生満足度が目標をやや上回っており、目的に沿った学習機会の提供をすることができたため。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	市民に最近な各生涯学習施設において、青少年期に学びの基礎を身につけるための学習機会を提供することができた。
21	1	(1)	②	学校教育における救命講習	救急課	市（直営・委託）	バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）による心肺蘇生率の向上	市民及び学校教育による救命講習受講の促進	①救命講習の計画的な開催 ②学校教育授業内で救命講習を実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	4,678	3,954	救命講習受講者数（延人数）	2万人	2万3千人	2万4千人	1万8千人	当取組みは、過去3年の受講実績を基に、学校教育内で1万人、それ以外の救命講習で1万人、計2万人以上の受講者数を目標設定した。	2万5千人	S	S	救命講習は、学校教育内で11,362人、それ以外で14,213人。合計25,575人が受講して年度を通しての目標値を上回ったため。	次年度も今年度同様の救命講習実施者数の目標設定を掲げ、更なる応急手当の普及啓発に努める。	応急手当の普及啓発を行うことで、生涯学習の推進に寄与することができた。
22	1	(1)	②	高校生向けキャリア形成支援事業	商業労政課	市（委託）	市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決策として、若者に対する支援体制の強化を図ることを目的として市内企業への就労を促進する。	高校生向けキャリア形成支援事業	ワークショップ等、キャリア形成支援プログラムの実施	10校	9校	11,282	11,018	本事業が進路決定の参考になった割合	97%	94.9%	97.7%	97.8%	事業対象者に対して過去3年と同程度の意識改革が行えるよう、過去3年の平均値を参考として、目標値を設定した。	94.5%	A	A	目標値と比較して実績が若干下回ったものの、概ね目標どおりの数字を達成できたため。	市内では採用計画を充足できず、人材不足に悩む企業が少なくないことから、情報発信や交流機会を通じて、市内企業の認知度向上や魅力の発信に取り組み、より多くの若者の地元就職やUIJターン就職促進につなげていく。	高校生の進路形成に向けた意識の醸成を図るためのプログラムを実施することで、高校生に多様な学習機会を提供するとともに、将来に対する視野の拡大を図ることができている。
23	1	(1)	②	心の輪を広げる障害者理解促進事業	障害福祉企画課	市（直営）	障がいの有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会を目指し、障がいや障がいのある人に対する理解と認識を深める。	①「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の公募 ②各部門で最も優れた1作品を静岡市の推薦作品として内閣府に送付 ③入賞作品を市として表彰 ④静岡市入賞作品の展示	①作品募集 ②作品審査及び優秀作品の選定 ③入賞作品の表彰 ④入賞作品の展示	①実施 ②実施 ③実施 ④実施	①実施 ②実施 ③実施 ④実施	27	26	合計応募作品数	22作品	10作品	32作品	24作品	過去3年の応募作品数の平均値を目標値として設定した。	27作品	S	A	目標値を上回ったため。	障がいや障がいのある人に対する理解と認識を深めるため、引き続き事業を継続するとともに応募者数増加につながる募集の周知方法について検討していく。	応募者に対して、障がいのある人への理解を促進する機会を提供できた。入賞作品を静岡庁舎内に掲示することにより、市民に作品鑑賞の機会を提供できた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
24	1	(1)	②	南アルプス高山植物保護セミナー	環境共生課	市（直営・委託）	市内高校生を対象に、高山植物保護の重要性や井川地域の歴史文化など、南アルプスユネスコエコパークに関する総合的な理解を深める機会を提供する。	（１）高山種億物の保護 千枚小屋周辺において、高山植物保護の必要性周知や方法の習得を目的に以下の事業を実施する。 ①高山植物の植生調査 ②防鹿柵の新規設置 （２）井川地域の歴史文化の学習 井川地域について、事前の座学及び現地巡検を行うことで、理解を深めるため、以下の事業を実施する。 ①井川まち歩きガイドを伴った巡検 ②南アルプスユネスコエコパークミュージアムの見学	①事前学習会の実施回数 ②現地セミナーの実施回数 ③事後学習会の実施回数	①1回 ②1回 ③1回	①3回 ②1回 ③1回	2,161	2,161	事前・事後学習会及び現地セミナーの参加高校の数	3	1	3	3	以下の日程で実施した各活動に参加した高校の数（実績値）で算出 ①7月17日、31日、8月1日　事前学習会 ②8月22日～24日　現地セミナー ③12月17日　事後学習会	4校	S	A	継続した調査・研究に加え、南アルプスエコパークに関する普及啓発や情報発信を積極的に行った結果、アウトカム指標及びアウトプット指標ともに目標を上回ることができたため。	南アルプスユネスコエコパークの保全と利活用の好循環を生み出す仕組みを構築するため、地域と人・企業のマッチング機会を創出していく。	現地セミナー、植生調査、自然観察等の開催を通じて、南アルプスユネスコエコパークの自然環境への理解促進を図るとともに、市民の自然環境保全への意識醸成を図ることができた。
25	1	(1)	②	青少年国際親善交流事業	こども若者応援課	市（直営）	青少年に国際交流の機会を提供することで、外国人との相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を養う。	海外で働いたり旅をした経験のある日本人講師を招き体験談を聞くことで、中高校生に世界に目を向け生き方を考える機会を提供する。	事業実施回数	1回	1回	100	10	参加者の満足度	100%	100%	100%	100%	国際親善交流機会の充実のため実施する参加者アンケートの、直近３か年の満足度の平均を目標値として設定した。	100%	A	A	市内高校及び日本語学校と協働し、日本人高校生と在日外国人との交流機会を創出したことで、参加者の満足度が目標を達成できたため。	R7末にて本事業を廃止	市内高校及び日本語学校との共同交流事業を開催し、日本人高校生と在日外国人との交流を通じて、多様な文化の学習機会を提供した。
③仕事や就職に関する学習機会の提供																									
26	1	(1)	③	生涯学習施設の「社会人基礎力講座」	生涯学習推進課	市（直営・委託）	社会人として新しい基礎力を身につけることができる講座を実施し、「大人の学び直し」を推進する。	生涯学習施設における「社会人基礎力講座」の実施	実施施設数	32施設で実施	32施設で実施	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	92.2%	92.2%	90.7%	—	事業開始３年目となるため、直近２か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	93.3%	A	A	受講生満足度が目標をやや上回っており、市民に社会人として新しい基礎力を身につけることができる講座の提供ができているため。	社会情勢の変化に伴い、社会人に求められる知識や技能も変化するため、社会ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	社会人に身近な各生涯学習施設において、58講座を実施し、「大人の学び直し」を推進することができている。
27	1	(1)	③	大学連携事業の実施	生涯学習推進課	市（直営・委託）	大学との連携による学習機会の提供により、市民の専門化、高度化した学習要求に応える	①Reまなび大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①Reまなび大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①6回 ②31回 ③2回	①6回 ②37回 ③2回	303	257	①Reまなび大学リレー講座受講生満足度 ②生涯学習施設・大学共催公開講座受講生満足度	①83.3% ②89.4%	①83.3% ②87.7%	①80.5% ②89.2%	①82.3% ②91.3%	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①83.1% ②90.5%	①A ②A	A	いずれの成果指標も目標の９割を超えており、市民に高度で専門的な学習機会を提供することができたため。	社会情勢の変化に併せた市民への高度で専門的な学びの機会が求められているため、高等教育機関である大学との連携を強化し、市民への高度で専門的な学習機会や情報の提供に取り組んでいく。	Reまなび大学リレー講座においては、共通テーマを「アップスキリング」とし、ターゲットを現役社会人として実施することで、仕事や就職に役立つ学習機会を提供できている。
28	1	(1)	③	生涯学習事業（仕事や就職）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	職業能力の向上、キャリア観の形成、就労支援等を扱った講座の実施	講座回数	各館１分野実施	32施設すべてで実施。	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	94.0%	93.1%	94.8%	94.2%	直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	93.3%	A	A	受講生満足度が目標の９割を超えており、目的に沿った学習機会の提供をすることができたため。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	市民に身近な各生涯学習施設において、仕事や就職に関する学習機会を提供することができた。
（２）暮らしを豊かにする学習機会の提供																									
①学びとしてのスポーツに関わる学習機会の提供																									
29	1	(2)	①	生涯学習事業（スポーツ）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	各生涯施設における体育、レクリエーション等を扱った講座等の実施	体育、レクリエーション等を扱った講座の実施	講座回数	各館１分野実施	32施設中６施設で実施。	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	97.8%	97.8%	95.4%	97.0%	直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	95.0%	A	A	受講生満足度が目標の９割を超えており、目的に沿った学習機会の提供をすることができたため。	体育・レクリエーションに関する講座は、健康・医療や子育て・教育の分野として実施している現状もあるため、活動指標の設定の仕方を検討していく必要がある。	市民に身近な各生涯学習施設において、スポーツに関する学習機会を提供することができた。
30	1	(2)	①	スポーツ指導者スキルアップ講習会	スポーツ振興課	市（直営・委託）	各分野の専門講座を開き、指導者が正しい知識と指導法を習得するための学習の場を提供することで、指導者の育成と資質向上を図る。	大学教授や医師、インストラクター等を招いて基本的な指導法の習得を図るための講習会を開催する。	開催回数 ①スポーツ指導者スキルアップ講習会 ②学校プール監視員講習会	①年１回実施 ②年1回実施	①年１回実施 ②年１回実施	①9,600千円の一部 ②67	①47千円 ②32	参加者数 ①スポーツ指導者スキルアップ講習会 ②学校プール監視員講習会	①186人 ②128人	①201人 ②94人	①156人 ②140人	①200人 ②150人	②過去３か年の平均利用者数を目標値として設定した。	①201人 ②94人	C	C	①例年は、６日（６科目）、平日夜２時間、無料で開催していたが、令和７年度は、１日（１科目テーピング講習）、定員40名、休日、午前午後、有料で開催した。満足度を上げるため、１つの分野を高度な内容で実施したが、参加者数が定員に達しなかった。 ②参加者数実績が目標を下回ったが、講習会を計画どおり開催できたため。	①事務事業見直しにより、令和7年度で事業を廃止した。 ②引き続き、学校プール開放が安全に行われるよう監視員講習会を開催する。	①単発、集合型講習会では学習の定着や現場での実践に繋がりにくいため、講習会方式による本事業を廃止する。 ②学校プールを安全に利用できるよう、市民に必要な知識等を習得してもらう講習会を開催した。
31	1	(2)	①	チャレンジなわとびの開催	スポーツ振興課	市（直営）	誰でも手軽にできるスポーツ「なわとび」を通して、市民の健康の増進、体力向上を図るとともに、参加者及び親子の交流を深める。	個人の部、組なわとびの部、チャンピオンの部、持久力の部の４部門があり、自分の体力や能力、年齢に応じてテストに挑戦する、チャレンジなわとびを開催する。	開催回数 ①なわとび判定員講習会 ②チャレンジなわとび	①年１回実施 ②年５回実施	①年１回実施 ②年５回実施	90	①0千円 ②11千円	参加者数 ①なわとび判定員講習会（清水区スポーツ推進委員以外の実参加者数） ②チャレンジなわとび（延参加者数）	①10人 ②783人	①10人 ②823人	①12人 ②788人	①8人 ②738人	①直近３か年の平均 ②１回あたり100人	①10人 ②513人	①A ②C	C	①は平均通りの参加者数であった。 ②１回あたりの延べ人数は100人超えではあったが、直近3か年の平均値から大きく下回ったため。	事業開始から長い年月が経過しているため、事務事業の見直しを行い実施方法や回数を検討する。	レクリエーションとして生涯学習活動の体験できる機会を提供することができた。
32	1	(2)	①	ニュースポーツ体験会	スポーツ振興課	市（直営）	スポーツ推進委員による地域でのスポーツ活動を推進することにより、市民がスポーツに触れる機会を創出し、「静岡型スポーツ・イン・ライフ」を推進する。	・委員報酬の支払い ・連絡協議会への補助金交付 ・ニュースポーツイベントの開催 ・推進委員向け研修会の受講促進	開催回数 ①ﾁｬﾚﾝｼﾞ ｽﾎﾟｰﾂﾗﾘｰ ②ﾁｬﾚﾝｼﾞ ｽﾎﾟｰﾂDAY	①年1回実施 ②年4回実施	①年１回実施 ②年４回実施	722（の一部）	①182 ②722（の一部）	延べ参加者数 ①ﾁｬﾚﾝｼﾞ！ｽﾎﾟｰﾂﾗﾘｰ ②ﾁｬﾚﾝｼﾞ！ｽﾎﾟｰﾂDAY	①462人 ②366人	①420人 ②333人	①232人②475人	①468人 ②213人	R6年度の参加者数の10%増を目標値として設定した。	①339人 ②309人	①B ②B	B	参加者がR6に比べ、若干減少した。	開催曜日等を見直し、市民が参加しやすい工夫を行う。	ニュースポーツの紹介、普及推進する本事業により、レクリエーションとして生涯学習活動の体験できる機会を提供することができた。
33	1	(2)	①	市民ラジオ体操祭の開催	スポーツ振興課	市（委託）	各種市民大会等を開催することにより、市民のスポーツ実施の機会創出と健康づくりを促し、“静岡型スポーツ・イン・ライフ”の推進と競技力の向上を図る。	各競技団体を主管として各種目別大会やラジオ体操祭を開催する。（H15から事業実施、H29から委託）	①適切な委託事務の実施 ②実施大会の効果的な広報の実施 ③市民スポーツ大会の開催回数	①実施 ②実施	①実施 ②実施 ③32回	53,460	8,000	市民スポーツ大会への延べ参加者数	29,030人	31,745人	33,764人	21,583人	指定管理業務協定の仕様書目標	29,580人	A	A	目標時を上回ったため	周知方法等を検討し市民が参加しやすい工夫を行う	多くの市民が気軽にスポーツに参加できる場を提供できた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
34	1	(2)	①	初心者スポーツ教室の開催	スポーツ振興課	市（直営）	競技人口の拡大と各種目の競技力向上及び、“静岡型スポーツ・イン・ライフ”の推進を図る。	普段運動をしない人にスポーツに親しんでもらうよう、初心者を対象にしたスポーツ教室を開催する。	開催回数	①実施 ②実施	①実施 ②実施	249,035	130	延べ参加者数	508人	596人	441人	487人	指定管理業務協定の仕様書目標	337人	C	B	一部事業の廃止により、参加者が減少した。	今後は、学校体育施設利用運営協議会が主催となるため、市の事業としては廃止。 総合型地域スポーツクラブの活動支援として、広報活動のみ行う。	幅広い年齢層、性別を対象とし、スポーツ経験がない人でも参加できる教室を実施することができた。
35	1	(2)	①	障害者スポーツ教室	障害福祉企画課	市（委託）	障がいのある人の健康維持向上、社会参加の促進及び障がいや障がいのある人に対する理解啓発を図る。	スポーツ教室の開催	①教室の開催回数 ②障がいのない人への開催通知・参加依頼	①15回 ②実施	①15回 ②実施	820	803	参加者数	409人	388人	467人	374人	指定管理業務協定の仕様書目標	445人	S	S	目標値が409人であるところ、445人の参加があり、目標値を大幅に上回ったため。	夏や年始は参加者数が減少する傾向があるため、より集客を図れる開催を検討していく。	障がいのある方が新しいことへのチャレンジをする機会と社会参加を促進し、また、障がいのない方との交流を通じて障がいや障がいのある方への理解を促進することができた。
36	1	(2)	①	清水庵原球場管理事業	スポーツ振興課	市（委託）	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①指定管理者によるスポーツ振興のための事業実施 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	53,720	53,426	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①100% ②81.3%	①100% ②99.3%	①100% ②85.6%	指定管理業務協定の仕様書目標	①99.1% ②95.8%	①S ②S	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
37	1	(2)	①	清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	スポーツ振興課	市（委託）	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①指定管理者によるスポーツ振興のための事業実施 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	202,438	192,041	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.5% ②99.3%	①94.8% ②98.7%	①97.3% ②98.6%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.5% ②27.9%	①S ②C	A	利用者満足度は目標値を達成した。計画修繕の予算執行率は目標を下回ったが、これは事業見直しにより執行を見送ったため。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
38	1	(2)	①	スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	市（直営・委託）	市民がスポーツ、レクリエーション等に供するための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①指定管理者によるスポーツ振興のための事業実施 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	200,411	170,342	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①97.1% ②99.3%	①97.4% ②94.5%	①95.9% ②96.0%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.8% ②100%	①S ②S	A	利用者満足度は目標値を達成した。計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で老朽化等により、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け対応することで安全・安心な施設の提供に努めていく。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
39	1	(2)	①	総合運動場管理運営事業	スポーツ振興課	市（委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①指定管理者によるスポーツ振興のための事業実施 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	668,566	625,580	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.2% ②99.4%	①99.0% ②91.5%	①98.6% ②93.1%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.2% ②89.7%	①S ②A	A	利用者満足度は目標値を達成した。計画修繕の予算執行率は目標を下回ったが、当初予定していた修繕は実施できた。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
40	1	(2)	①	体育館管理運営事業	スポーツ振興課	市（直営・委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①指定管理者によるスポーツ振興のための事業実施 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	125,575	124,111	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①97.6% ②98.6%	①97.6% ②98.6% ③完了	①97.6% ②100%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.2% ②96.4%	①S ②S	S	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
41	1	(2)	①	日本平運動公園管理事業	スポーツ振興課	市（委託）	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、Jリーグ及び各種事業を開催する。	①指定管理者によるスポーツ振興のための事業実施 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	441,579	303,859	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.0% ②98.9%	①96.7% ②99.6%	①96.1% ②99.2%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.6% ②90.4%	①S ②A	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で老朽化等により、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け対応することで安全・安心な施設の提供に努めていく。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
42	1	(2)	①	ふれあい健康増進館ゆ・ら・ら管理運営事業	スポーツ振興課	市（委託）	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム賃貸借契約	①実施 ②実施	①実施 ②実施	7,406	7,365	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.3% ②99.9%	①98.1% ②99.9%	①97.8% ②99.6%	指定管理業務協定の仕様書目標	①99.0 ②99.4%	①S ②S	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
②文化・芸術・趣味に関する学習機会の提供																									
43	1	(2)	②	生涯学習事業（文化・芸術・趣味）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	各生涯施設における教養の向上、趣味等を扱った講座等の実施	教養の向上、趣味等を扱った講座の実施	講座回数	各館１分野実施	32施設すべてで実施。	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	95.0%	94.9%	94.5%	95.6%	直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	94.7%	A	A	受講生満足度が目標の９割を超えており、目的に沿った学習機会の提供をすることができたため。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	市民に身近な各生涯施設において、文化・芸術・趣味に関する学習機会を提供することができた。
44	1	(2)	②	文化芸術アウトリーチプログラム事業	文化政策課	市（委託）	市内で活動する文化団体と連携し、和楽器・演劇・大道芸などの文化芸術をアウトリーチ形式で届けることで、多様な文化芸術に触れる機会を創出する。	こども園、小学校、中学校等での文化芸術アウトリーチプログラムの実施	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①１件 ②１件 ③１件	①１件 ②１件 ③１件	4,200	5,877	実施回数	19回	9回	11回	11回	予算積算上の実施分を完全実施するため、19回を目標値として設定した。	19回	A	A	目標値に達し、様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供することができたため。	訪問先の年齢や実情に合わせた体験内容の見直しを図り、引き続き様々な芸術文化の鑑賞機会を提供する。	市民の文化芸術に対する関心を高め、誰もが文化に触れる機会を提供することを目的とした事業を実施することができた。
45	1	(2)	②	音楽あふれるまちづくり事業	文化政策課	市（委託）	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートや親子コンサート等を行い、日常に音楽のある環境を創出し、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。	①学校訪問コンサート ②こども園訪問コンサート ③親子コンサート ④大人のためのおでかけコンサート ⑤まちかどコンサート	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①１件 ②１件 ③１件	①１件 ②１件 ③１件	28,381	26,641	①学校訪問コンサート実施校数 ②こども園訪問コンサートの実施園数 ③親子コンサート応募人数 ④大人のためのおでかけコンサート実施回数 ⑤まちかどコンサート来場者数	①８校 ②14園 ③2,420人 ④年２回 ⑤3,300人	①８校 ②19園 ③5,819人 ④年２回 ⑤4,423人	①８校 ②19園 ③8,520人	①８校 ②18園 ③5,969人	①予算積算上の実施分を完全実施するため、８校を目標値として設定した。 ②上に同じく、14園を目標値として設定した。 ③実施するホールの定員数（1,513人×2回）3,026人の80%である2,420人を目標値とした。 ④予算積算上の実施可能回数として２回を目標値として設定した。 ⑤１回当たりの来場者数100人×30回=3,000人を予想値として算出、3,300人を目標値として設定した。	①８校 ②14園 ③2,523人 ④年２回 ⑤4,920人	①A ②A ③A ④A ⑤S	S	予算積算表の実施分を完全実施済。③及び⑤は目標値を上回る成果となり、多くの市民が音楽に触れる機会を創出し「まちは劇場」の推進に繋がったと評価できるため。	開催場所や実施回数の検証が課題となっている。このことから、次年度以降の実施に向けて関係団体と内容の見直しや協議を進めていく。	市民の身近な場所でコンサートを開催することで、幅広い年代の方が気軽に音楽に触れ、音楽鑑賞を通して感受性を高める機会を提供できた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
46	1	(2)	②	文化活動振興事業	文化政策課	市（委託）	文化振興施策の一環として、様々な文化事業を効果的に実施し、本市の文化振興を図る。	「静岡市民芸能発表会」「オーケストラ鑑賞事業（R7-はじめてのコンサート事業へ見直し）」「伝統文化ワークショップ」等の開催、「静岡市民文芸」の発行（文化活動委託）、静岡市芸術文化奨励賞の交付等	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①1件 ②1件 ③1件	①1件 ②1件 ③1件	22,776	22,776	①「静岡市民文芸」一般応募者数 ②「静岡市民芸能発表会」参加団体数 ③「伝統文化ワークショップ」参加者数 ④「オーケストラ鑑賞事業（R7-はじめてのコンサート）」参加者アンケート満足度 ⑤「竹久夢二作品等展覧会」実施 ⑥「平野富山作品等の保管及び展示等業務」展示替回数	①306人 ②- ③- ④95% ⑤実施 ⑥3回	①218人 ②99団体 ③76人 ④96.7% ⑤実施 ⑥3回	①378人 ②85団体 ③98人 ④97.2% ⑤実施 ⑥3回	①279人 ②81団体 ③116人 ④93.8% ⑤実施 ⑥3回	①直近3か年の平均値 ②～③は静岡市民文化会館休館に伴い事業実施なし	①284人 ②- ③- ④95% ⑤実施 ⑥3回	①A ②- ③- ④A ⑤A ⑥A	B	市民文芸の一般応募者数が目標を下回ったため。	昨年度に比べ、一般応募者が目標に届かなかったが増加することとなった。広報を強化し、幅広く市民が応募できる環境に努める。	中学生から最年長は96歳まで幅広い年代からの応募があった。市民の文芸政策に対する意欲を刺激する機会を提供できた。
③健康に関する学習機会の提供																									
47	1	(2)	③	生涯学習事業（健康）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	健康づくり、医療、食育、食の安全等を扱った講座の実施	講座回数	各館2分野実施	32施設中29施設で2分野実施。	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	94.5%	94.5%	94.1%	94.5%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	95.3%	A	A	受講生満足度が目標をやや上回っており、目的に沿った学習機会の提供をすることができたため。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	市民に身近な各生涯施設において、健康に関する学習機会を提供することができた。
48	1	(2)	③	S型デイサービス事業の推進	地域包括ケア推進課	市（委託）	在宅高齢者の生きがいの創出、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。	介護予防、生きがいづくり、地域交流等のミニデイサービス（心身機能の維持向上のための体操、レクリエーション等）の実施	S型デイサービスの参加者満足度	70%	95%	66,800	64,387	参加者実人数	5,500人	4,766人	4,772人	4,862人	静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画登載値を設定	4,758人	B	B	達成率86.51%（4,758/5,500人） 周知方法が参加者・ボランティアから高齢者本人へのロコミに依存しており、不足していた。また、実施内容に変化が乏しく、単調になっていた。	高齢者本人に加え、その家族にも周知を行うとともに、ホームページの内容充実を図る。また、多世代・多文化交流や、介護予防プログラム「しずおか ちゃちゃちゃ」参加者によるレクリエーション等、新しい要素を導入する。	ミニデイサービスを通じて、在宅高齢者に介護予防やいきがいづくりに関する学びの機会を提供し、心身機能の維持向上と社会的孤立感の解消に寄与した。
49	1	(2)	③	勤労者福祉センター管理運営事業	商業労政課	市（委託）	勤労者その他一般市民の文化教養の向上、健康の増進及び余暇利用の充実を図る。	①施設の維持管理 ②講座・教室の開催	指定講座・自主講座の開催	実施	実施	289,938	295,970	講座受講者満足度	96%	96%	94%	95%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	96%	A	A	目標値を上回る満足度を達成できたため。	公共施設間や民間事業者とのサービス重複、各サービスの需要・供給バランス等を踏まえ、本施設を含む市の公共施設全体におけるサービスの最適化を図っていく必要がある。	パソコン講座、フィットネス講座、一般教養講座の実施により、主に勤労者に対し、必要な学習機会を提供することができた。
50	1	(2)	③	健康教育相談事業	健康づくり推進課	市（直営）	生活習慣病予防や健康増進等、健康に関する正しい知識の普及を図り、必要な指導や助言を行う。	教室・相談等の実施	適切な実施	実施	実施	2,938	2,620	①健康教育教室実施回数 ②健康相談延参加者数	①109回 ②627人	①109回 ②627人	①109回 ②521人	①94回 ②480人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①112回 ②640人	①A ②A	A	計画的に事業を実施することができ、その結果、健康教育教室に関しては目標どおり実施できた。また、個々に合わせた健康相談を実施し、健康相談延参加者数は目標を上回ることができた。	引き続き、フレイルや生活習慣病予防など、多様化する市民のニーズにあわせて、随時内容を見直しながら健康教育・相談を実施していく。	成人期から高齢期にかけて、対象者のニーズに合わせた学習の機会が提供できた。
51	1	(2)	③	市民健康講座の実施	病院経営企画課	市（直営）	地域住民の皆さんが安心して元気に暮らせるよう、健康や疾病予防等に関する情報を分かりやすく提供し、誰もが気軽に参加できる講座を開催する。	講座の開催	講座の実施回数	2回	2回	0	0	受講者の満足度	93.3%	93.3%	未実施	未実施	講座実施2年目となるため、前年度の値に設定した。	81.0%	B	B	「満足している」「ある程度満足」を合わせて81%にとどまったため。	令和7年度末で認知症疾患医療センターの指定が終了、認知症関係の講座も終了となり、開催講座が1講座のみとなる。引き続き、市民の皆様に満足いただける講座開催を心がけるとともに、今後の病院の在り方を含めた見直しを実施し、開催可能な講座を検討していく。	地域住民の皆さんが健康や疾病予防等に関する情報をわかりやすく得る機会を提供した。
52	1	(2)	③	自立支援のための各種講座の実施 福祉教育の実施	地域リハビリテーションセンター	市（直営）	障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で自分らしい生活ができるよう健康・福祉の両面からリハビリテーションの視点による専門的な支援を行う。	①②市民や医療・介護・福祉に従事する職種を対象に健康や介護予防、在宅介護に関する講座を開催する。 ③児童等を対象に授業や施設見学等を通して福祉教育に取り組んでいく。	①専門職向け講座 ②市民向け講座 ③福祉教育支援実施回数	①5回 ②10回 ③10回	①4回 ②12回 ③12回	1,062	674	専門職・市民向け講座アンケート ①理解度 ②活用したいと思う人の割合 福祉教育支援アンケート ③満足度	①98%②96%③100%	①100% ②95%③100%	①99% ②99% ③100%	①95% ②94% ③-	①②直近3か年の平均値から算出 ③直近2か年の平均値から算出	①99% ②99% ③100%	①A ②A ③A	A	市民・専門職向け講座は、実技を中心とした実効性の高い研修内容としていることで、目標値を上回る理解度及び活用度が得られた。 また、福祉教育は、各学校が希望する授業内容を選択できるようメニュー化していることで、高い満足度を得ることができた。	市民・専門職向け講座 は、引き続き、受講者アンケートからニーズを把握し、実効性の高い講座を企画する。 また、福祉教育は、支援内容が児童・生徒の行動変容につながるよう随時内容の見直しを行う。	市民・専門職向け講座及び福祉教育ともに、企画した内容に対する参加者の関心と理解度が高く、実生活で知識を活用するためのきっかけとして捉える参加者が多かった。
53	1	(2)	③	生涯活躍のまち静岡（CCRC）推進事業	地域包括ケア推進課	市（直営・委託）	元気な高齢者を中心に、地域の誰もが活躍できる環境づくりに取り組むことにより、「健康長寿のまち」を推進する。	2つのモデル地区（葵おまち地区、駿河共生地区）において、その拠点となる施設を中心に、産学官民の連携により多様な取組を総合的に展開する。	生涯活躍のまち静岡推進事業の実施	実施	実施	15,991	15,645	①アクティブシニアの移住者数 ②連携事業数 開催数	①55人 ②75回	①92人 ②110回	①69人 ②83回	①55人 ②83回	①過年度目標値を参照し設定。 ②静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画搭載値を設定。	①67人 ②105回	S	S	アクティブシニアの移住者数及び連携事業数ともに目標を上回ったため。	様々な世代を対象とした講座等の実施から地域での多世代交流の場、居場所を創出していく。	様々な世代を対象とした講座等を実施することで、地域との繋がりの場を提供し、社会参加や多世代交流を促進、健康長寿の延伸に寄与した。
54	1	(2)	③	しぞ～かでん伝体操の普及活動	地域リハビリテーション推進センター	市（直営）	高齢者が要介護状態になることや状態の悪化を防ぐために静岡市版介護予防体操「しぞ～かでん伝体操」の普及を推進する。	高齢者の心身機能の維持・向上のためにしぞ～かでん伝体操等をはじめ介護予防体操の教室・講座の開催や介護予防の動機づけ取組として元気度測定会を開催する。	①しぞ～かでん伝体操教室実施回数 ②介護予防体操講座の実施 ③元気度測定会の実施	①30回 ②30回 ③12回	①40回 ②16回 ③14回	39,764	24,871	①教室参加前後の維持・改善した人の割合 ②講座受講者アンケートの満足度 ③体操の継続率	①86% ②89% ③83%	①85% ②99% ③80%	①90% ②80% ③84%	①83% ②- ③87%	①③直近3か年の平均値から算出 ②直近2か年の平均値から算出	①85% ②100% ③80%	①A ②S ③A	A	介護予防活動の動機づけとなる講座、元気度測定会等を開催し、受講者アンケートは目標通りの満足度が得られ、しぞ～かでん伝体操の取組を周知することができた。	引き続き、介護予防活動への動機付けとなる教室や講座を開催し、介護予防の推進を図る。	市民が自身の健康状態に関心を持ち、継続して取り組みやすいプログラムとして各区で実施しており、今後の参加者の増加が望まれる。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	直近３か年の実績値 R5	直近３か年の実績値 R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
（３）市民の自発的な学習の促進																									
①生涯学習施設等の学ぶ場所の提供（貸館・展示等）																									
55	1	(3)	①	生涯学習センターにおける貸館実施	生涯学習推進課	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①11箇所 ②13件 ③完了	①11箇所 ②13件 ③完了	530,045	497,003	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①42.2% ②446,905人	①42.2% ②446,905人	①43.7% ②423,461人	①40.0% ②410,303人	新型コロナウイルス感染症により令和２年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和３年度以降は徐々に回復傾向にある。前年度の実績値を目標値として設定	①42.6% ②465,269人	①A ②A	A	目標値を上回っているが、選挙利用を含んでいるため。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、指定管理者との連携を密にして取り組んでいく。	新規団体立ち上げを目的とした事業や、既存団体の会員増加を目的とした活動支援を実施し、施設利用者数の増加を図るとともに、市民の自発的な活動の拠点となる場所を提供できた。
56	1	(3)	①	清水区生涯学習交流館における貸館実施	生涯学習推進課	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①21箇所 ②13件 ③完了	①21箇所 ②13件 ③完了	602,355	597,807	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①27.5% ②558,237人	①27.5% ②558,237人	①29.1% ②539,458人	①27.4% ②497,224人	新型コロナウイルス感染症により令和２年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和３年度以降は徐々に回復傾向にある。前年度の実績値を目標値として設定	①28.9% ②557,408人	①S ②A	S	職員が利用者に丁寧に応対し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができたため。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、館長との連携を密にして取り組んでいく。	生涯学習団体に該当しそうな団体を確認し、声掛けを行うなどして、貸館利用者の増加を図ったほか、主催事業の開催を通して、生涯学習にかかわる方の増加に寄与した。
57	1	(3)	①	葵区生涯学習施設における貸館実施	生涯学習推進課	市（直営・委託）	市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営（直営館の維持管理業務）	①講座回数 ②施設維持点検等業務の完了	①110回 ②８業務	①116回 ②８業務	13,790	12,641	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①5.4% ②12,078人	①5.4% ②12,078人	①4.8% ②8,803人	①4.0% ②9,122人	新型コロナウイルス感染症により令和２年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和３年度以降は徐々に回復傾向にある。前年度の実績値を目標値として設定	①4.4% ②11,410人	①B ②A	B	稼働率も利用者数も目標値に届かなかったため。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、地域住民のニーズを取り込んだ事業を展開していく。	利用団体が継続しやすくなるよう声掛けを行ったほか、主催事業の開催を通して、生涯学習にかかわる方の増加に寄与した。
58	1	(3)	①	生涯学習団体の認定制度	生涯学習推進課	市（直営）	生涯学習施設における生涯学習団体を認定することで、生涯学習施設を利用する市民の自発的な学習の促進を図る。	①条例８条３号団体の認定（随時） ②条例９条２項団体の認定（年度末）	生涯学習施設における団体認定制度の案内実施	38施設	38施設	0	0	①条例８条３号団体数 ②条例９条２項団体数	①1,906団体 ②992団体	①1,881団体 ②991団体	①1,877団体 ②991団体	①1,958団体 ②994団体	直近３か年の平均値を目標値として設定	①1,907団体 ②1,044団体	①A ②S	S	生涯学習団体発足のための講座を実施したことで、目標を達成することができたため。	生涯学習団体の発足・認定をしていくために、各施設で共催事業の実施等、生涯学習団体の支援を引き続き行う。	施設で実施されている講座から新規団体が発足・認定されることで、市民の生涯学習の機会を増やすことに寄与した。
59	1	(3)	①	学校等体育施設利用事業	スポーツ振興課	市・補助等（直営・交付先）	学校施設を利用することで、地域住民のスポーツ活動への参加機会を創出し、地域のスポーツ活動を推進する。	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	①事務担当者説明会の円滑な開催 ②夜間照明施設の保守点検	①実施 ②実施	①実施 ②実施	79,184	67,742	延べ利用者数	1,898,120人	1,912,000人	1,932,798人	1,849,563人	直近３か年の平均利用者数を目標値として設定した。	1,913,520人	A	A	利用者数の目標値を上回り、多くの市民が利用できたため。	中心部の学校の利用は飽和状態にあるため、近隣や山間部の協議会との連携を促し、多くの市民が利用できるように対応する。	学校等体育施設の開放を行い、多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
60	1	(3)	①	こどもクリエイティブタウン管理運営事業	商業労政課	市（直営・委託）	こどもたちを対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学ぶ。	①講座形式のものづくり体験等 ②模擬店舗形式での仕事体験等 ③商店街、企業との連携による仕事体験等	①指定管理料支払事務 ②定例会（12回）を通じた管理運営に係る指導・助言	①事務処理の円滑な実施 ②12回	①実施 ②12回	118,280	114,654	①利用者数 ②利用者満足度	①100,000人 ②99.4%	①124,460人 ②99.36%	①75,746人 ②99.3%	①13,012人 ②99.7%	①指定管理業務仕様書で定める指標を目標値に設定した。（施設の受入可能人数を考慮し設定。） ②直近３か年の平均値を目標値に設定した。	①113,627人 ②99.6%	①S ②A	A	目標値を上回る実績を達成できたため。	年間利用者を増やすために団体利用や未就学児の利用促進を積極的に行う必要がある。また、これらの対策以外でも今後新たに対策を検討・実施していきたい。	0歳から高校生に渡り次世代を担う若者に多彩な本物に近い体験を実施し創造力や社会経済の仕組み及び地域産業に対する理解の促進に寄与している。
61	1	(3)	①	賤機都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	市（委託）	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託（指定管理）	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回	①1件 ②13回	24,462	24,281	利用者満足度	98.4%	99.6%	97.2%	100.0%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。	98.5%	A	A	適切な施設運営に加え、講座やイベント等を工夫しておこなったことなどにより、目標値を達成することができたため、A評価とした。	最少催行人数を下回ったことで中止となった講座などもあったことから、募集方法等の見直しを図りたい。	オクシズの食材を利用した料理教室や地元講師を積極的に活用した講座など、地域性を活かした取組により、都市部と中山間地間の交流の推進に寄与することができた。
62	1	(3)	①	自然の家における施設運営の実施	環境共生課	市（直営）	計画的に施設の修繕や点検を行い、安全で利用しやすい管理運営をする。	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の維持管理・施設運営	施設修繕等の実施回数	6回	5回	7,251	850	管理瑕疵による事故件数0件	0件	0件	0件	0件	直近３ヵ年の平均値である0件を予想値として算出し目標値として設定した。	0件	A	A	施設を適正に維持管理し、管理瑕疵による事故がなかったため。	令和７年度をもって施設運営終了	利用団体への活動支援や、学ぶ場所の提供ができた。
63	1	(3)	①	蒲原東部・西部コミュニティセンター管理運営事業	スポーツ振興課	市（直営）	市民の自治意識の向上、健康の増進及び生活文化の振興のために、身近な地域における交流の場を提供する。	施設の維持管理を行う。	①各種委託契約締結件数 ②施設の小破修繕の実施	①4件 ②実施	①4件 ②実施	5,199	4,860	利用者数	12,213人	12,544人	11,703人	10,648人	直近３か年の利用者数平均値の５%増を目標値として設定した。	11,654人	A	A	利用者人数、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け迅速に修繕することで安全・安心な施設の提供に努め、誰もが使いたい時に提供できる施設を維持していく。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
64	1	(3)	①	野外活動施設管理事業	スポーツ振興課	市（直営・委託）	気軽に自然と触れ合える環境を整備することにより、市民の健康増進とレクリエーションの振興を図る。	キャンプ場、ハイキングコースの維持管理を行うとともに、活動の場の安全対策を図る。	①土地賃貸借契約締結件数 ②謝金の支払件数 ③ｷｬﾝﾌﾟ場、ﾊｲｷﾝｸﾞｺｰｽの整備	①14件 ②70件 ③実施	①14件 ②70件 ③実施	47,428	43,026	キャンプ場利用者数	5,037人	5,043人	4,796人	4,553人	過去３か年の利用者数平均値の５%増を目標値として設定した。	3,838人	C	C	目標値を大きく下回ったため。	事務事業見直しにより、令和８年度で一部事業を廃止予定	市民に限らず、県外在住の人も含め野外活動ができる場所の提供ができた一方、総じた利用者の減少について対応する必要がある。
65	1	(3)	①	【再掲】清水庵原球場管理事業	スポーツ振興課	市（委託）	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	53,720	53,426	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①100% ②81.3%	①100% ②99.3%	①100% ②85.6%	指定管理業務協定の仕様書目標	①99.1% ②95.8%	①S ②S	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
66	1	(3)	①	【再掲】清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	スポーツ振興課	市（委託）	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	202,438	192,041	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.5% ②99.3%	①94.8% ②98.7%	①97.3% ②98.6%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.5% ②27.9%	①S ②C	A	利用者満足度は目標値を達成した。計画修繕の予算執行率は目標を下回ったが、これは事業見直しのため執行を見送ったため。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
67	1	(3)	①	【再掲】スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	市（直営・委託）	市民がスポーツ、レクリエーション等に供するための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	200,411	170,342	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①97.1% ②99.3%	①97.4% ②94.5%	①95.9% ②96.0%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.8% ②100%	①S ②S	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で老朽化等により、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け対応することで安全・安心な施設の提供に努めていく。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
68	1	(3)	①	【再掲】総合運動場管理運営事業	スポーツ振興課	市（委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	668,566	625,580	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.2% ②99.4%	①99.0% ②91.5%	①98.6% ②93.1%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.2% ②89.7%	①S ②A	A	利用者満足度は目標値を達成した。計画修繕の予算執行率は目標を下回ったが、当初予定していた修繕は実施できた。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
69	1	(3)	①	【再掲】体育館管理運営事業	スポーツ振興課	市（直営・委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	125,575	124,111	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①97.6% ②98.6%	①97.6% ②98.6% ③完了	①97.6% ②100%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.2% ②96.4%	①S ②S	S	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	直近３か年の実績値 R5	直近３か年の実績値 R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
70	1	(3)	①	【再掲】 日本平運動公園管理事業	スポーツ振興課	市（委託）	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、Ｊリーグ及び各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	441,579	303,859	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.0% ②98.9%	①96.7% ②99.6%	①96.1% ②99.2%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.6% ②90.4%	①S ②A	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で老朽化等により、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け対応することで安全・安心な施設の提供に努めていく。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
71	1	(3)	①	【再掲】 ふれあい健康増進館ゆ・ら・ら管理運営事業	スポーツ振興課	市（委託）	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム賃貸借契約	①実施 ②実施	①実施 ②実施	7,406	7,365	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.3% ②99.9%	①98.1% ②99.9%	①97.8% ②99.6%	指定管理業務協定の仕様書目標	①99.0 ②99.4%	①S ②S	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
72	1	(3)	①	蔓科都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	市（委託）	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託（指定管理）	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告の回数	①１件 ②13回	①１件 ②13回	26,197	26,007	利用者満足度	96.6%	99.2%	97.5%	95.5%	直近３か年の平均値を目標値として設定した。	99.2%	A	A	適切な施設運営に加え、講座やイベント等を工夫しておこなったことなどにより、目標値を達成することができたため、Ａ評価とした。	都市部と中山間地域の交流を促進させる講座を一層充実させるため、地域の歴史や文化、伝統食の再調査、またはそれらに精通した人材の発掘に努める必要がある。	農林業体験や伝統食を活用した講座など、地域性を活かした取組により、都市部と中山間地間の交流の推進に寄与することができた。
73	1	(3)	①	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 清水文化会館管理運営事業	文化政策課	市（直営・委託）	市民に文化活動の場と芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図るとともに、文化を核とした清水都心の賑わい創出を図る。	ＰＦＩ・指定管理者制度（利用料金制）による館の維持管理・運営（設備の維持管理、利用受付・貸出・案内・自主事業等）	①通知書送付件数 ②委託業務契約の締結件数（モニタリング支援） ③モニタリング実施回数 ④指定管理業務報告書、財務に関する報告書・検査件数	①１件 ②１件 ③３回 ④15回（維持管理・運営） １回（財務）	①１件 ②１件 ③３回 ④15回（維持管理・運営） １回（財務）	291,368	291,077	①年間来館者数 ②ホール・ギャラリー利用率	①500,000人 ②70%	①375,700人 ②76.3%	①412,659人 ②73.6%	①245,961人 ②75.1%	「清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業運営業務仕様書」における事業期間第３ターム（令和４年度～令和８年度）で設定した目標値。	①543,068人 ②83.3%	①S ②S	S	年間来館者数及びホール・ギャラリー利用率ともに目標値を大幅に上回ったため。	引き続き多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、広報等による集客を強化し、来場数増加及び施設の利用率向上に努めていく。	市民の文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。
74	1	(3)	①	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市民文化会館管理運営事業	文化政策課	市（直営・委託）	市民に文化活動の場と多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図る。	指定管理者制度による館の運営（受付・案内・利用料徴収・設備の管理・事業等） 修繕、大規模改修など。	①指定管理業務協定締結件数 ②指定管理業務のモニタリング回数 ③指定管理業務報確認・検査件数（年報1件、月報12件）	休館中	－	休館中	－	①年間利用者数 ②年間施設利用率	休館中	①412,048人 ②67.4%	①375,944人 ②62.9%	①388,974人 ②62.1%	改修工事に伴い休館中であるため設定なし。	－	－	－	－	－	－
75	1	(3)	①	児童館運営事業	こども若者応援課	市（委託）	地域における児童健全育成の拠点として、子どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童に健全な遊びを提供する。	市内13館の児童館の運営	適切な運営施設数	13館	13館	244,497	241,446	①利用者満足度 ②利用者数	①90% ②280,000人	①98.4% ②287,212人	①97.2% ②247,297人	①90.7% ②197,229人	①指定管理協定で設定している目標値とした。 ②地域の児童健全育成の拠点となる児童館は重要な役割を担う施設であり、多くの子育て家庭や児童に利用していただくことを目的に、前年度と同程度の利用者数を目標値とした。	①98.4% ②317,684人	①S ②S	A	利用者数、満足度ともに前年度を上回り目標を達成することができたため。	利用者が安心して来館し、安全に過ごせるよう、イベントや講座等を検討し、子育て支援事業の充実を図り、地域の児童の健全育成の拠点として利用者増を目指す。	地域における児童健全育成の拠点としての機能を果たすことができた。
76	1	(3)	①	女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進（女性会館事業）	社会的包摂推進課	市（直営・委託）	男女共同参画社会実現のための拠点施設である女性会館を管理運営し、男女共同参画に係る各種事業を通して市民に広く啓発するとともに、女性をとりまく諸問題の解決に取組む市民グループの活動を支援する。	①指定管理者との協定の締結、男女共同参画に関する講座の開催、団体活動の支援、女性を取り巻く諸問題や男女共同参画に関する情報収集発信のための図書コーナーの運営、施設管理 ②女性会館相談室の開設：女性のための総合相談・法律相談、ＬＧＢＴＱ相談の実施 ③指定管理事業の年度評価の実施	①指定管理業務のモニタリング実施回数 ②指定管理業務報告確認・検査回数（年報１件、月報12件） ③年度評価の実施	①１回 ②13件 ③完了	①１回 ②13件 ③完了	108,761	108,385	①新規利用者数（講座、相談、図書） ②講座受講者の理解度 ③図書コーナーの図書貸出冊数 ④女性相談の適切な実施	①1,100人 ②80% ③17,640冊 ④実施	①1,409人 ②97.1% ③18,042冊 ④実施	①1,570人 ②96.9% ③17,503冊 ④実施（1,706件）	①1,284人 ②97.3% ③17,384冊 ④実施（1,889件）	①、②協定書の数値を目標値とした。 ③図書コーナーの本の貸出しにより男女共同参画の意識向上が図られることから、過去３年間の平均値を参考に目標値に設定した。 ④相談の適切な実施を指標として設定した（相談の適切な実施がなされているかについては、拡大ケースカンファレンスに出席し確認する）。	①1,486人 ②96.6% ③17,995冊 ④実施（1,614件）	①S ②S ③A ④A	A	・事業全般的に、若年層（高校生、親子等）に向けた事業を重点的に取り組んだことで、新規利用者数が増加した。 ・図書の利用者の増加に努めることにより、図書貸出冊数も例年を大きく上回った。 ・相談対応件数は若干減少したが、複雑化する相談に対応するため、支援体制とスキルアップに努めた。	・引き続きSNS等を積極的に活用し、講座・相談等を実施することにより、これまで女性会館を利用したことがない潜在利用者層（若年層）を掘り起こすこと及び新しい課題やより専門的な講座を実施することで男女共同参画の拠点施設としての機能をさらに充実させていくよう、指定管理者と協議等を行っていく。	多様な学習機会・特色ある学習機会の提供し、多くの方の学習に寄与することができた。
77	1	(3)	①	東静岡地区「アート&スポーツ/ヒロバ」開設・運営事業	企画課	市・補助等（直営・交付先）	「文化・スポーツ等の拠点」として位置付けた東静岡市有地を、本格的な整備方針が決定するまで、「賑わいづくりの実験場」として利活用する。	「まちは劇場プロジェクト」及び「2020年東京オリパラ」を見据えた取組として、大道芸・ダンス・音楽等の様々なジャンルとともに、ローラースポーツやホビー等のイベントを実施する「アート&スポーツ/ヒロバ」を運営する。	①実行委員会の開催 ②各作業部会の開催	①2回 ②6回	①2回 ②6回	13,477	13,477	①東静岡アート&スポーツ/ヒロバのローラースポーツパーク利用者人数 ②芝生広場でのイベント開催数	①15,123人 ②0回	①25,385人 ②3回	①26,189人 ②13回	①27,225人 ②12回	①前年度実績の110%を目標とする。（９月末で閉館のため、半年の実績とする） ②芝生広場については発掘調査のため令和７年度の利用は不可	①19,798人 ②0回	①S ②A	S	施設閉鎖に伴い、多くの人が訪れ、東静岡アート&スポーツ/ヒロバでの思い出を振り返ってもらえたと評価する。	事業終了	市民のスポーツ・文化芸術活動練習や成果の発表・展示の場を設けるとともに、それを鑑賞する機会を創出した。
78	1	(3)	①	文化・クリエイティブ産業振興センター管理運営事業	産業政策課	市（直営・委託）	文化・クリエイティブ産業の活性化を通じ、新産業の創出や地域の賑わいづくりを行う。	①大道芸、劇団などのパフォーミングアーツを支援する取組 ②クリエーターの集積と育成を図る取組 ③文化・クリエイティブ産業を振興するための啓蒙・啓発を進める取組 （展示会・セミナー等） ④企業とクリエーターとのマッチングを促進する取組	①指定管理関係業務（協定締結、年度評価、指定管理料支払業務等） ②管理運営に係る指導、助言	①事務処理の円滑な実施 ②月例会議（PD（プログラムディレクター）会議）への参加	①事務処理の円滑な実施 ②12回	91,538	90,859	①利用者数 ②利用者満足度 ③クリエーターと企業のマッチング件数 ④クリエーターの集積数	①40,000人 ②90% ③6件（R7年度以降16件） ④3者（R7年度以降5者）	①47,702人 ②92.2% ③20件 ④8者	①58,251名 ②85.6% ③12件 ④4者	①43,820名 ②90% ③16件 ④0者	指定管理業務仕様書【R5～R9】で定める指標を目標値に設定した。（過去の実績等を踏まえて各指標を設定。）	①39,403人 ②94.16% ③11件 ④3者	①A ②A ③C ④C	B	利用者数及び利用者満足度については目標を達成した。一方で、マッチング件数及び集積数については、令和７年度から目標を上方修正していることもあり、目標に達しなかったため、総合的にB評価とした。	今後もクリエーター向けのスキルアップと一般市民への啓蒙・啓発の双方を軸に事業の実施を推進する。	クリエイティブに関する講座やワークショップを実施し、市民に向けたクリエイティブ産業に対する学習環境を充実させることができた。
79	1	(3)	①	老人憩の家における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市（直営・委託）	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等の為の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。	①各種相談事業、健康増進、教養の向上、レクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②実施	①随時 ②実施	22,556	21,824	利用者満足度	90.0%	99.8%	99.2%	98.3%	すでに一定の評価を得ている高い利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	99.0%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。	健康の増進、教養の向上及びレクリエーションに関する事業の実施により、高齢者へ学習の機会を提供することができた。
80	1	(3)	①	世代間交流センターにおける高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市（直営・委託）	世代間の交流活動を通じて、豊かな地域社会の形成に資する。	①高齢者と地域住民等が相互に交流することを促進し、地域の伝統文化を承継する事業及び世代間の交流に係る教養の向上、レクリエーション等の場を提供する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②実施	①随時 ②実施	59,642	57,393	利用者満足度	90.0%	98.8%	98.6%	99.1%	すでに一定の評価を得ている高い利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	98.0%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。	健康の増進、教養の向上及びレクリエーションに関する事業の実施により、高齢者へ学習の機会を提供することができた。
81	1	(3)	①	老人福祉センター等における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市（直営・委託）	老人に対し、各種相談に応するとともに、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し活動の指導及び推進を図る。	①各種相談事業及び健康増進、教養向上及びレクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②実施	①随時 ②実施	260,593	248,297	利用者満足度	90.0%	97.9%	97.7%	96.7%	すでに一定の評価を得ている高い利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	95.3%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。	健康の増進、教養の向上及びレクリエーションに関する事業の実施により、高齢者へ学習の機会を提供することができた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
②展示等による鑑賞・学習機会の提供																									
82	1	(3)	②	登呂博物館管理運営業務	歴史文化課	市（直営）	登呂遺跡の価値を市民に発信し、地域の歴史や文化について関心を深めてもらう。	○特別展・企画展の開催 ○講座・講演会等教育普及事業を中心としたイベントの実施 ○博物館協議会の開催	①特別展・企画展回数 ②各種教育普及事業を中心としたイベントの開催回数 ③協議会開催回数	①4回 ②30回 ③2回	①4回 ②37回 ③2回	164,486	147,560	博物館の入館者数	169,000人	167,362人	165,820人	161,181人	直近３か年の実績値および上昇率をもとに算出	157,447人	A	A	特別展、企画展、教育普及事業等を実施した。 入館者数について、目標値を下回ったが、目標値の93%であるため。	弥生時代の生活体験を通じて遺跡の魅力をより深く 理解してもらうため、教育普及事業の実施など情報発 信を取り組んでいく。	登呂遺跡・登呂博物館内での体験や、講座、イベントを通して、登呂遺跡や歴史に関心を持てるよう、様々な学習機会を提供することができた。
83	1	(3)	②	三保松原文化創造センター管理運営	歴史文化課	市（直営・委託）	世界文化遺産「三保松原」の魅力と価値を国内外へ発信するとともに、三保松原と他の文化や芸術と融合させた松原文化を創造していく。	○建物の保守、管理 ○展示の保守、管理 ○企画展の開催	①年間を通しての開館 ②年間を通しての公開 ③企画展の開催回数	①実施 ②実施 ③3回	①実施 ②実施 ③3回	35,107	28,941	来館者数	550,000人	518,231人	500,462人	423,100人	前年度目標値の110%を今年度目標値として設定した。	546,833人	A	A	年間を通しての開館、展示品等の公開を実施した。 来館者数は目標値を下回ったが、前年比が105%であったため。	三保松原の魅力をより深く理解してもらうため、出前講座の実施やSNSを用いた情報発信に取り組んでいく。	出前講座の実施やSNSを用いた情報発信に取り組むことができ、三保松原の魅力をより深く理解する機会を提供することができた。
84	1	(3)	②	科学への関心を高めるための各種事業の実施（静岡科学館事業）	文化政策課	市（直営・委託）	市民が自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力及び感性の向上に資する。	指定管理者制度による施設、展示物の維持管理を行うとともに科学の実演会及び講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13件	①1件 ②3回 ③13件	313,265	313,173	①年間来館者数 ②事業満足度※R5から（R4までは連携事業回数を指標としていた。）	① 250,000人 ②95%	① 196,372人 ②99.2%	① 190,290人 ②99.1%	① 161,063人 ②184回	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	① 198,778人 ② 98.8%	①B ②A	B	事業満足度については目標値を上回ったが、年間来館者数は目標値に大きく届かなかったため、達成度を総合的に判断し、Bとした。	SNSや展示物を活用した広報活動等により来館者の増加に努めていく。	様々なソフト事業の実施により、市民の科学への関心を高め、科学分野の学習環境を充実させることができた。
85	1	(3)	②	興津坐漁荘記念館管理運営事業	観光政策課	市（委託）	興津地区および周辺地域を結びつけ、観光コースの拠点として地域の活性化と観光振興を図る。	施設の維持管理運営及び観光情報を発信し集客対策を行う。	①事務の適正な実施 ②東海道まちあるきウェブサイトへの情報掲載	①実施 ②1回	①実施 ②0回	9,545	9,020	①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度（５段階評価で４以上の割合）	①6,567人 ②92%以上	①7,217人 ②100%	①7,877人 ②98.4%	①7,386人 ②99.9%	①令和５年度から令和６年度の入館者数の変化率を令和６年度の入館者数にかけた数値を設定 ②直近３か年の平均値をもとに算出した。	①7,186人 ②100%	①S ②A	S	来館者数、満足度ともに目標値を上回っており、展示内容やスタッフ対応について、高い満足度が得られたため。	ウォーキングイベントとの連携、朝鮮通信使、清見寺等周辺施設との連携による周遊促進、地元の子どもたちを中心とした積極的な教育普及を通し、東海道の興津宿の観光拠点としての魅力発信に取り組んでいくとともに、近年増加傾向にあるクルーズ船客の取り込みにより、更なる来館者数の増加を図っていく。	施設にて朗読劇や音楽、ライトアップイベント等を通し、最後の元老「西園寺公望公」が晩年生活した興津の魅力をより深く味わえるようイベントを開催している。また、市内の小中学校からの施設訪問も多く受け入れるとともに興津坐漁荘・西園寺公望公検定などの独自の取り組みも行い生涯学習の推進に寄与している。
86	1	(3)	②	芹沢銈介美術館管理運営事業	文化政策課	市（直営）	静岡市名誉市民であり型絵染の人間国宝・芹沢銈介の芸術を永く後世に伝える。美術に関する知識の向上と文化の発展に寄与する。	芹沢銈介の型絵染の作品等や芹沢銈介が収集した世界各国の工芸品の展示を行うとともに、講座や講演会等教育普及事業を実施する。	①企画展の開催件数 ②講演会・講座等教育普及事業の開催回数 ③開館日数	①4件 ②10回 ③252日	①4件 ②19回 ③252日	45,176	45,176	①年間観覧者数 ②観覧者満足度	①32,000人 ②96.5%	① 32,142人 ② 98.3%	①30,925人 ②95.4%	①32,363人 ②95.8%	直近３か年の実績をもとに設定	①34,262人 ②97.1%	①S ②A	A	いずれも目標値を達成し、芹沢芸術の魅力を広く発信することができたため。	観覧者の更なる増加に向け、新たな広報媒体を取り入れるなど、美術館の認知度向上に努めていく。	展覧会毎に芹沢銈介の様々な側面を紹介することで、幅広い芸術の世界に触れる機会を提供し、市民の学習環境を充実させることができた。
87	1	(3)	②	市民ギャラリー事業の実施	文化政策課	市（委託）	市民に文化に触れる機会と発表の場を提供し、文化の向上を図る。	ギャラリー利用者の受付管理、展示会予定表の作成、作業日誌の作成等の管理運営事務及びギャラリー使用料徴収業務	①業務委託契約の締結 ②業務委託完了報告書の確認 ③業務委託の検収	①1件 ②12件 ③1件	①1件 ②12件 ③1件	7,657	7,622	年間利用率	50.96%	52.00%	50.30%	50.60%	直近３か年の実績値の平均値	59.20%	S	S	年間利用率について目標値をを大きく上回ったため。	利用率の向上を図るため、引き続き広報手段の検討、照明設備等展示室のリニューアルを順次実施していく。	美術作品の展示会等の場を提供し続け、市民の芸術文化の向上を図り、芸術文化活動の交流の場を提供し、市民の学習を支援することができた。
88	1	(3)	②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡音楽館管理運営事業	文化政策課	市（直営・委託）	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が音楽文化に触れる機会を提供するため、各種コンサートや講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13件	①1件 ②3回 ③13件	377,453	366,681	①施設利用率（年間平均） ②定員に対するコンサート入場者数の割合（年間平均）	①84% ②70%	①78.3% ②63.1%	①77.9% ②67.1%	①76.2% ②64.7%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	①82.3% ②66%	①A ②A	A	両指標とも目標値には届かなかったものの施設利用率は上昇傾向にあるため。	施設利用者の裾野を拡大するため、市民の鑑賞機会拡大や地域の音楽家の支援・育成を図り、事業内容を充実させていくことで、施設利用率向上とコンサート入場者数の増加に努めていく。	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。
89	1	(3)	②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市美術館管理運営事業	文化政策課	市（直営・委託）	多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展示や講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13件	①1件 ②3回 ③13件	340,599	337,153	①累計入館者数（150万人・R2～R6） ②展覧会事業における来場者満足度（年間平均）	① 300,000人（150万人／5年） ②85%	① 286,668人 ②94.8%	① 286,128人 ②96.0%	① 202,136人 ② 95.5%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	① 230,638人 ②94.7%	①B ②A	A	入館者数は、目標値に届かなかったもののコロナ禍前の水準に達する勢いであり、展覧会事業における来場者満足度については目標値を上回ったため、A評価とした。	効果的な広報手段を検討することや、事業内容の充実を図ることにより、入館者数の増加に努めていく。	市民の芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。
90	1	(3)	②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 中勘助文学記念館管理運営事業	文化政策課	市（委託）	作家中勘助氏の業績の顕彰や市民の文化・文芸活動の場として広く市民の文化向上に寄与すること。	「中勘助文学記念館」の日常管理運営及び中勘助顕彰事業の実施。	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認・検収件数（月報12件）	①8件 ②12回	①8件 ②12回	9,575	8,999	年間来場者数	2,021人	2,000人	2,178人	1,886人	直近３か年の実績値の平均値	1566人	B	B	開館30周年記念事業の実施により勘助の業績を広く発信することができたものの年間来場者数について目標値を下回ったため。	顕彰事業及び記念館活用事業の実施により、新規顧客層の獲得を含め、引き続き来館者の増加に努めていく。	市民の芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。
91	1	(3)	②	駿府匠宿運営事業	産業振興課	市（直営・委託）	今川、徳川時代から受け継がれてきた伝統工芸とその後興った近代産業をテーマにした体験型施設「駿府匠宿」を運営し、創作体験や各種展示を通じて、来場者が工芸に親しみ、歴史に触れる機会を提供して、本市地場産業の振興を図る。	①「駿府匠宿」の管理・運営を指定管理者制度のもとに実施 ②本市伝統工芸や地場産業を体験できる場を提供	①協定締結事務件数 ②年度評価回数 ③定例会実施回数	①1回 ②1回 ③12回	①1回 ②1回 ③12回	184,155	183,808	①創作体験者数 ②利用者満足度	①23,200人 ②90%	①35,463人 ②96.4%	①29,863人 ②96.4%	①29,513人 ②97.8%	①②指定管理施設である駿府匠宿を現指定管理者が指定された際に過去５年度実績をもとに設定した。 ※新型コロナウイルス感染症に伴う自粛等を考慮している。	①37,904人 ②95.8%	①S ②S	S	実績値が目標値を大きくを上回ったため	今後も創造体験数と利用者満足度の実績向上を持続させるためには、参加者層の拡大や体験内容の充実が必要であり、これらに向けて指定管理者と協議を進めていく。	静岡市の伝統工芸を学ぶ機会を提供し、多くの方の学習に貢献することができた。
92	1	(3)	②	図書館管理運営事業	中央図書館	市（直営）	12館の図書館施設及び移動図書館の安全で安心できる維持管理を行う。	施設の適切な維持管理を行う。	①委託事業件数 ②設備点検/維持管理作業件数	①58件 ②18件	①62件 ②28件	495,758	408,166	①図書館施設の瑕疵による事故件数 ②図書館施設の瑕疵による閉館日数	①0件 ②0件	①0件 ②0件	①0件 ②0日	①0件 ②0日	①直近３か年の実績は０件。図書館施設は全体的に老朽化が進んでいるが、今後も計画的な設備点検や委託事業等を実施し、利用者が安全で安心できる施設の維持管理を確実に実現する必要があることから、図書館施設の瑕疵による事故件数０件を目標値として設定。 ②直近３か年の実績は０日。今後も計画的な設備点検や委託事業等を実施し、図書館施設の瑕疵による閉館という事態で利用者の不利益になることを防ぐ必要があることから、図書館施設の瑕疵による閉館日数０日を目標値として設定。	①0件 ②0件	A	A	当取組の令和7年度実績は0日であり、目標どおりの成果となった。これにより、利用者にとって安全安心な施設の維持管理に繋がったと評価できることから、評価結果は「A」とした。	当取組の評価結果は「A」であったが、利用者にとって安全安心な施設の維持管理に向けては、各館の老朽化が課題となっている。このことから、今後も計画的な設備点検や施設保全の委託業務を実施するとともに、関係課と連携し、個別施設計画の着実な推進を図っていく。	適切な維持管理を行うことで、老若男女問わず利用者にとって安心安全に学習できる施設として運営することができた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値 R6	直近3か年の実績値 R5	直近3か年の実績値 R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
93	1	(3)	②	清水港船宿記念館管理運営事業	観光政策課	市（委託）	次郎長翁の功績と清水地区の歴史、文化を紹介することで、清水港エリアのまち歩き観光の拠点として活用する。	施設の維持管理運営を行う。また、指定管理者の行う事業により、施設の高度利用と魅力づくりを図ると共に、情報を発信し集客を図る。	①指定管理事務の実施 ②連絡会議の開催 ③東海道まちあるきウェブサイトへの情報掲載	①実施 ②年6回以上 ③年4回以上	①実施 ②年6回以上 ③0回	8,241	8,230	①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度（5段階評価で4以上の割合）	①18,000人 ②80%以上	①14,448人 ②93.0%	①7,739人 ②88.8%	①7,350人 ②92.4%	指定管理の仕様書に定める目標値を設定	①14,344人 ②92.0%	①B ②S	A	利用者満足度は目標値を上回ることができたが、利用者数は目標を達成することができなかったため。	国内・インバウンド客のさらなる集客に向けた取組を工夫する必要がある。特に来館者アンケートから見えるリピーター客の割合の少なさは問題点の一つとして認識する必要があり、市内・近隣からの再訪客や団体客の取り込みが大きな課題である。	次郎長に関するイベントや企画展を地元住民と協働して実施しつつ、観光案内所としても様々な媒体で情報発信をしており、地域の観光振興のための拠点としての機能を発揮することができた。
94	1	(3)	②	静岡市東海道広重美術館管理運営事業	観光政策課	市（委託）	東海道五十三次を代表作とする歌川広重の浮世絵を所蔵し、市民・観光客に広く閲覧することで、文化の振興と、街道観光に寄与する。	施設の維持管理運営を行う。また、指定管理者の事業により、施設の高度利用と魅力づくりを図る。また、広重美術館及び由比本陣施設指定管理者とともに集客対策を進める。	①指定管理業務の実施 ②連絡会議の開催 ③東海道まちあるきウェブサイトへの情報掲載	①実施 ②年6回以上 ③年4回以上	①実施 ②年12回③年7回	46,137	43,806	①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度（5段階評価で4以上の割合）	①24,500人 ②80%以上	①29,610人 ②88.0%	①26,319人 ②88.4%	①16,766人 ②86.4%	指定管理の仕様書に定める目標値を設定	①33,228人 ②88.4%	①S ②S	S	他の施設・団体との連携を展覧会事業に活かし、様々な切り口で幅広い層へ浮世絵文化の魅力を発信することで目標の来館者数を大幅に上回ることができたため。 また、利用者の希望に合わせた展示解説を行うことにより来場者満足度の目標値を大幅に上回ることができたため。	設定した成果指標は目標値に達しているが、インバウンドや小学生への教育普及事業については、改善の余地がある。英語解説による来館対応や市内外への出前講座を実施し、さらなる来館者増加を図っていく。	年5回の企画展は、様々な切り口で展開し、誰もが浮世絵文化に気軽に触れられるよう鑑賞・学習の機会を提供した。また、学芸員による展示解説や講演会、ワークショップを開催し、様々な手法で学習機会を提供した。
95	1	(3)	②	埋蔵文化財センター管理運営事業	歴史文化課	市（直営）	埋蔵文化財センターの円滑な管理運営と共に出土遺物の調査整理と展示公開を行い、市内の埋蔵文化財について顕彰する。	①発掘調査した遺跡の資料整理作業と出土遺物の保管・管理を行う。 ②整理作業の終了した遺物の展示や遺跡の紹介を行う。	①出土遺物の実測点数 ②企画展の開催回数	①500点 ②3回	①405点 ②3回	8,761	7,970	①年報、報告書完成2件以上 ②来館者数	①2件 ②1890人	①4件 ②2,007人	①3件 ②1,800人	①2件 ②2,168人	①例年刊行している文化財年報1件、計画されている発掘調査等報告書1件とした。 ②修繕工事による臨時閉館期間を考慮し、増は見込ますず前年度の目標値と同数とした。	①3件 ②1,604人	①S ②B	A	修繕工事による臨時閉館（1か月程度）もあり、来館者数は目標値を下回ったが、当初予定以上の報告書を作成、刊行したため。	出土品に触れる機会など来館者増につながる取組を進めるとともに、出前講座や発掘調査報告書の電子公開など、様々な機会で埋蔵文化財を知ることができるよう取り組んでいく。	過去に刊行した発掘調査報告書をPDF化して公開し、市民の利用機会を増やすことができた。
2　学びを地域や社会に活かすための支援の充実																									
（1）地域や社会を担う人材の養成																									
①シチズンシップに富んだ人材の養成																									
96	2	(1)	①	地域デザインカレッジ2025（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	地域課題や社会課題を正確に把握し、主体的に課題解決に取り組むことができる人材を養成する。	地域課題や社会課題の解決手法を習得できる学習機会と、課題解決に向けたチャレンジの場を提供する講座の実施。	講座回数	6回	6回	1,032	1,032	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②8人	①100% ②11人	①100% ②10人	①100% ②10人	①直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。 ②講座定員の8割に設定した。	①100% ②8人	①A ②A	A	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合及び②修了生数について、目標を達成したため。	講座実施初年度だったため、先輩社会事業家としてゲスト講師等を起用したが、次年度以降はローカルモデルとして修了生にも講座に関わってもらい、講座中の取組の充実や修了後の活動継続につなげる。	市の課題を事業で解決する手法や考え方を学ぶだけでなく、実際に取り組む実践の場を創出することができた。
97	2	(1)	①	駿河区地域の人材育成事業　駿援隊（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	地域コミュニティ（自治会・町内会等）をリーダーとともに支える人材を育成する。	防災をテーマに地域人材の連携や問題解決の手法などについて学ぶ講座を実施。 （駿河区地域総務課）	講座回数	4回	4回	747	627	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①96.4% ②23人	①95.0% ②20人	①94.3% ②29人	①100% ②22人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②20人	①A ②B	B	成果指標の①は目標を達成したが、②は目標未達成となったため。	本講座の内容や修了生の要件を明確にすることや、毎講座終了後のアンケートで得た意見等を以降の講座に活かす等、修了生の増加に務める。	若い世代の受講生が増加することで、講座内の多世代交流が新たな気づきを創出し、講座受講生の学びを深めることができた。
98	2	(1)	①	スキルを活かす 地域のデジタル人材養成ワークショップ（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	デジタルを活用して地域の課題を解決する人材を発掘、養成する。	地域課題や情報弱者に対するサポートなどを行う地域のデジタル人材として活躍の一歩を踏み出す講座（ワークショップ）の実施。 （DX推進課）	講座回数	5回	5回	400	367	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②15人	①100% ②15人	—	—	①②講座実施2年目となるため、前年度の値に設定した。	①100% ②17人	①A ②S	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	地域課題や情報弱者に対するサポートなどを行う地域のデジタル人材を養成することができた。
99	2	(1)	①	地域防災人材養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	地域防災の課題を正確に把握し、主体的に課題解決に取り組むことができる人材を養成する。	地域防災の課題解決手法を習得できる学習機会と、課題解決に向けたチャレンジの場を提供する講座の実施。 （生涯学習推進課）	講座回数	5回	5回	250	250	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②10人	—	—	—	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①87.5% ②10人	①S ②A	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	地域防災の課題解決手法を学び、課題解決にむけてチャレンジできる人材を養成することができた。
100	2	(1)	①	環境大学（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	環境全般について専門的な知識を修得し、身の回りの環境問題の解決に向かって主体的に取り組む環境学習リーダー・学習支援スタッフを育成することにより、よりよい静岡市の環境を将来の世代へ継承することを目指す。	多彩な大学教授・現場を熟知する専門家が講師となり、環境問題を様々な視点から捉え、自らが行動するための知識や実践的な技能を学ぶ講座の実施。 （ごみ減量推進課）	講座回数	10回程度	21回	723	488	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②23人	①100% ②21人	①100% ②24人	①100% ②25人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②22人	①A ②A	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	環境を将来の世代へ継承していく人材を養成することができた。
101	2	(1)	①	市民生きもの調査員養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	生物多様性保全のために生きもの調査を実施できる人材を養成する。	市内に生息する多種多様な生きものの調査を実施できる人材の養成を行うために、生きものの見分け方やモニタリング手法を学び、専門家と共にフィールドに出て実際に調査を行う講座の実施。 （環境共生課）	講座回数	6回	6回	165	125	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①95.0% ②21人	①95.0% ②21人	①94.1% ②20人	①94.4% ②21人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①94.4% ②24人	①A ②S	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	生物多様性保全の担い手となる人材を養成することができた。
102	2	(1)	①	静岡市環境学習指導員入門講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	環境教育の基礎を学び、現環境学習指導員のスキルアップや、新たな環境学習指導員の養成する。	環境教育の基礎等を学ぶ講座の実施。	講座回数	8回	8回	委託料3,069千円の一部	委託料3,069の一部	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②12人	①100% ②12人	—	—	①②講座実施2年目となるため、前年度の値に設定した。	①100% ②10人	①A ②B	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が目標の修了生数12人に対し10人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	環境学習指導員の担い手となる人材を養成することができた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）										
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	直近３か年の実績値 R5	直近３か年の実績値 R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
103	2	(1)	①	観光ボランティアガイド養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	観光ガイドによるおもてなしやガイドを行なうことで、観光地の魅力度を向上させ、観光による交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	観光ボランティアガイドとして活動している団体の会員から、ガイドとしておもてなしをするうえで必要となる心構えや、市内の観光地を案内する際のポイント等を学ぶ講座の実施。（観光政策課）	講座回数	6回	6回	324	245	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①98.0% ②20人	①94.1% ②18人	①100% ②16人	①100% ②24人	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②13人	①A ②C	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が目標の修了生数20人に対し13人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	観光ボランティアガイドの担い手となる人材を養成することができた。
104	2	(1)	①	英語deおもてなしサポーター養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	クルーズ船乗船客等に対しておもてなしやガイドを行なうことで、観光地の魅力度を向上させ、観光による交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	主にクルーズ船寄港時に、英語でのガイドをしている団体の会員から、海外の方をおもてなしをするうえで必要となる心構えや、英語で案内する際のポイント等を学ぶ講座の実施。（観光政策課）	講座回数	6回	6回	623	589	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②19人	①100% ②18人	①84.2% ②19人	①88.2% ②20人	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①90.5% ②27人	①A ②S	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	海外の方を英語でガイドする人材を養成することができた。
105	2	(1)	①	市民後見人養成講座（基礎編）（こ・こ・に地域チャレンジ学部） ※隔年実施	生涯学習推進課	市（直営・委託）	認知症高齢者等が増加する中、成年被後見人を地域で支える体制を構築するために、その新たな担い手として市民後見人を養成する。	成年後見制度の概要や対象者理解などを、実習を交えて学ぶ講座の実施。（福祉総務課）	講座回数	隔年開催のため未実施	6回（新規募集なし）	委託料23,075の一部	委託料22,759の一部	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	隔年開催のため基礎編未実施	①100% ②5人	隔年開催のため未実施	①100% ②13人	①②隔年開催でR5のデータが無いため、R4とR6の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	—	—	—	—	—	—
106	2	(1)	①	再犯防止に関する支援者養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	再犯防止の推進に理解ある市民を増やし、犯罪をした者等の社会復帰を推進する。	犯罪等をした者等の処遇についてや（保護観察や保護司制度等）、社会復帰のための就労・居住支援の制度について学び、再犯防止の推進について理解を深める講座の実施。（福祉総務課）	講座回数	7回程度	7回	165	49	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①96.7% ②15人	①93.3% ②15人	①100% ②15人	—	①②講座実施３年目となるため、直近２か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②6人	①A ②C	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が目標の修了生数15人に対し6人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	犯罪等をした者を地域で支える担い手となる人材を養成することができた。
107	2	(1)	①	アイボランティア入門講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	視覚障がいのある人を支援するボランティアを養成する。	視覚障がいへの理解を深め、視覚障がいのある方々との座談会や、点訳、音訳、ガイドヘルブなどの体験を行い、必要なサポートを学ぶ講座の実施。（障害福祉企画課）	講座回数	7回	7回	180	180	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②13人	①100% ②10人	①100% ②17人	①88.9% ②11人	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②15人	①A ②S	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	視覚障がいのある人を地域で支える担い手となる人材を養成することができた
108	2	(1)	①	移動支援事業従事者養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	知的障がい及び精神障がいのある方を対象としたガイドヘルパーを担える人材を養成する。	移動支援の基礎知識や障がいのある方への接し方などを、講義や実際の外出支援への同行を通じて学ぶ講座の実施。（障害福祉企画課）	講座回数	各3回	各3回	519	519	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①98.1% ②50人	①98.0% ②46人	①100% ②44人	①96.3% ②60人	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①92.5% ②72人	①A ②S	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	知的障がい及び精神障がいのある人を地域で支える担い手となる人材を養成することができた。
109	2	(1)	①	ひきこもりサポーター養成講座（こ・こ・に講座）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	ひきこもり支援を適切に行える人材を養成することにより、ひきこもり支援の資質向上を図る。	「ひきこもりとは？」という基礎知識から、講座修了後のサポーター活動を見据えた実際の支援方法まで取り組む講座の実施。（こども若者応援課）	講座回数	4回	4回	38	38	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①89.4% ②11人	①75.0% ②9人	①100% ②9人	①93.3% ②15人	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②13人	①S ②S	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	ひきこもり支援を必要とする人を地域で支える担い手となる人材を養成することができた。
110	2	(1)	①	”学校・地域 ひとつなぎ”コーディネーター養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	学校と地域をつなぐコーディネート役を担い、学校の教育活動へ参画し、学校支援・放課後の居場所づくり等の連携・協働活動を推進していくことができる人材を育成する。	教育や学校と地域の連携のあり方、コーディネーターの役割、広報や情報収集、活動プログラム立案等のスキルを学ぶ講座の実施。（教育総務課）	講座回数	6回	5回	770	755	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②27人	①100% ②24人	①100% ②26人	①100% ②30人	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①95.2% ②20人	①A ②B	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が目標の修了生数27人に対し20人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	学校と地域をつなぐコーディネートの担い手となる人材を養成することができた。
111	2	(1)	①	静岡プラモデル大学（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	行政やプラモデル業界とともにプラモデルを活用したまちづくりに参画する人財を育成する。	プラモデル産業が抱える課題を捉え、プラモデルに関する知見、技術を学習すると共に、プラモデルを活用したまちづくりに関する手法を習得する。（産業振興課）	講座回数	10回	10回	1,700	1,700	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①98.8% ②28人	①96.3% ②28人	①100% ②31人	①100% ②23人	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①- ②23人	①- ②B	B	成果指標①は指標となるアンケートの回収ができなかった。②が目標の修了生数28人に対し23人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	プラモデルを活用したまちづくりに参画する人材を養成することができた。
112	2	(1)	①	高校生まちづくりスクール（プロジェクト編）（こ・こ・に高校生チャレンジコース）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	若者の地域定着を図るため、若者の社会参画を促すことで、自己有用感及び地域への愛着を高める。	参加者が自身の興味関心から発見された地域課題を解決するためのプロジェクトを考案し実行する講座の実施。（こども若者応援課）	講座回数	6回	6回	770	755	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①97.2% ②14人	①91.7% ②14人	①100% ②10人	①100% ②12人	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②9人	①A ②C	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が目標の修了生数14人に対し9人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	若者の地域定着や社会参画を促し、自己有用感及び地域への愛着を高めることができた。
113	2	(1)	①	生涯学習事業	生涯学習推進課	市（直営・委託）	各生涯学習施設における現代的課題及び地域課題や人材育成等を扱った講座等の実施	郷土理解、地域産業、市民主体のまちづくりを推進する人材育成等を扱った講座の実施	講座回数	各館２分野実施	32施設中すべての施設で２分野実施。	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	92.8%	92.7%	93.1%	92.7%	直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	93.0%	A	A	受講生満足度が目標をやや上回っており、目的に沿った学習機会の提供をすることができたため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	市民に身近な各生涯施設において、地域のまちづくりの担い手となる人材を養成することができた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
114	2	(1)	①	自殺対策事業（ゲートキーパー養成研修）	精神保健福祉課	市（直営）	自殺のリスクを抱える方の早期発見・早期対応を図るため、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を行うことのできる人材を養成する。	身近な人の辛い思いに気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげ、見守ることのできる「ゲートキーパー」を育成するための研修を行う。	研修会開催回数 ①市職員向け ②支援者向け ③動画配信	①1回 ②2回 ③実施	①2回 ②0回 ③実施	33	0	自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数の割合）	14.2%	13.7%	17.1%	18.1%	自殺死亡率について、令和8年13.0以下を目標に、令和4年18.1を基準に毎年1.3を減じた数値を目標として設定。	14.1%	A	A	市職員向け研修及び動画配信により、ゲートキーパーの知識・意識の向上を図った。支援者向け研修が未実施となったが、複数の手法による人材育成の取組は一定の効果を上げている。	研修の更なる充実が必要である一方、業務過多等により実施が難しい状況にある。今後は、動画配信や関係機関との連携など、限られた体制の中でも実施可能な工夫により、継続的なゲートキーパー養成を図る。	生きづらさを抱えた市民を支援することが多い業務に従事する職員が、自殺に係る正しい知識や支援情報を学ぶ機会を提供することができた。
115	2	(1)	①	要約筆記者養成講座	障害福祉企画課	市（委託）	聴覚に障がいのある人の交流活動の促進及びコミュニケーションを支援する人材を養成する。	聴覚に障がいのある人のコミュニケーション支援の一つとして、要約筆記を行う人材を養成する講座の開催 ①静岡県と共同で実施している要約筆記者養成講座 ②要約筆記の周知及び利用者の拡大を目的とする市独自の講座	①②ともに講座開催数	①23回 ②2回	①23回 ②1回	830	829	①②ともに受講者数	①20人 ②20人	①27人 ②25人	①22人（県内） ②33人	19人	①受講生の減少により事業の見直しを行い、令和4年度より県との共催事業となったため、R4～県講座の定員数を目標値とした。 ②R5年度からの新規事業のため定員数を目標値とした。	①15人（県内） ②24人	①B ②S	A	②では参加者数が目標値を上回ったものの、①では下回ったため。	講座内容や対象等の見直しを行うとともに、効果的な広報を検討し、周知拡大に努める。	普段の生活において関わることが少ない要約筆記の講座を実施し、学習機会を提供することにより、様々な年齢層の受講生に聴覚障がい者に対する理解を深める学習機会を提供することができた。
116	2	(1)	①	静岡市型人材養成事業	障害福祉企画課	市（委託）	本市に在住する重症心身障がい児（者）の方への支援体制を充実させるため、事業所職員、看護師の他、当事者の保護者にも講師に加わってもらい、利用者目線を重視した「静岡市型人材養成事業」を実施する。	重症心身障がい児（者）対応の既存施設、親の会等との連携により、利用者目線の実践的な支援技術を身に着けるための研修等を実施	人材養成講座の開催	実施	実施	405	400	講座実施回数	13回	14回	14回	11回	直近3か年の講座実施回数の平均値を目標値として設定した。	12回	A	A	成果指標の目標値をやや下回ったものの概ね達成することができたため	重症心身障がいへの理解および支援者養成のため、継続した事業実施と新たな講座開催先を検討していく。	当事者や支援者による出前講座を通じて、重症心身障がいへの理解促進を図るとともに、将来的な支援の担い手へとつなげるための一助とすることができた。
117	2	(1)	①	手話奉仕員養成講座	障害福祉企画課	市（直営・委託）	聴覚障がい、または言語機能に障がいがある人（聴覚障がい者等）のコミュニケーションを支援する手話通訳者を育成するための人材（手話奉仕員）を養成する。	手話通訳者を養成するため、その基礎となる手話奉仕員養成講座を開催	手話奉仕員養成講座の開催	92回（昼の部46回、夜の部46回）	92回（昼の部46回、夜の部46回）	2,044	2,002	受講者数	58人	60人	63人（昼の部30人、夜の部33人）	51人	安定した受講者数の確保を目指すため、過去3年の受講者数の平均値を目標値として設定した。	52人	B	B	受講者数が目標値を下回ったため。	今後も受講生確保のための周知と、修了生に向けた県講座への受講に繋げるべく働きかける。	普段の生活において関わることが少ない手話の講座を実施し、学習機会を提供することにより、様々な年齢層の受講生に聴覚障がい者に対する理解を深める学習機会を提供することができた。
118	2	(1)	①	地域学校協働活動推進事業	教育総務課	市（直営・委託）	学校と地域が連携・協働することにより、地域全体で子どもたちの健やかな育成を図る。	①各小中学校における学校応援団活動の実施 ②地域との連携・協働による円滑な放課後子ども教室の運営 ③統括・地域学校協働活動推進員の配置 ④放課後子ども教室と児童クラブを一体的に運営するオクシズ・アフタースクールズの実施	①学校応援団実施校数 ②放課後子ども教室実施校数	①全小中学校 ②小学校79校	①全小中学校 ②小学校79校	118,800	97,594	①地域の子どもは、学校だけでなく、地域住民も主体的に関わり育てていくものと考える地域住民の割合 ②放課後子ども教室参加児童の満足度「楽しい、どちらかというと楽しい」	①100% ②100%	①99.3% ②91.9%	①98.9% ②92.1%	①ー ②91%	①各学校・地域へのアンケート調査により、算出。全ての小中学校で地域との連携が実現することを目指し設定した。 ②児童へのアンケート調査により、算出。児童に高い満足度を感じてもらうために設定した。	①98.0% ②94.3%	①A ②A	A	統括的な推進員と地域学校協働活動推進員による支援活動や、おたより・リーフレット等による事例紹介・情報提供により、各学校、地域の実情に応じた学校支援活動の推進や放課後子ども教室を実施することができたため。	放課後子ども教室での活動内容がパターン化する傾向があることから、今後も研修会で推進員同士が意見交換する場を設け、児童がより楽しめる内容を企画できるように支援する。	統括・地域学校協働活動推進員を中心に学校応援団活動や放課後子ども教室を実施することで、地域での活動の繋がりを行った。それにより、住民主体のまちづくりを推進することができた。
119	2	(1)	①	認知症サポーター養成講座	地域包括ケア推進課	市（直営）	認知症の発症初期から地域における認知症の人への支援体制の構築を図る。	認知症サポーターの養成	認知症サポーター養成講座の開催数	5,400人	3,916人	1,421	1,015	サポーター養成数	5,400人	2,047人	2,744人	2,404人	厚生労働省の目指す全国でのサポーター養成数を静岡市の人口割合として換算した数。	3,916人	B	B	目標値をやや下回ったが、前年度と比較して大幅にサポーター養成数を増加することができた。	小学校や企業向けに積極的に周知し、事業の活用を呼び掛けていく。	認知症サポーター養成講座を通して、年代を問わず広く認知症の正しい知識と対応について周知することができた。
②地域経済を担う人材の養成																									
120	2	(1)	②	しずおか教師塾（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	教育に対する情熱や使命感をもち、公教育が抱える現在の多様な教育的ニーズに正面から取り組むことができ、人を敬い、子どもを愛し、次代を担う人づくりへの職責を果たし、市民から信頼される人材を育成する。	人間力を磨くための「人学（ひとまなび）講座」及び教師力を高めるための「教育講座」を中心に、宿泊体験講座や未来講座等の講座の実施。 （教職員課）	講座回数	18回	18回	1,869	1,046	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②27人	①100% ②26人	①100% ②30人	ー ②24人	①②新たな指標となって3年目となるため、直近2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②27人	①A ②A	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	教員を目指す人材を養成することができた。
121	2	(1)	②	ヘルシー食deプランディング飲食関係者向け専門講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	ヘルシーメニュー提供の意義や技術的指導を実施。また、提供だけでなく手段として社会課題解決に生かせる人材を養成	ヘルシーメニュー提供に向けた技術的指導やマーケティング、ブランディングを学びながら取り組み、食を社会課題解決に生かす手法を学ぶ講座の実施。 （健康づくり推進課）	講座回数	5回程度	6回	1,060	990	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②4人	①100% ②3人	①100% ②5人	ー	①②講座実施3年目となるため、直近2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①- ②1人	①- ②C	C	成果指標①は指標となるアンケートの回収ができなかった。 ②が目標の修了生数4人に対し1人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	食を通じて社会課題の解決をする人材の発掘と養成をすることができた。
122	2	(1)	②	求職者のための介護職員新任者研修講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営）	人手不足の介護業界へ人材の新規流入を図る。	介護職員初任者研修（介護職として働くうえで基本となる知識・技術を習得する研修）の資格取得のための講座を実施。 （商業労政課）	講座回数	各16回程度	各18回	110	110	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②34人	①100% ②34人	ー	ー	①②講座実施2年目となるため、前年度の値に設定した。	①100% ②17人	①A ②C	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が目標の修了生数34人に対し17人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	介護関係の事業所等へ就職・転職し、介護職として働く人材を養成することができた。
123	2	(1)	②	起業体験プログラム（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	若者や学生でスタートアップとして起業したい人材を養成する。	起業やスタートアップに必要な知識やスキルを学び、実際に起業していくためのプロセスを体験する講座の実施。 （産業政策課）	講座回数	4回	【1～2】2回 【3～5】1回	委託料 8,000千円の一部	委託料 8,000千円の一部	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②30人	ー	ー	ー	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①- ②39人	①- ②S	A	成果指標①は指標となるアンケートの回収ができなかった。 ②が目標の修了生数30人に対し39人と目標を上回ったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	起業やスタートアップに必要な知識やスキルを学び、実際に起業に向けて前向きに取り組める人材を養成することができた。
124	2	(1)	②	経営セミナー（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	スタートアップの起業・経営を学び、活躍する起業家との接点をつくる。	スタートアップ企業から、新規上場や資金調達などの経営について学ぶ講座の実施。 （産業政策課）	講座回数	6回	各1回	委託料 16,935千円の一部	委託料 16,935千円の一部	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②30人	ー	ー	ー	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①- ②78人	①- ②S	A	成果指標①は指標となるアンケートの回収ができなかった。 ②が目標の修了生数30人に対し78人と目標を上回ったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	新規上場や資金調達など、経営に必要なスキルを学び起業や経営に取り組む人材を養成することができた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）										
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	直近３か年の実績値 R5	直近３か年の実績値 R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
125	2	(1)	②	社内DXを推進する「ﾋﾞｼﾞﾈｽﾊﾟｰｿﾅﾙﾄ」養成講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	会社内でDXの目的設定、事業コーディネート、目的実現に向けたプロセス推進などを担う人材を養成する。	社内業務のデジタル化による改善を題材に、現状と課題を洗い出し、講師が伴走しながら実行プランの立案を目指す講座の実施。（生涯学習推進課）	講座回数	6回	6回	500	500	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②10人	―	―	―	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①100% ②9人	①S ②A	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	会社内でのDXの目的設定、事業コーディネート、目的実現に向けたプロセス推進などを担う人材を養成することができた。
126	2	(1)	②	ＩＴツール（Salesforce）を利用した業務改革講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	ITツールを使って社内業務を改革する人材を養成する。	世界（国内）シェアNo.1のCRM（顧客関係管理）ソフトウェア「Salesforce」を使って自社の業務改革に取り組む講座の実施。（生涯学習推進課）	講座回数	5回	5回	500	500	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②10人	―	―	―	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①100% ②5人	①S ②C	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が目標の修了生数10人に対し5人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	ITツールを使って社内業務を改革する人材を養成することができた。
127	2	(1)	②	RPAツール（マクロマン）マスター講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	社内業務を自動化して改革する人材を養成する。	無料で導入できるRPAツール「マクロマン」の操作技術を習得する講座の実施。（生涯学習推進課）	講座回数	5回	5回	500	500	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②10人	―	―	―	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①100% ②8人	①S ②B	A	成果指標①は目標を大きく上回ったが、②が目標の修了生数10人に対し8人と目標を下回ったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	RPAツール（マクロマン）の操作技術を習得し、社内業務を自動化して改革する人材を養成することができた。
128	2	(1)	②	ゲームアプリ開発人材養成講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	ゲームアプリ開発に必要な技術や能力を身につけて、デジタル関連企業などで活躍できる人材を養成する。	プログラミング技術を習得し、ゲームアプリ開発技術を学ぶ講座の実施。（産業基盤強化本部）	講座回数	10回	10回	800	750	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②10人	―	―	―	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①- ②5人	①- ②C	C	成果指標①は指標となるアンケートの回収ができなかった。 ②が目標の修了生数10人に対し5人と目標を下回ったため。	受講生のレベルに差があり、講座内容の決定、講座運営が難しかった。募集要件の設定時に受講生のレベルの均一化を検討する。	ゲームアプリ開発に必要な技術や能力を身につけて、デジタル関連企業などで活躍できる人材を養成することができた。
129	2	(1)	②	3DCGデザイナー（キャラモデラー）養成講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	3DCGキャラモデリング技術を身につけて、デジタル社会における様々な分野で活躍できる人材を養成する。	3DCG制作に必要なソフトウェア（blenderなど）を活用する技術を習得する講座の実施。（産業基盤強化本部）	講座回数	10回	10回	800	750	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②20人	―	―	―	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①- ②21人	①- ②S	A	成果指標①は指標となるアンケートの回収ができなかった。 ②が目標の修了生数10人に対し21人と目標を大きく上回ったため。	生成AIなど最新のデジタル技術の普及やCG業界で求められる職種をより分析し、より社会のニーズに合った講座内容とする。	3DCGキャラモデリング技術を身につけて、デジタル社会における様々な分野で活躍できる人材を養成することができた。
130	2	(1)	②	3DCGデザイナー（背景モデラー）養成講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	3DCG背景モデリング技術を身につけて、デジタル社会における様々な分野で活躍できる人材を養成する。	3DCG制作に必要なソフトウェア（Mayaなど）を活用する技術を習得する講座の実施。（産業基盤強化本部）	講座回数	8回	8回	800	750	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②20人	―	―	―	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①100% ②13人	①S ②C	B	成果指標①は目標を上回り、成果指標②は目標に対して65%の達成率であるため。	８回中、６回はオンラインでの講義であり、受講生の一部がモチベーション維持が難しいようであった。対面での開催等を検討する。	3DCG背景モデリング技術を身につけて、デジタル社会における様々な分野で活躍できる人材を養成することができた。
131	2	(1)	②	静岡市 SDGsアクション・ラボ（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	講師や企業人メンターからフィードバックを受けながら、問題解決スキル・プレゼンテーションスキル・ネットワーキングスキルを磨く。	SDGsの17の目標をもとに、チームごとに考えて作成した「静岡市の課題解決プラン」をプレゼンする講座の実施。（企画課）	講座回数	5回	5回	1,198	949	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①80% ②20人	―	―	―	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①- ②12人	①- ②C	C	成果指標①は指標となるアンケートの回収ができなかった。 ②は目標の修了生数20人に対し12人と目標を下回り、課題が残る結果となったため。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	SDGｓの17の目標をチームで課題解決プランを考案し、実際にアクションを起こせる人材を養成することができた。
132	2	(1)	②	高校生まちづくりスクール（ビジネス編）（高校生チャレンジコース）	生涯学習推進課	市（直営）	高校生の地域社会への参加を促し、まちづくりの担い手となる人材を育成する。	地域の課題をビジネスの手法によって解決する提案について、マーケティングやブランディングを学びながら取り組む講座の実施。	講座回数	5回	5回	1,343	1,090	①受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了生数	①100% ②19人	①100% ②18人	①100% ②24人	①100% ②16人	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①87.5% ②16人	①B ②B	B	成果指標①②ともに目標を下回り、課題が残る結果となったため。	昨今、県内で高校生向けにアントレプレナーシップ教育を行う講座が増えてきた。今後はそういった講座との差別化が必要になってくる。	本事業修了後も継続して活動している修了生も見られる。高校生の地域社会への参加を促し、まちづくりの担い手となる人材を育成することができており、生涯学習推進に資する事業となっている。
133	2	(1)	②	生涯学習事業	生涯学習推進課	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	消費者問題、金融、税金等を扱った講座の実施	講座回数	各館１分野実施	32施設中24施設で実施。	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	88.7%	85.7%	88.8%	91.6%	直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	86.0%	A	A	受講生満足度が目標の９割を超えており、目的に沿った学習機会の提供をすることができたため。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	市民に身近な各生涯施設において、消費者問題、金融、税金等に関する学習機会を提供することができた。
134	2	(1)	②	地場産業後継者育成事業	産業振興課	市（直営）	地場産業界の後継者確保と後継者育成及び新規就業者の支援を行う。	①地域産業団体での最長３カ月の現場実習を支援（短期支援事業） ②伝統産業で最長２年間の技術習得を支援（長期支援事業） ③物作りで生計を立てようとする者の独立を支援（独立支援事業） ④長期支援修了者を雇用した事業主を支援（雇用奨励金）	実習生への訪問	１人2回	１人2回	11,700	10,980	新規制度利用者数 ①長期支援 ②独立支援	①3人 ②-	①1人 ②―	①3人 ②-	①4人 ②-	①②令和７年度の募集は予算要求段階で行っており、毎年度予算の範囲内で支援するため。（②は応募なし）（同水準を維持していくことにより、伝統工芸の後継者が着実に増えていくため。）	①2人 ②-	①C ②-	B	長期支援事業の新規制度利用者数が目標を達成できず、独立支援事業の新規利用者はなかったものの、長期支援事業修了者は実習先事業所での雇用が継続しており、地場産業界への従事は定着しているため。	後継者不足の深刻化に併せ、制度内容を時代に適したものへと見直しを行っていく。	伝統技術の習得、雇用促進、独立開業の支援の結果、業界への従事継続がみられ、後継者育成に成果を上げている。
135	2	(1)	②	アグリチャレンジパーク蒲原の運営	農業政策課	市（直営・委託）	新規就農者の育成及び市民に対する農業の啓発を実施し、農業に対する理解を深める。	新規就農者育成のための研修実施及び市民対象の農業体験イベントの実施。	①研修ほ場を利用した農業研修生の確保 ②農業体験イベント参加組数	①6区画 ②300人または100組/年	①6区画 ②271人/107組/年	5,760	2,976	新規就農者の養成研修（年間）	30回	30回	30回	30回	新規就農者育成のための栽培講習・経営講習等について、各講習会受講後の実践期間等を考慮し、月２回程度のペースで実施することを目標値とした。	30回	A	A	研修は、栽培講習を中心に年30回を計画的に実施することができた。	研修ほ場がすべて利用されるよう、研修生が参加しやすいカリキュラム（就農に向けた研修項目の追加など）を検討するほか、研修生募集の広報・PR強化に努める。	研修生が新規就農し、将来的に農業者として社会で活躍していくことが期待できる。
136	2	(1)	②	清水産業・情報プラザ管理運営事業	産業政策課	市（直営・委託）	創業者の育成、産学連携を通じた産業振興を図るとともに、情報通信網を活用した市民生活の利便向上を図る。	①施設の維持管理 ②創業者育成室の運営 ③産学官講演会、情報化講演会等の実施。 ④製造現場改善支援事業	①創業者育成室に入居した新規創業者数 ②製造現場改善支援事業参加企業数	①7者 ②12者	①14者 ②13者	73,652	69,917	①新規創業件数 ②新商品開発・新分野進出等件数	①25件 ②5件	①27件 ②3件	①28件 ②2件	-	指定管理者との協定書において目標が設定されている。	①29件 ②1件	①A ②C	B	新規創業件数については、目標を４件上回り直近３年で最多。一方、新商品開発・新分野進出等については１件と直近３年で最少。そのため総合的にB評価とした。	新商品開発・新分野進出等は年々減っているため、増やす取組として経営に関する各種研修、講座及び講演会を充実させる。	創業に関する相談、創業者間の交流を推進することで、新規創業の件数を増やすことが出来た。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	直近３か年の実績値 R5	直近３か年の実績値 R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
（２）対話や地域交流の促進																									
①対話を通じた学びや地域・社会活動の促進																									
137	2	(2)	①	ここにわ交流会	生涯学習推進課	市（直営）	「こ・こ・に」における各人材養成講座の受講生及び修了生を対象とした交流会を実施し、受講生同士のヨコの関係だけでなく、修了生とのタテの関係、行政などとのナナメの関係も創出、強化することで、仲間づくりや学んだ成果を地域や社会での活動に活かせる場を提供する。	交流会の開催	交流会の実施	休止	休止	なし	なし	参加者満足度	なし	86.0%	81.3%	86.0%	事業見直しのため、令和７年度は実施しない。	—	—	—	—	—	—
138	2	(2)	①	おしゃべりサロン事業	こども未来課	市（直営）	身近な場所で子育て支援事業を実施することにより、子育て家庭の不安を軽減するなど、安心して子ども産み育てることができる環境を形成する。	子育てに関するノウハウを有する市内56ヵ所の公立認定こども園で親子の ふれ合いや育児相談・育児講座を実施	事業実施箇所数（実施こども園数）	46	47	2,541	1,749	あそび・子育ておしゃべりサロン参加者（公立こども園）	4400	4,401人	4,425人	3,713人	0-1歳で入園することもが増加し、未就園児対象の本事業の対象者が減少しているため、前年度と同水準の参加人数を見込む。	3,978	A	B	子育て支援センター併設園、休園中の園を除くすべてのこども園での子育て支援サービスの提供を実施することができた。 成果指標は昨年度に比べ減少し、目標値を下回った。その原因として、少子化や入園時期の早期化があげられる。	利用者が安心できるイベントや講座、その広報等の実施方法を検討・実施していく必要がある。	地域の子育て世帯へ子育て支援サービスの提供を行い、子育てしやすいまちづくりに貢献した。
②学びをきっかけにした地域交流の活性化																									
139	2	(2)	②	生涯学習センター・交流館まつりの開催	生涯学習推進課	市（委託）	学習の成果発表の場や、地域における市民の交流の機会を設け、生涯学習施設を地域の中核施設とするため、センター・交流館まつり等を開催する。	各施設においてセンターまたは交流館まつりを開催	実施回数	各館１回実施	各館１回以上実施	指定管理料の一部	指定管理料の一部	①参加団体数 ②参加人数	①951団体 ②39,231人	①951団体 ②39,231人	①971団体 ②29,039人	① 479団体 ②17,383人	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①1,019団体 ②36,690人	①S ②A	A	参加人数は目標値を下回ったものの、参加団体数は目標を大幅に上回っており、まつり等の開催が生涯学習団体の成果発表の場となり、学びを契機に地域とのつながりを持つ機会となっているため。	生涯学習施設が地域の中核施設として認知されるよう、まつり等の交流機会を通じて地域とのつながりをより強化していく。	絵画・写真の展示や歌・ダンスの披露などの成果発表を行い、生涯学習活動をきっかけにした地域交流の活性化に寄与することができた。
140	2	(2)	②	静岡市民文化祭の開催	文化政策課	市（委託）	広く市民に創作発表および鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化を一般に普及し市民文化向上を図る。	「静岡市民文化祭」の実施、委託契約	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③事務処理の円滑な実施	①1件 ②１件 ③実施	①1件 ②１件 ③実施	6,946	6,946	静岡市民文化祭来場者数	12,621人	13,582人	12,524人	11,758人	直近３か年の実績値の平均値	12,481人	A	A	市民の文化活動の成果を広く発信することができたものの来場者数について目標値を下回ったため	開催場所や実施内容の検証が課題となっている。このことから、次年度以降の実施に向けて関係団体と内容の見直しや統合に向けた協議を進めていく。	市民の芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。
（３）市民の自発的な地域・社会活動の促進																									
①人材活用の場の提供																									
141	2	(3)	①	民間教育力活用事業の実施	学校教育課	市（直営）	学校教育活動全般に民間教育力を活用することで、児童・生徒の体験的、問題解決的な学習の充実を図る。	①外部講師登録リストの管理 ②外部人材の活用支援	①人材リストの作成・周知 ②講師謝金の配当（各校）及び支出事務	①実施 ②実施	①実施 ②実施	2,957	2,411	外部人材を活用した授業の有効性があると回答した学校の割合	100%	100%	100%	100%	学校が希望する分野について、教員だけではできない発展的・体験的な授業を実施することができたかどうかを図るため、この目標値を設定した。	100%	A	A	講師との日程調整が出来なかった等の理由で当該事業を実施出来なかった学校を除く113校が全て有効性があったと回答するなど、多様な外部人材の活用により、各教科・領域における学習の充実が図られたため「A」とした。	学校側が求める外部人材を紹介できるよう、需要のある分野について対応可能なスペシャリストの登録を今後も継続していく必要がある。	多様な地域人材を活用し、地域での活動の場づくりを行い、子どもたちの体験的な学習や発展的な学習を充実させた。
142	2	(3)	①	【再掲】 環境学習会の開催支援、実施	環境共生課	市（直営・委託）	環境保全のために自ら行動する人を育み、持続可能な社会の実現に向けて地域、学校、団体、行政などが相互に連携し、協働による環境学習の推進を図る。	①環境学習推進のための指導員の活用 ②自然観察会等への参加機会の創出	①環境学習指導員の派遣 ②各種環境学習会の開催	①200人 ②80回	①220人 ②85回	5,043	4,950	環境学習会等への参加者数	3,517人	3,517人	3,229人	2,830人	過去10年間の実績の最大値を目標とする。 （児童数が減少する中で、参加者数の維持は、環境学習に参加した割合の増加を意味するため）	4,629人	S	S	外来生物についての市政出前講座が特に好評で、目標を達成することができたため。	適切な内容であるよう常にブラッシュアップする必要がある。 出前講座については、対応できる職員に限りがあり、業務に偏りが生じているため、係全員が対応できるように訓練をする必要がある。	市内で広く観察会や講座を実施することができ、多くの市民に環境について学ぶ場を提供することができた。
②自発的な地域・社会活動の支援																									
143	2	(3)	②	まちづくり推進事業補助金交付事業	生涯学習推進課	市（直営）	コミュニティの醸成と地域主体の住民参画による個性あるまちづくりを推進するため、年間を通して、計画的・継続的に様々な地域活動を支援する。	地域が主体的に行う「ふれあい事業」、「環境美化事業」、「子ども健全育成事業」、「教育文化事業」、「安全対策事業」、「福祉・健康事業」、「生活環境事業」、「文化伝承事業」の８事業に対して補助金を交付する。	まちづくり推進事業補助金交付事務の円滑な実施	19件	19件	15,552	15,362	実施事業数 ※19交付団体が、まちづくりの事業に幅広く取組んだ成果	183事業	183事業	157事業	153事業	新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、昨年度並みの事業数を目標値として設定した。	193事業	S	S	事業実施にかかる助言等により、目標以上の事業数を達成することができたため。	交付団体の申請担当者が変更すると関係書類の不備が多くなるため、説明会等で丁寧な指導・助言を行い適正な交付事務を実施する。	各地区のまちづくり推進委員会が自発的な学習活動を通じた各種事業を実施することにより、地域コミュニティの形成や特色あるまちづくりの推進が図られた。
144	2	(3)	②	ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業	市民自治推進課	補助等（交付先）	社会的課題に取り組む市民活動団体等と寄附者の応援したい気持ちを繋ぐ架け橋に本市がなることで、活力ある地域づくりの促進を図る。	ふるさと応援寄附金等によるNPO等を指定した寄附制度を活用し、市民活動団体等に補助金を交付する。	①団体の募集及び審査 ②個別相談会の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	2,586	540	①事業に応募したプロジェクト数 ②前年度にふるさと応援寄附金による寄附金の募集を行ったプロジェクトの実現率	①3件 ②100%	①2件 ②100%	①4件 ②100%	①6件 ②87.5%	①過年度目標値を参照し設定した。 ②ふるさと応援寄附金による支援が一助となり団体がプロジェクトを実現できていることを指標として設定した。	①3件 ②100%	①A ②A	A	①はプロジェクト数が前年度から１団体増え、目標値を達成し、②は対象となる全団体がプロジェクトを実施でき、目標値を達成したことから総合的にAと判断した。	事業目的である市民活動団体の資金調達の支援につなげるため、新規プロジェクトの募集、寄附金の募集ともに広報を強化し、制度の周知及び、対象プロジェクトの目標達成につなげる。	ふるさと応援寄附金等を活用した市民活動団体への支援を通じて、市民の自発的な地域・社会活動の促進に取り組むことができた。
145	2	(3)	②	協働パイロット事業	市民自治推進課	市（委託）	市と市民活動団体の協働を促進することによって、社会的課題のより効果的な解決を図る。	①協働パイロット事業の実施 ②職員への啓発	①NPO向け説明会開催回数 ②職員研修会開催回数	①2回 ①1回	①2回 ①1回	3,089	2,041	①パイロット事業応募数 ②市と市民活動団体の協働事業数	①12件 ②272件	①13件 ②276件	①12件 ②282件	①11件 ②269件（仮）	①過去３年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。 ②市民活動促進基本計画の目標:275事業（R8）に向けて着実に数値を増加させていくための指標として設定した。	①11件 ②測定中	①A ②–	A	成果指標を下回っているものの、目標に対して９割以上の数値になっていることからAと判断した。	市民協働の推進にあたっては市職員が協働の重要性を理解し、積極的に取り入れていく必要があることから、職員向けの研修を通じて行政と市民活動団体との協働に対する意識の醸成に取り組む。	協働事業の推進を通じて、市民の自発的な地域・社会活動の促進に取り組むことができた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）										
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
③学びを活かして活動する場所の提供																								
146	2	(3)	③	【再掲】 生涯学習センターにおける貸館実施	生涯学習推進課	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①11箇所 ②13件 ③完了	①11箇所 ②13件 ③完了	530,045	497,003	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①42.2% ②446,905人	①42.2% ②446,905人	①43.7% ②423,461人	①40.0% ②410,303人	新型コロナウイルス感染症により令和２年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和３年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定	①42.6% ②465,269人	①A ②A	A	目標値を上回っているが、選挙利用を含んでいるため。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、指定管理者との連携を密にして取り組んでいく。	新規団体立ち上げを目的とした事業や、既存団体の会員増加を目的とした活動支援を実施し、施設利用者数の増加を図るとともに、市民の自発的な活動の拠点となる場所を提供できた。
147	2	(3)	③	【再掲】 清水区生涯学習交流館における貸館実施	生涯学習推進課	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①21箇所 ②13件 ③完了	①21箇所 ②13件 ③完了	602,355	597,807	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①27.5% ②558,237人	①27.5% ②558,237人	①29.1% ②539,458人	①27.4% ②497,224.3人	新型コロナウイルス感染症により令和２年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和３年度以降は徐々に回復傾向にある。前年度の実績値を目標値として設定	①28.9% ②557,408人	①S ②A	S	職員が利用者に丁寧に応対し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができたため。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、館長との連携を密にして取り組んでいく。	生涯学習団体に該当しそうな団体を確認し、声掛けを行うなどして、貸館利用者の増加を図ったほか、主催事業の開催を通して、生涯学習にかかわる方の増加に寄与した。
148	2	(3)	③	【再掲】 葵区生涯学習施設における貸館実施	生涯学習推進課	市（直営・委託）	市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営（直営館の維持管理業務）	①講座回数 ②施設維持点検等業務の完了	①110回 ②８業務	①116回 ②８業務	13,790	12,641	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①5.4% ②12,078人	①5.4% ②12,078人	①4.8% ②8,803人	①4.0% ②9,122人	新型コロナウイルス感染症により令和２年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和３年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定	①4.4% ②11,410人	①B ②A	B	稼働率も利用者数も目標値に届かなかったため。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、地域住民のニーズを取り込んだ事業を展開していく。	利用団体が継続しやすくなるよう声掛けを行ったほか、主催事業の開催を通して、生涯学習にかかわる方の増加に寄与した。
149	2	(3)	③	青少年研修センターの運営	こども若者応援課	市（直営）	青少年団体に施設を提供し、青少年団体の健全な育成並びに青少年の教養の向上及び心身の健全な育成を図る。	①施設の利用許可事務 ②施設の維持管理	施設の維持管理	実施	実施	149	88	延利用者数	785人	648人	779人	605人	登録団体数、利用者数は減少傾向にあるが、各団体の活動場所提供の維持のため、直近３か年実績の10%増を目標値として設定した	1,806人	S	B	継続的に利用する団体が増えたことで、目標を超える利用者へ活動場所の提供ができた一方、利用率は4.5%に留まったため、評価はBとする。	青少年団体や学習サークルの利活用を促進するため、施設の周知・広報を行い、利用者数増加への取組に努める。	青少年団体の健全な育成並びに青少年の教養の向上を図るために施設を提供した。
150	2	(3)	③	市民活動センターの運営	市民自治推進課	市（直営・委託）	市民活動を促進することによって、市民自治によるまちづくりに寄与する。	①市民活動センターの運営 ②市民活動促進協議会の開催	①モニタリング調査の実施回数 ②センター連絡会議開催数 ③市民活動促進協議会開催数	①1回 ②6回 ③3回	①1回 ②6回 ③3回	63,247	62,981	①市民活動センター利用者数 ②市民活動センター新規登録団体数 ③市民活動センター利用者満足度調査で「満足」等と回答した人の割合	①44,150人 ②33団体/年 ③92%	①45,344人 ②51団体/年 ③97%	①46,571人 ②52団体/年 ③92%	①44,569人 ②33団体/年 ③89%	①R5とR6の実績値の増加率（▲2.6%）をR6実績値に乗じて目標値を設定しした。 ②市民活動促進基本計画の目標：R5~R8平均33団体／年に向けて着実に数値を維持させていくための指標として設定した。 ③過去３年間の平均の実績値を目標値として設定した。	①45,431人 ②55団体/年 ③91%	①A ②S ③A	A	①②は成果指標を達成し、③は成果指標を下回るものの目標に対して９割以上の数値となっていることから、総合的にAと判断した。	市民活動センターの運営においては、来館者対応を中心とした支援だけでなく、活動現場に出向くアウトリーチ型の支援や、多様な主体をつなぐコーディネート機能の強化が求められている。今後は、関係構築や協働創出などソフト面を強化し、市民活動の促進につなげる。	市民活動センターの運営等を通じて、市民の自発的な地域・社会活動の促進に取り組むことができた。
151	2	(3)	③	【再掲】 女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進（女性会館事業）	社会的包摂推進課	市（直営・委託）	男女共同参画社会実現のための拠点施設である女性会館を管理運営し、男女共同参画に係る各種事業を通して市民に広く啓発するとともに、女性をとりまく諸問題の解決に取組む市民グループの活動を支援する。	①指定管理者との協定の締結、男女共同参画に関する講座の開催、団体活動の支援、女性を取り巻く諸問題や男女共同参画に関する情報収集発信のための図書コーナーの運営、施設管理 ②女性会館相談室の開設：女性のための総合相談・法律相談、ＬＧＢＴＱ相談の実施 ③指定管理事業の年度評価の実施	①指定管理業務のモニタリング実施回数 ②指定管理業務報告確認・検査回数（年報１件、月報12件） ③年度評価の実施	①1回 ②13件 ③完了	①1回 ②13件 ③完了	108,761	108,385	①新規利用者数（講座、相談、図書） ②講座受講者の理解度 ③図書コーナーの図書貸出冊数 ④女性相談の適切な実施	①1,100人 ②80% ③17,640冊 ④実施	①1,409人 ②97.1% ③18,042冊 ④実施	①1,570人 ②96.9% ③17,503冊 ④実施（1,706件）	①1,284人 ②97.3% ③17,384冊 ④実施（1,889件）	①、②協定書の数値を目標値とした。 ③図書コーナーの本の貸出しにより男女共同参画の意識向上が図られることから、過去３年間の平均値を参考に目標値に設定した。 ④相談の適切な実施を指標として設定した（相談の適切な実施がなされているかについては、拡大ケースカンファレンスに出席し確認する）。	①1,486人 ②96.6% ③17,995冊 ④実施	①S ②S ③A ④A	A	・事業全般的に、若年層（高校生、親子等）に向けた事業を重点的に取り組んだことで、新規利用者数が増加した。 ・図書の利用者の増加に努めることにより、図書貸出冊数も例年を大きく上回った。 ・相談対応件数は若干減少したが、複雑化する相談に対応するため、支援体制とスキルアップに努めた。	・引き続きSNS等を積極的に活用し、講座・相談等を実施することにより、これまで女性会館を利用したことがない潜在利用者層（若年層）を掘り起こすこと及び新しい課題やより専門的な講座を実施することで男女共同参画の拠点施設としての機能をさらに充実させていくよう、指定管理者と協議等を行っていく。	多様な学習機会・特色ある学習機会の提供し、多くの方の学習に寄与することができた。
３　「学ぶ」「活かす」の循環を支える基盤の充実																								
（１）学びやすい生涯学習施設等の整備																								
①生涯学習施設等の整備・維持・管理																								
152	3	(1)	①	【再掲】 生涯学習センター運営事業	生涯学習推進課	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①11箇所 ②13件 ③完了	①11箇所 ②13件 ③完了	530,045	497,003	①利用者満足度（職員の応対） ②受講生満足度 ③管理瑕疵による事故	①97.1 ②92.0 ③0件	①97.4% ②92.0% ③1件	①97.0% ②92.0% ③0件	①96.9% ②92.3% ③0件	①②直近３か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ※①については令和元年度からアンケート実施方法を変更 ③適正な施設の管理運営を目標とするため瑕疵による事故０件を目標として設定した。	①97.0% ②92.3% ③0件	①A ②A ③A	A	日頃より職員が利用者に丁寧に応対し、施設管理を適切に行ったことで、目標を達成することができたため。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、指定管理者との連携を密にして取り組んでいく。	新規団体立ち上げを目的とした事業や、既存団体の会員増加を目的とした活動支援を実施し、施設利用者数の増加を図るとともに、市民の自発的な活動の拠点となる場所を提供できた。
153	3	(1)	①	【再掲】 生涯学習交流館運営事業（清水区）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①21箇所 ②13件 ③完了	①21箇所 ②13件 ③完了	602,355	597,807	①利用者満足度（職員の応対） ②受講生満足度 ③管理瑕疵による事故	①96.0% ②94.5% ③0件	①99.5% ②95% ③1件	①99.3% ②94.3% ③0件	①89.2% ②94.3% ③0件	①②直近３か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ③適正な施設の管理運営を目標とするため瑕疵による事故０件を目標として設定した。	①99.6% ②96.4% ③1件	①A ②A ③B	A	職員が利用者に丁寧に応対し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができたため。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、館長との連携を密にして取り組んでいく。	生涯学習団体に該当しそうな団体を確認し、声掛けを行うなどして、貸館利用者の増加を図ったほか、主催事業の開催を通して、生涯学習にかかわる方の増加に寄与した。
154	3	(1)	①	【再掲】 生涯学習交流館運営事業（葵区）	生涯学習推進課	市（直営・委託）	市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営（直営館の維持管理業務）	①講座回数 ②施設維持点検等業務の完了	①110回 ②８業務	①116回 ②８業務	13,790	12,641	①受講生満足度 ②管理瑕疵による事故	①94.4% ②0件	①93.3% ②0件	①94.0% ②0件	①96.0% ②0件	①直近３か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ②適正な施設の管理運営を目標とするため瑕疵による事故０件を目標として設定	①96.0% ②0件	①A ②A	A	職員が利用者に丁寧に応対し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができたため。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、各施設との連携を密にして取り組んでいく。	山間部の施設運営を行うことにより、市内各所での生涯学習を実施する機会を確保し、生涯学習実施率の向上に寄与した。
155	3	(1)	①	【再掲】 学校等体育施設利用事業	スポーツ振興課	市・補助等（直営・交付先）	学校施設を利用することで、地域住民のスポーツ活動への参加機会を創出し、地域のスポーツ活動を推進する。	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	①事務担当者説明会の円滑な開催 ②夜間照明施設の保守点検	①実施 ②実施	①実施 ②実施	79,184	67,742	延べ利用者数	1,898,120人	1,912,000人	1,932,798人	1,849,563人	過去３か年の平均利用者数を目標値として設定した。	1,913,520人	A	A	利用者数の目標値を上回り、多くの市民が利用できたため。	中山部の学校の利用は飽和状態にあるため、近隣や山間部の協議会との連携を図り、多くの市民が利用できるように対応する。	学校等体育施設の開放を行い、多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
156	3	(1)	①	【再掲】 こどもクリエイティブタウン管理運営事業	商業労政課	市（直営・委託）	こどもたちを対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学ぶ。	①講座形式のものづくり体験等 ②模擬店舗形式での仕事体験等 ③商店街、企業との連携による仕事体験等	①指定管理料支払事務 ②定例会（12回）を通じた管理運営に係る指導・助言	①事務処理の円滑な実施 ②12回	①実施 ②12回	118,280	114,653	①利用者数 ②利用者満足度	① 100,000人 ②99.4%	① 124,460人 ②99.36%	①75,746人 ②99.3%	①13,012人 ②99.7%	①指定管理業務仕様書で定める指標を目標値に設定した。（施設の受入可能人数を考慮し設定。） ②過去3か年の平均値を目標値に設定した	① 113,627人 ②99.6%	①S ②A	A	目標値を上回る満足度を達成できたため。	年間利用者を増やすために団体利用や未就学児の利用促進を積極的に行う必要がある。また、これらの対策以外でも今後新たに対策を検討・実施していきたい。	0歳から高校生に渡り次世代を担う若者に多彩な本物に近い体験を実施し創造力や社会経済の仕組み及び地域産業に対する理解の促進に寄与している。
157	3	(1)	①	【再掲】 賜機都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	市（委託）	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託（指定管理）	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回	①1件 ②13回	24,462	24,281	利用者満足度	98.4%	99.6%	97.2%	100.0%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。	98.5%	A	A	適切な施設運営に加え、講座やイベントを工夫しておこなったことなどにより、目標値を達成することができたため、A評価とした。	最少催行人数を下回ったことで中止となった講座などもあったことから、募集方法等の見直しを図りたい。	オクシズの食材を利用した料理教室や地元講師を積極的に活用した講座など、地域性を活かした取組により、都市部と中山間地間の交流の推進に寄与することができた。
158	3	(1)	①	【再掲】 自然の家における施設運営の実施	環境共生課	市（直営）	計画的に施設の修繕や点検を行い、安全で利用しやすい管理運営をする。	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の維持管理・施設運営	施設修繕等の実施回数	6回	5回	7,251	850	管理瑕疵による事故件数0件	0件	0件	0件	0件	直近3ヵ年の平均値である0件を予想値として算出し目標値として設定した。	0件	A	A	施設を適正に維持管理し、管理瑕疵による事故がなかったため。	令和7年度をもって施設運営終了	利用団体への活動支援や、学ぶ場所の提供ができた。
159	3	(1)	①	児童館改修事業	こども若者応援課	市（直営）	老朽化した児童館に必要な施設改修等を行い、長寿命化・耐震化を図る。	市内13館の児童館の改修工事等の実施	改修工事等の実施箇所数	0件	0件	0	0	施設や整備に起因する重大な事故件数	0件	0件	0件	0件	安心・安全な児童館として維持・管理し、事故発生を防ぐため、継続した目標値を設定した。	0件	A	A	適切な修繕工事などの実施により、施設や整備に起因する重大な事故を0件に抑えることができたため。	改修計画に基づき、各館の現状を踏まえて必要な修繕工事を実施する。	適切な施設の維持管理を行うことで、利用者にとって安心安全に過ごせる施設として運営することができた。
160	3	(1)	①	【再掲】 清水庵原球場管理事業	スポーツ振興課	市（委託）	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	実施	実施	53,720	53,426	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①100% ②81.3%	①100% ②99.3%	①100% ②85.6%	指定管理業務協定の仕様書目標	①99.1% ②95.8%	①S ②S	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
161	3	(1)	①	【再掲】 清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	スポーツ振興課	市（委託）	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	202,438	192,041	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.5% ②99.3%	①94.8% ②98.7%	①97.3% ②98.6%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.5% ②27.9%	①S ②C	A	利用者満足度は目標値を達成した。計画修繕の予算執行率は目標を下回ったが、これは事業見直しのため執行を見送ったため。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
162	3	(1)	①	【再掲】 スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	市（直営・委託）	市民がスポーツ、レクリエーション等に供するための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	200,411	170,342	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①97.1% ②99.3%	①97.4% ②94.5%	①95.9% ②96.0%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.8% ②100%	①S ②S	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で老朽化等により、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け対応することで安全・安心な施設の提供に努めていく。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
163	3	(1)	①	【再掲】 青少年研修センターの運営	こども若者応援課	市（直営）	青少年団体に施設を提供し、青少年団体の健全な育成並びに青少年の教養の向上及び心身の健全な育成を図る。	①施設の利用許可事務 ②施設の維持管理	施設の維持管理	実施	実施	149	88	延利用者数	785人	648人	779人	605人	登録団体数、利用者数は減少傾向にあるが、各団体の活動場所提供の維持のため、直近3か年実績の10%増を目標値として設定した	1,806人	S	B	継続的に利用する団体が増えたことで、目標を超える利用者へ活動場所の提供ができた一方、利用率は4.5%に留まったため、評価はBとする。	青少年団体や学習サークルの利活用を促進するため、施設の周知・広報を行い、利用者数増加への取組に努める。	青少年団体の健全な育成並びに青少年の教養の向上を図るために施設を提供した。
164	3	(1)	①	【再掲】 総合運動場管理運営事業	スポーツ振興課	市（委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	668,566	625,580	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.2% ②99.4%	①99.0% ②91.5%	①98.6% ②93.1%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.2% ②89.7%	①S ②A	A	利用者満足度は目標値を達成した。計画修繕の予算執行率は目標を下回ったが、当初予定していた修繕は実施できた。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
165	3	(1)	①	【再掲】 体育館管理運営事業	スポーツ振興課	市（直営・委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	125,575	124,111	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①97.6% ②98.6%	①97.6% ②98.6% ③完了	①97.6% ②100%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.2% ②96.4%	①S ②S	S	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
166	3	(1)	①	【再掲】 登呂博物館管理運営業務	歴史文化課	市（直営）	登呂遺跡の価値を市民に発信し、地域の歴史や文化について関心を深めてもらう。	○特別展・企画展の開催 ○講座・講演会等教育普及事業を中心としたイベントの実施 ○博物館協議会の開催	①特別展・企画展回数 ②各種教育普及事業を中心としたイベントの開催回数 ③協議会開催回数	①4回 ②30回 ③2回	①4回 ②37回 ③2回	164,486	147,560	博物館の入館者数	169,000人	167,362人	165,820人	161,181人	直近3か年の実績値および上昇率をもとに算出	157,447人	A	A	特別展、企画展、教育普及事業等を実施した。 入館者数について、目標値を下回ったが、目標値の93%であるため。	弥生時代の生活体験を通じて遺跡の魅力をより深く理解してもらうため、教育普及事業の実施など情報発信を取り組んでいく。	登呂遺跡・登呂博物館内での体験や、講座、イベントを通して、登呂遺跡や歴史に関心を持てるよう、様々な学習機会を提供することができた。
167	3	(1)	①	【再掲】 日本平運動公園管理事業	スポーツ振興課	市（委託）	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、Jリーグ及び各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	441,579	303,859	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.0% ②98.9%	①96.7% ②99.6%	①96.1% ②99.2%	指定管理業務協定の仕様書目標	①97.6% ②90.4%	①S ②A	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で老朽化等により、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け対応することで安全・安心な施設の提供に努めていく。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。
168	3	(1)	①	【再掲】 ふれあい健康増進館ゆ・ら・ら管理運営事業	スポーツ振興課	市（委託）	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム賃貸借契約	①実施 ②実施	①実施 ②実施	7,007	7,365	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.3% ②99.9%	①98.1% ②99.9%	①97.8% ②99.6%	指定管理業務協定の仕様書目標	①99.0% ②99.4%	①S ②S	A	利用者満足度、計画修繕の実績額ともに目標値を達成した。	引き続き、指定管理者との連携により、利用者満足度の向上と計画修繕の実施を進める。	多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
169	3	(1)	①	【再掲】 音楽あふれるまちづくり事業	文化政策課	市（委託）	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートや親子コンサート等を行い、日常に音楽のある環境を創出し、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。	①学校訪問コンサート ②こども園訪問コンサート ③親子コンサート ④大人のためのおでかけコンサート ⑤まちかどコンサート	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①１件 ②１件 ③１件	①１件 ②１件 ③１件	28,381	26,641	①学校訪問コンサート実施校数 ②こども園訪問コンサートの実施園数 ③親子コンサート応募人数 ④大人のためのおでかけコンサート実施回数 ⑤まちかどコンサート来場者数	①８校 ②14園 ③2,420人 ④年２回 ⑤3,300人	①８校 ②19園 ③5,819人 ④年２回 ⑤4,423人	①８校 ②19園 ③8,520人	①８校 ②18園 ③5,969人	①予算積算上の実施分を完全実施するため、８校を目標値として設定した。 ②上に同じく、14園を目標値として設定した。 ③実施するホールの定員数（1,513人×2回）3,026人の80%である2,420人を目標値とした。 ④予算積算上の実施可能回数として２回を目標値として設定した。 ⑤１回当たりの来場者数100人×30回＝3,000人を予想値として算出、3,300人を目標値として設定した。	①８校 ②14園 ③2,523人 ④年２回 ⑤4,920人	①A ②A ③A ④A ⑤S	S	予算積算表の実施分を完全実施済。③及び⑤は目標値を上回る成果となり、多くの市民が音楽に触れる機会を創出し「まちは劇場」の推進に繋がったと評価できるため。	開催場所や実施回数の検証が課題となっている。このことから、次年度以降の実施に向けて関係団体と内容の見直しや協議を進めていく。	市民の身近な場所でコンサートを開催することで、幅広い年代の方が気軽に音楽に触れ、音楽鑑賞を通じて感受性を高める機会を提供できた。
170	3	(1)	①	【再掲】三保松原文化創造センター管理運営	歴史文化課	市（直営・委託）	世界文化遺産「三保松原」の魅力と価値を国内外へ発信するとともに、三保松原と他の文化や芸術と融合させた松原文化を創造していく。	○建物の保守、管理 ○展示の保守、管理 ○企画展の開催	①年間を通しての開館 ②年間を通しての公開 ③企画展の開催回数	①実施 ②実施 ③３回	①実施 ②実施 ③３回	30,946	28,941	来館者数	550,000人	518,231人	500,462人	423,100人	前年度目標値の110%を今年度目標値として設定した。	546,833人	A	A	年間を通しての開館、展示品等の公開を実施した。 来館者数は目標値を下回ったが、前年比が105%であったため。	三保松原の魅力をより深く理解してもらうため、出前講座の実施やSNSを用いた情報発信に取り組んでいく。	出前講座の実施やSNSを用いた情報発信に取り組むことができ、三保松原の魅力をより深く理解する機会を提供することができた。
171	3	(1)	①	【再掲】 藁科都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	市（委託）	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託（指定管理）	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①１件 ②13回	①１件 ②13回	26,197	26,007	利用者満足度	96.6%	99.2%	97.5%	95.5%	直近３か年の平均値を目標値として設定した。	99.2%	A	A	適切な施設運営に加え、講座やイベント等を工夫しておこなったことなどにより、目標値を達成することができたため、A評価とした。	都市部と中山間地域の交流を促進させる講座を一層充実させるため、地域の歴史や文化、伝統食の再調査、またはそれらに精通した人材の発掘に努める必要がある。	農林業体験や伝統食を活用した講座など、地域性を活かした取組により、都市部と中山間地間の交流の推進に寄与することができた。
172	3	(1)	①	【再掲】 科学への関心を高めるための各種事業の実施（静岡科学館事業）	文化政策課	市（直営・委託）	市民が自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力及び感性の向上に資する。	指定管理者制度による施設、展示物の維持管理を行うとともに科学の実演会及び講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①１件 ②３回 ③13件	①１件 ②３回 ③13件	313,265	313,173	①年間来館者数 ②事業満足度※R5から（R4までは連携事業回数を指標としていた。）	① 250,000人 ②95%	① 196,372人 ②99.2%	① 190,290人 ②99.1%	① 161,063人 ②184回	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	① 198,778人 ② 98.8%	①B ②A	B	事業満足度については目標値を上回ったが、年間来館者数は目標値に大きく届かなかったため、達成度を総合的に判断し、Bとした。	SNSや展示物を活用した広報活動等により来館者の増加に努めていく。	様々なソフト事業の実施により、市民の科学への関心を高め、科学分野の学習環境を充実させることができた。
173	3	(1)	①	【再掲】 芹沢銈介美術館管理運営事業	文化政策課	市（直営）	静岡市名誉市民であり型絵染の人間国宝・芹沢銈介の芸術を永く後世に伝える。美術に関する知識の向上と文化の発展に寄与する。	芹沢銈介の型絵染の作品等や芹沢銈介が収集した世界各国の工芸品の展示を行うとともに、講座や講演会等教育普及事業を実施する。	①企画展の開催件数 ②講演会・講座等教育普及事業の開催件数 ③開館日数	①４件 ②10回 ③252日	①４回 ②19回 ③252日	45,176	45,176	①年間観覧者数 ②観覧者満足度	①32,000人 ②96.5%	① 32,142人 ② 98.3%	①30,925人 ②95.4%	①32,363人 ②95.8%	直近３カ年の実績値をもとに算定	①34,262人 ②97.1%	①S ②A	A	いずれも目標値を達成し、芹沢芸術の魅力を広く発信することができたため。	観覧者の更なる増加に向け、新たな広報媒体を取り入れるなど、美術館の認知度向上に努めていく。	展覧会毎に芹沢銈介の様々な側面を紹介することで、幅広い芸術の世界に触れる機会を提供し、市民の学習環境を充実させることができた。
174	3	(1)	①	【再掲】 市民ギャラリー事業の実施	文化政策課	市（委託）	市民に文化に触れる機会と発表の場を提供し、文化の向上を図る。	ギャラリー利用者の受付管理、展示会予定表の作成、作業日誌の作成等の管理運営事務及びギャラリー使用料徴収業務	①業務委託契約の締結 ②業務委託完了報告書の確認 ③業務委託の検収	①１件 ②12件 ③１件	①１件 ②12件 ③１件	7,657	7,622	年間利用率	50.96%	52.00%	50.30%	50.60%	直近３か年の実績値の平均値	59.20%	S	S	年間利用率について目標値をを大きく上回ったため。	利用率の向上を図るため、引き続き広報手段の検討、照明設備等展示室のリニューアルを順次実施していく。	美術作品の展示会等の場を提供し続け、市民の芸術文化の向上を図り、芸術文化活動の交流の場を提供し、市民の学習を支援することができた。
175	3	(1)	①	【再掲】 市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 清水文化会館管理運営事業	文化政策課	市（直営・委託）	市民に文化活動の場と芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図るとともに、文化を核とした清水都心の賑わい創出を図る。	ＰＦＩ・指定管理者制度（利用料金制）による館の維持管理・運営（設備の維持管理、利用受付・貸出・案内・自主事業等）	①通知書送付件数 ②委託業務契約の締結件数（モニタリング支援） ③モニタリング実施回数 ④指定管理業務報告書、財務に関する報告書・検査件数	①１件 ②１件 ③３回 ④15回（維持管理・運営） １回（財務）	①１件 ②１件 ③３回 ④15回（維持管理・運営） １回（財務）	291,368	291,077	①年間来館者数 ②ホール・ギャラリー利用率	① 500,000人 ②70%	① 375,700人 ②76.3%	① 412,659人 ②73.6%	① 245,961人 ②75.1%	「清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業運営業務仕様書」における事業期間第３ターム（令和４年度～令和８年度）で設定した目標値。	① 543,068人 ②83.3%	①S ②S	S	年間来館者数及びホール・ギャラリー利用率ともに目標値を大幅に上回ったため。	引き続き多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、広報等による集客を強化し、来場数増加及び施設の利用率向上に努めていく。	市民の文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。
176	3	(1)	①	【再掲】 市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡音楽館管理運営事業	文化政策課	市（直営・委託）	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が音楽文化に触れる機会を提供するため、各種コンサートや講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①１件 ②３回 ③13件	①１件 ②３回 ③13件	377,453	366,681	①施設利用率（年間平均） ②定員に対するコンサート入場者数の割合（年間平均）	①84% ②70%	①78.3% ②63.1%	①77.9% ②67.1%	①76.2% ②64.7%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	①82.3% ②66%	①A ②A	A	両指標とも目標値には届かなかったものの施設利用率は上昇傾向にあるため	施設利用者の裾野を拡大するため、市民の鑑賞機会拡大や地域の音楽家の支援・育成を図り、事業内容を充実させていくことで、施設利用率向上とコンサート入場者数の増加に努めていく。	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。
177	3	(1)	①	【再掲】 市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市美術館管理運営事業	文化政策課	市（直営・委託）	多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展示や講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①１件 ②３回 ③13件	①１件 ②３回 ③13件	340,599	337,153	①累計入館者数（150万人・R2～R6） ②展覧会事業における来場者満足度（年間平均）	① 300,000人（150万人／５年） ②85%	① 286,668人 ②94.8%	① 286,128人 ②96.0%	① 202,136人 ② 95.5%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	① 230,638人 ②94.7%	①B ②A	A	入館者数は、目標値に届かなかったもののコロナ禍前の水準に達する勢いであり、展覧会事業における来場者満足度については目標値を上回ったため、A評価とした。	効果的な広報手段を検討することや、事業内容の充実を図ることにより、入館者数の増加に努めていく。	市民の芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。
178	3	(1)	①	【再掲】 市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市民文化会館管理運営事業	文化政策課	市（直営・委託）	市民に文化活動の場と多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図る。	指定管理者制度による館の運営（受付・案内・利用料徴収・設備の管理・事業等） 修繕、大規模改修など。	①指定管理業務協定締結件数 ②指定管理業務のモニタリング回数 ③指定管理業務報確認・検査件数（年報1件、月報12件）	－	－	－	－	①年間利用者数 ②年間施設利用率	－	① 412,048人 ②67.4%	① 375,944人 ②62.9%	① 388,974人 62.1%	改修工事に伴い休館中であるため設定なし。	－	－	－	－	－	－
179	3	(1)	①	【再掲】 市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 中勘助文学記念館管理運営事業	文化政策課	市（委託）	作家中勘助氏の業績の顕彰や市民の文化・文芸活動の場として広く市民の文化向上に寄与すること。	「中勘助文学記念館」の日常管理運営及び中勘助顕彰事業の実施。	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認・検収件数（月報12件）	①８件 ②12回	①８件 ②12回	9,575	8,999	年間来場者数	2,021人	2,000人	2,178人	1,886人	直近３か年の実績値の平均値	1566人	B	B	開館30周年記念事業の実施により勘助の業績を広く発信することができたものの年間来場者数について目標値を下回ったため。	顕彰事業及び記念館活用事業の実施により、新規顧客層の獲得を含め、引き続き来館者の増加に努めていく。	市民の芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値 R6	直近3か年の実績値 R5	直近3か年の実績値 R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
180	3	(1)	①	【再掲】 市民活動センターの運営	市民自治推進課	市（直営・委託）	市民活動を促進することによって、市民自治によるまちづくりに寄与する。	①市民活動センターの運営 ②市民活動促進協議会の開催	①モニタリング調査の実施回数 ②センター連絡会議開催数 ③市民活動促進協議会開催数	①1回 ②6回 ③3回	①1回 ②6回 ③3回	63,247	62,981	①市民活動センター利用者数 ②市民活動センター新規登録団体数 ③市民活動センター利用者満足度調査で「満足」等と回答した人の割合	①44,150人 ②33団体/年 ③92%	①45,344人 ②51団体/年 ③97%	①46,571人 ②52団体/年 ③92%	①44,569人 ②33団体/年 ③89%	①R5とR6の実績値の増加率（▲2.6%）をR6実績値に乗じて目標値を設定した。 ②市民活動促進基本計画の目標：R5～R8平均33団体／年に向けて着実に数値を維持させていくための指標として設定した。 ③過去3年間の平均の実績値を目標値として設定した。	①45,431人 ②55団体/年 ③91%	①A ②S ③A	A	①②は成果指標を達成し、③は成果指標を下回るものの目標に対して9割以上の数値となっていることから、総合的にAと判断した。	市民活動センターの運営においては、来館者対応を中心とした支援だけでなく、活動現場に出向くアウトリーチ型の支援や、多様な主体をつなぐコーディネート機能の強化が求められている。今後は、関係構築や協働創出などソフト面を強化し、市民活動の促進につなげる。	市民活動センターの運営等を通じて、市民の自発的な地域・社会活動の促進に取り組むことができた。
181	3	(1)	①	【再掲】 児童館運営事業	こども若者応援課	市（委託）	地域における児童健全育成の拠点として、子どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童に健全な遊びを提供する。	市内13館の児童館の運営	適切な運営施設数	13館	13館	244,497	241,446	①利用者満足度 ②利用者数	①90% ②280,000人	①98.4% ②287,212人	①97.2% ②247,297人	①90.7% ②197,229人	①指定管理協定で設定している目標値とした。 ②地域の児童健全育成の拠点となる児童館は重要な役割を担う施設であり、多くの子育て家庭や児童に利用していただくことを目的に、前年度と同程度の利用者数を目標値とした。	①98.4% ②317,684人	①S ②S	A	利用者数、満足度ともに前年度を上回り目標を達成することができたため。	利用者が安心して来館し、安全に過ごせるよう、イベントや講座等を検討し、子育て支援事業の充実を図り、地域の児童の健全育成の拠点として利用者増を目指す。	地域における児童健全育成の拠点としての機能を果たすことができた。
182	3	(1)	①	【再掲】 駿府匠宿運営事業	産業振興課	市（直営・委託）	今川、徳川時代から受け継がれてきた伝統工芸とその後興った近代産業をテーマにした体験型施設「駿府匠宿」を運営し、創作体験や各種展示を通じて、来場者が工芸に親しみ、歴史に触れる機会を提供して、本市地場産業の振興を図る。	①「駿府匠宿」の管理・運営を指定管理者制度のもとに実施 ②本市伝統工芸や地場産業を体験できる場を提供	①協定締結事務件数 ②年度評価回数 ③定例会実施回数	①1回 ②1回 ③12回	①1回 ②1回 ③12回	184,155	183,808	①創作体験者数 ②利用者満足度	①23,200人 ②90%	①35,463人 ②96.4%	①29,863人 ②96.4%	①29,513人 ②97.8%	①②指定管理施設である駿府匠宿を現指定管理者が指定された際に過去5年度実績をもとに設定した。 ※新型コロナウイルス感染症に伴う自粛等を考慮している。	①37,904人 ②95.8%	①S ②S	S	実績値が目標値を大きくを上回ったため	今後も創造体験数と利用者満足度の実績向上を持続させるためには、参加者層の拡大や体験内容の充実が必要であり、これらに向けて指定管理者と協議を進めていく。	静岡市の伝統工芸を学ぶ機会を提供し、多くの方の学習に貢献することができた。
183	3	(1)	①	【再掲】 女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進（女性会館事業）	社会的包摂推進課	市（直営・委託）	男女共同参画社会実現のための拠点施設である女性会館を管理運営し、男女共同参画に係る各種事業を通して市民に広く啓発するとともに、女性をとりまく諸問題の解決に取組む市民グループの活動を支援する。	①指定管理者との協定の締結、男女共同参画に関する講座の開催、団体活動の支援、女性を取り巻く諸問題や男女共同参画に関する情報収集発信のための図書コーナーの運営、施設管理 ②女性会館相談室の開設：女性のための総合相談・法律相談、ＬＧＢＴＱ相談の実施 ③指定管理事業の年度評価の実施	①指定管理業務のモニタリング実施回数 ②指定管理業務報告確認・検査回数（年報1件、月報12件） ③年度評価の実施	①1回 ②13件 ③完了	①1回 ②13件 ③完了	108,761	108,385	①新規利用者数（講座、相談、図書） ②講座受講者の理解度 ③図書コーナーの図書貸出冊数 ④女性相談の適切な実施	①1,100人 ②80% ③17,640冊 ④実施	①1,409人 ②97.1% ③18,042冊 ④実施	①1,570人 ②96.9% ③17,503冊 ④実施（1,706件）	①1,284人 ②97.3% ③17,384冊 ④実施（1,889件）	①、②協定書の数値を目標値とした。 ③図書コーナーの本の貸出しにより男女共同参画の意識向上が図られることから、過去3年間の平均値を参考に目標値に設定した。 ④相談の適切な実施を指標として設定した（相談の適切な実施がなされているかについては、拡大ケースカンファレンスに出席し確認する）。	①1,486人 ②96.6% ③17,995冊 ④実施（1,614件）	①S ②S ③S ④A	A	・事業全般的に、若年層（高校生、親子等）に向けた事業を重点的に取り組んだことで、新規利用者数が増加した。 ・図書の利用者の増加に努めることにより、図書貸出冊数も例年を大きく上回った。 ・相談対応件数は若干減少したが、複雑化する相談に対応するため、支援体制とスキルアップに努めた。	・引き続きSNS等を積極的に活用し、講座・相談等を実施することにより、これまで女性会館を利用したことがない潜在利用者層（若年層）を掘り起こすこと及び新しい課題やより専門的な講座を実施することで男女共同参画の拠点施設としての機能をさらに充実させていくよう、指定管理者と協議等を行っていく。	多様な学習機会・特色ある学習機会の提供し、多くの方の学習に寄与することができた。
184	3	(1)	①	【再掲】 東静岡地区「アート&スポーツ／ヒロバ」開設・運営事業	企画課	市・補助等（直営・交付先）	「文化・スポーツ等の拠点」として位置付けた東静岡市有地を、本格的な整備方針が決定するまで、「賑わいづくりの実験場」として利活用する。	「まちは劇場プロジェクト」及び「2020年東京オリパラ」を見据えた取組として、大道芸・ダンス・音楽等の様々なジャンルとともに、ローラースポーツやホビー等のイベントを実施する「アート&スポーツ/ヒロバ」を運営する。	①実行委員会の開催 ②各作業部会の開催	①2回 ②6回	③12回	13,477	13,477	①東静岡アート＆スポーツ／ヒロバのローラースポーツパーク利用者人数 ②芝生広場でのイベント開催数	①15,123人 ②0回	①25,385人 ②3回	①26,189人 ②13回	①27,225人 ②12回	①前年度実績の110%を目標とする。（9月末で閉館のため、半年の実績とする） ②芝生広場については発掘調査のため令和7年度の利用は不可	①19,798人 ②0回	①S ②A	S	施設閉鎖に伴い、多くの人が訪れ、東静岡アート＆スポーツ/ヒロバでの思い出を振り返ってもらえたと評価する。	事業終了	市民のスポーツ・文化芸術活動練習や成果の発表・展示の場を設けるとともに、それを鑑賞する機会を創出した。
185	3	(1)	①	【再掲】 文化・クリエイティブ産業振興センター管理運営事業	産業政策課	市（直営・委託）	文化・クリエイティブ産業の活性化を通じ、新産業の創出や地域の賑わいづくりを行う	①大道芸、劇団などのパフォーミングアーツを支援する取組 ②クリエーターの集積と育成を図る取組 ③文化・クリエイティブ産業を振興するための啓蒙・啓発を進める取組 （展示会・セミナー等） ④企業とクリエーターとのマッチングを促進する取組	①指定管理関係業務（協定締結、年度評価、指定管理料支払業務等） ②管理運営に係る指導、助言	①事務処理の円滑な実施 ②月例会議（PD（プログラムディレクター）会議）への参加	①事務処理の円滑な実施 ②12回	91,538	90,859	①利用者数 ②利用者満足度 ③クリエーターと企業のマッチング件数 ④クリエーターの集積数	①40,000人 ②90% ③6件（R7年度以降16件） ④3者（R7年度以降5者）	①47,702人 ②92.2% ③20件 ④8者	①58,251名 ②85.6% ③12件 ④4者	①43,820名 ②90% ③16件 ④0者	指定管理業務仕様書【R5～R9】で定める指標を目標値に設定した。（過去の実績等を踏まえて各指標を設定。）	①39,403人 ②94.16% ③11件 ④3者	①A ②A ③C ④C	B	利用者数及び利用者満足度については目標を達成した。一方で、マッチング件数及び集積数については、令和7年度から目標を上方修正していることもあり、目標に達しなかったため、総合的にB評価とした。	今後もクリエーター向けのスキルアップと一般市民への啓蒙・啓発の双方を軸に事業の実施を推進する。	クリエイティブに関する講座やワークショップを実施し、市民に向けたクリエイティブ産業に対する学習環境を充実させることができた。
186	3	(1)	①	【再掲】 埋蔵文化財センター管理運営事業	歴史文化課	市（直営）	埋蔵文化財センターの円滑な管理運営と共に出土遺物の調査整理と展示公開を行い、市内の埋蔵文化財について顕彰する。	①発掘調査した遺跡の資料整理作業と出土遺物の保管・管理を行う。 ②整理作業の終了した遺物の展示や遺跡の紹介を行う。	①出土遺物の実測点数 ②企画展の開催回数	①500点 ②3回	①405点 ②3回	8,761	7,970	①年報、報告書完成2件以上 ②来館者数	①2件 ②1800人	①4件 ②2,007人	①3件 ②1,800人	①2件 ②2,168人	①例年刊行している文化財年報1件、計画されている発掘調査等報告書1件とした。 ②移緒工事による臨時閉館期間を考慮し、増は見込まず前年度の目標値と同数とした。	①3件 ②1,604人	①S ②B	A	修緒工事による臨時閉館（1か月程度）もあり、来館者数は目標値を下回ったが、当初予定以上の報告書を作成、刊行したため。	出土品に触れる機会など来館者増につながる取組を進めるとともに、出前講座や発掘調査報告書の電子公開など、様々な機会で埋蔵文化財を知ることができるよう取り組んでいく。	過去に刊行した発掘調査報告書をPDF化して公開し、市民の利用機会を増やすことができた。
187	3	(1)	①	【再掲】 老人憩の家における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市（直営・委託）	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等の為の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。	①各種相談事業、健康増進、教養の向上、レクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②実施	①随時 ②実施	22,556	21,824	利用者満足度	90.0%	99.8%	99.2%	98.3%	すでに一定の評価を得ている高い利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	99.0%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。	健康の増進、教養の向上及びレクリエーションに関する事業の実施により、高齢者へ学習の機会を提供することができた。
188	3	(1)	①	【再掲】 世代間交流センターにおける高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市（直営・委託）	世代間の交流活動を通じて、豊かな地域社会の形成に資する。	①高齢者と地域住民等が相互に交流することを促進し、地域の伝統文化を承継する事業及び世代間の交流に係る教養の向上、レクリエーション等の場を提供する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②実施	①随時 ②実施	59,642	57,393	利用者満足度	90.0%	98.8%	98.6%	99.1%	すでに一定の評価を得ている高い利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	98.0%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。	健康の増進、教養の向上及びレクリエーションに関する事業の実施により、高齢者へ学習の機会を提供することができた。
189	3	(1)	①	【再掲】 老人福祉センター等における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市（直営・委託）	老人に対し、各種相談に応ずるとともに、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し活動の指導及び推進を図る。	①各種相談事業及び健康増進、教養向上及びレクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②実施	①随時 ②実施	260,593	248,497	利用者満足度	90.0%	97.9%	97.7%	96.7%	すでに一定の評価を得ている高い利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	95.3%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。	健康の増進、教養の向上及びレクリエーションに関する事業の実施により、高齢者へ学習の機会を提供することができた。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
									活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）											
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近３か年の実績値 R6	R5	R4	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度	評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
②生涯学習施設等の使いやすさの向上																									
190	3	(1)	②	生涯学習施設の運用改善事業	生涯学習推進課	市（直営・委託）	生涯学習施設の利用者の視点に立ち、団体登録制度や予約制度の見直し、自由利用スペースの設置など、施設利用における利便性向上のための運用改善を指定管理者とともに行う。	①施設の利用に係る制度の見直し ②施設利用の利便性向上	ワーキンググループの開催	3回	3回	0	0	①生涯学習センター利用者満足度（職員の応対） ②清水区生涯学習交流館利用者満足度（職員の応対） ③実施した運用改善案	①96.4% ②99.3% ③1件	①97.4% ②99.5% ③1件	①97.0% ②99.3% ③2件	①94.8% ②99.1% ③1件	①②直近３か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ③複数ある案件のうち、必ず1件は実施を目指すものとして、目標に設定した。	①97.0% ②99.6% ③1件	①A ②A ③A	A	キャッシュレス決済の導入により利用者の利便性向上が図られた。	生涯学習施設の利便性向上のため、指定管理者と連携を密にして利用者視点に立った運用改善に取り組んでいく。	利用者視点に立った施設の運用方法の改善により、施設利用者の円滑な活動の支援を行い、生涯学習実施率の向上に寄与した。
（2）生涯学習施設等のデジタル環境の整備																									
①生涯学習施設等のデジタル環境の整備																									
191	3	(2)	①	生涯学習施設のデジタル化の推進	生涯学習推進課	市（直営・委託）	リモートやオンデマンドなどのデジタル技術を活用した学習機会の提供のために、生涯学習施設のデジタル学習環境を整備する。	施設のオンライン環境整備	モバイルＷｉ-Ｆｉルーターの設置台数	14台	19台	213	319	延べ利用回数	200回	159回	183回	128回	令和４年度の目標値を100回とし、毎年度50回増加する設定とした。	171回	B	B	延べ利用回数が目標の85.5%とやや低い結果となったが、着実にモバイルWi-Fiルーターを使用してのデジタル学習が浸透しているため。	さらなる環境整備に向けて、モバイルWi-Fiルーターの増台を図っていくとともに、周知を図る。	ルーター４台を山間地域でも電波受信できる携帯キャリアへ契約変更し、市内全域での活用を可能とした。
②生涯学習施設等の予約システムの管理・運用																									
192	3	(2)	②	生涯学習施設予約システムのDX化の推進	生涯学習推進課	市（直営）	施設予約のシステム化により、事務の効率化、迅速化とともに、利用者の利便性向上を図る。	①利用者登録 ②抽選申込み ③空き施設検索、予約申込 ④利用許可書発行	①利用者登録 ②システム運用の円滑な実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	12,734	10,848	計画的な停止等を除く年間のシステム稼働率	100%	100%	100%	100%	直近３か年の実績を基に設定した。	100%	A	A	施設予約システムが安定に稼働し、利用者がいつでも施設予約システムを使用できる状態を提供できただため。	キャッシュレス決済の導入によって利便性の向上を図ったが、今後も利用者・管理者ともに使いやすいシステムの運営を進めていく。	予約システムを利用することにより、利用申請前の予約受付や抽選などを円滑に行うことができ、利用者の生涯学習施設利用の利便性向上や施設管理業務の効率化につながった。
193	3	(2)	②	スポーツ施設予約システムの管理	スポーツ振興課	市（直営・委託）	インターネットを活用したサービスを提供することにより、各種スポーツ施設予約の利便性向上を図る。	①利用者登録 ②抽選申込み ③空き施設検索、予約申込 ④利用許可書発行	①利用者登録 ②システム運用の円滑な実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	17,414	42,523	アクセス件数	2,179,480件	1,941,635件	2,336,767件	1,948,684件	過去３か年のアクセス数平均値の５%増を目標値として設定した。	2,203,520件	A	A	目標値を上回り、多くの市民にスポーツ施設を利用してもらうことができた。	新システムへの移行に伴い、旧システムで可能だったことが一部出来なくなったため、適宜部分改修を行い利用者の利便性が向上するシステム運営を行う。	スポーツ施設の貸出を通して、多様な学びの機会の提供を行った。
（3）生涯学習に関する啓発や情報発信																									
①学ぶことの大切さの啓発																									
194	3	(3)	①	Reまなびプロジェクトの推進	生涯学習推進課	市（直営・委託）	人生１００年時代や予測困難な時代に必要な知識や技術を習得する「大人の学び直し」（リカレント教育やリスキリング等）について、様々な世代の市民一人一人に対してその大切さを伝え、魅力ある学習機会を提供する。	①市民の自発的な学びの支援 ②市民の学びの環境整備	①まちづくりの主役（原動力）となる人材養成の実施 ②市内32の生涯学習施設で、社会人基礎力講座を実施 ③教育機関として高度な専門教育を担う市内６大学の知的資源の活用	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	プロジェクト単独の予算なし	プロジェクト単独の予算なし	①静岡シチズンカレッジ こ・こ・にを受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②Reまなび大学リレー講座受講生満足度	①98.3% ②81.3%	—	—	—	当該プロジェクトに内包する以下２事業の成果指標を設定した。 事業No.198「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業」 事業No.27「大学連携事業の実施」	①96.0% ②83.1%	A	A	いずれの成果指標も目標の９割を超えており、市民に「大人の学び直し」の意識醸成と学習機会を提供することができただため。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	講座を受講した人の多くが、学んだことを地域や社会で活かしていきたいと回答しており、市民の意識醸成につながる講座を実施できている。
②学習情報などの効果的な発信																									
195	3	(3)	②	ここからネットの運用	市民自治推進課	市（委託）	市民が自分の住む地域で行われている、まちづくり活動に参加を促すための情報を提供する。	静岡市市民活動ポータルサイト「ここからネット」の運用	①定期報告によるアクセスレポートの報告確認回数 ②特集記事の掲載	①12回 ②2回	①12回 ②2回	2,853	2,853	静岡市市民活動ポータルサイト「ここからネット」の運用 ①年間総アクセス件数 ②情報を公開している団体数	① 181,500件 ②763団体	① 179,535件 ②781団体	① 197,111件 ②747団体	① 167,620件 ②761団体	①②過去３年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち、高い値を目標値として設定した。	① 175,138件 ②819団体	①A ②A	A	①は成果指標を下回るものの、目標に対して9割以上の数値となっており、②は成果指標を大幅に達成していることから総合的にAと判断した。	団体による市民活動ポータルサイトの活用が進んでいないことから令和８年度中にサイトは廃止とする。市民のまちづくり活動参加を促すため、より実態に沿った情報提供の方法を引き続き検討していく。	市民活動ポータルサイトの運営を通じて、生涯学習に関する啓発や情報発信に取り組むことができた。
（4）学習・活動相談体制の整備																									
①学習相談・活動相談の充実																									
196	3	(4)	①	生涯学習施設における学習相談の実施	生涯学習推進課	市（委託）	生涯学習施設において、学習機会や、サークル、講師の紹介など、生涯学習活動を行ううえでの様々な相談を受ける。	各生涯学習センターの窓口における相談実施	相談を実施している生涯学習施設数	11施設	11施設	指定管理料の一部	指定管理料の一部	相談件数	5,330件	4,775件	5,127件	6,088件	直近３か年の平均値を目標値として設定した。	6,096件	S	S	前年度よりも相談件数が増加しており、学習相談の周知が十分にされてる。	施設ごとの相談件数に差があるため、学習相談の制度の周知方法を工夫する必要がある。	毎月約500件の相談があり、生涯学習施設において学習の機会を提供できている。
（5）生涯学習推進体制の充実																									
①行政・企業・高等教育機関・NPO等との連携																									
197	3	(5)	①	【再掲】 大学連携事業の実施	生涯学習推進課	市（直営）	大学との連携による学習機会の提供により、市民の専門化、高度化した学習要求に応える	①Reまなび大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①Reまなび大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①6回 ②31回 ③2回	①6回 ②37回 ③2回	303	257	①Reまなび大学リレー講座受講生満足度 ②生涯学習施設・大学共催公開講座受講生満足度	①83.3% ②89.4%	①83.3% ②87.7%	①80.5% ②89.2%	①82.3% ②91.3%	①②直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①83.1% ②90.5%	①A ②A	A	いずれの成果指標も目標の９割を超えており、市民に高度で専門的な学習機会を提供することができただため。	社会情勢の変化に併せた市民への高度で専門的な学びの機会が求められているため、高等教育機関である大学との連携を強化し、市民への高度で専門的な学習機会や情報の提供に取り組んでいく。	Reまなび大学リレー講座においては、共通テーマを「アップスキリング」とし、ターゲットを現役社会人として実施することで、仕事や就職に役立つ学習機会を提供できている。
②市における推進体制の充実																									
198	3	(5)	②	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	生涯学習推進課	市（直営）	庁内各課で実施する人材養成事業を束ね、共通の方針や仕組みを整備することで、一体的に市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成する。	①市民向けの事業周知 ②全市一体的に人材養成事業を進めるため、こ・こ・に関係課で構成するシチズンシップ部会で連携を強化 ③修了生の活動支援	①市民向けの事業周知に利用した手法数 ②シチズンシップ部会の開催回数 ③修了生への活動支援の手法数	①7手法 ②2回 ③3手法	①7手法 ②2回 ③3手法	2,570	1,522	①静岡シチズンカレッジ こ・こ・にを受講した人のうち、学んだことを実際に地域や社会で活かしていきたい人の割合 ②修了者数	①98.0% ②505人	①98.0% ②649人	①98.2% ②582人	①97.0% ②508人	①直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。 ②令和７年度の講座定員に、修了率（修了者数／定員）の直近３か年の平均値79.7%を乗じた数値とした。	①96.0% ②564人	①A ②S	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、シチズンシップに富んだ人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	市関係各課との良好な連携がとれており、充実した生涯学習推進体制の構築ができている。今後、よりよい連携の方法を模索していく。
199	3	(5)	②	生涯学習推進事業（生涯学習推進審議会）	生涯学習推進課	市（直営）	第３次生涯学習推進大綱に基づき、市の生涯学習に関する施策について、調査審議し、総合的かつ計画的に生涯学習の推進を図る	①第３次生涯学習推進大綱の進捗管理 ②生涯学習審議会を開催し、生涯学習推進事業等の意見聴取	①第３次生涯学習推進大綱後期計画登載事業の進捗確認事業数 ②生涯学習推進審議会の開催回数	①208事業 ②3回	①200事業 ②3回	683	459	生涯学習施設の利用者数（貸館）	99万人	99万人	97万人	81万人	直近３か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	102万人	A	A	生涯学習施設の利用者数が目標値を上回り、生涯学習を推進することができただため。	令和８年度の大綱中間見直しに向けてより推進計画を実施のあるものに見直しを行う。	大綱に掲載される事業はすべて順調に進捗しており、より広い範囲で生涯学習の推進に寄与してる
200	3	(5)	②	市政出前講座の実施	広報課	市（直営）	市民参画による活力ある行政を展開するため、職員自らが地域へ出向き、対話を通して市民の考えや期待に触れる機会を設け、市民との信頼関係を築き、市民の市政に対する理解を深めるとともに、市政運営をより身近に感じてもらうための事業を行う。	（１）対象者：静岡市民、市内への通勤・通学者のグループ（10人以上） （２）開催日：平日の10時～21時 （３）内容：各課が提示した講座メニューから選択 （４）費用等：講師料、資料代は無料（その他は申込者が負担）	市政出前講座の開催回数	500	533	0	0	講座終了後のアンケートで講座の理解度を尋ねる設問に「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人の割合	100%	100%	100%	100%	過去３ヶ年の実績値を参考にした。	100%	A	A	目標値を上回る講座を開催できた。また講座の理解度も目標値と達成できた。参加者からも「打ち合わせで要望した内容の講座で、講座テーマについてより理解が深まった」など好評のコメントを得ているため。	申込方法が、申込用紙によるものに限られていることが課題である。今後、電子申請システムによる申込もできるようにし、より市民が利用しやすい事業にしていく。	市民が市政に対する理解を高め、市政運営を身近に感じてもらえる多様な学習機会を提供することができた。

前期中間評価（令和5～8年度）

資料２

総合評価
（R5～8年度）

A

・生涯学習施設の利用者数について、令和4年度末と令和7年度末を比較すると約15.6%（162,091人）増加している。社会人向けの講座を行っているが、講座内容や開催日時などについて、申込者数が増えるように改善を図っていく必要がある。「こ・こ・に」については、令和6年度に特定の分野やテーマに必要な知識・スキルを体系的に身につけられる内容となるよう見直しを行ったことにより、講座数が43講座から30講座に再編されたが、受講生数に対する修了生数の割合は9割を超え、地域や社会で求められる知識や技術を身につけられている。
・「学び」を地域や社会に活かすための事業が少なく、事業への参加者数もそれぞれの目標値に達していない状況が続いているため、既存事業の見直しや目標値達成のための取組などを行い市民の自発的な地域・社会活動を支援していくことが必要である。
・予約システムの改修やキャッシュレス導入、Wi-Fiの整備など、デジタル化の推進による施設の利便性向上やオンライン学習ニーズへの対応にも併せて取り組んだ。

施策の柱・リーディングプロジェクト



R5:A
R6:A
R7:A
→ **A**

【評価点】
貸館については、令和元年度をピークに、新型コロナウィルスの影響を受けて利用者数が激減したが、令和7年度には、指定管理施設においては令和元年度基準で9割まで回復した。令和7年8月に、葵生涯学習センターで自習学習したい高校生向けに開催した「夏の自習室」を通じて、生涯学習施設の存在を知ってもらう機会にもつながったことから、貸館を有効に使う工夫をしている。
【改善点】
仕事や就職に関する学習機会の提供を強化しているものの、仕事や私生活での多忙さや広報手段の不足などにより、募集定員を下回る申込状況となるケースも見られた。このため、多くの市民にとって生涯学習がより身近なものとなるよう、学習機会の提供方法や内容、開催日時等の工夫を図る必要がある。

（参考）施策の評価につながる主な出来事

年度	トピックス
R5（2023）	前年度に開館した静岡市歴史博物館での展示等による生涯学習機会の拡充
R6（2024）	藁科生涯学習センター（藁科図書館と併設）の大規模改修が終了し、開館
R7（2025）	葵生涯学習センターにおいて、夏休み期間に自主学習支援を目的とした集会室の貸出サービス「夏の自習室」を試行的に実施



R5:A
R6:A
R7:B
→ **B**

【評価点】
「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」では、人材像を従来の「市民自治によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人」から、「静岡市が地域経済と市民生活の両面で持続可能な発展を遂げていくための主役（原動力）となる人」へと見直した。これに伴い、実際に地域や社会で活躍する人材の養成を目的とした講座へ再編するとともに、修了後に学んだ知識や技術を活かすための支援策の充実を図ることができた。
【改善点】
修了講座数やポイントの蓄積により認定する「静岡まちづくりマスター認定制度」は、学びを地域や社会での活動につなげる仕組みとして一定の成果を上げてきた。一方で、講座ごとの専門性や、身につけた能力が外部から分かりにくいという課題があった。
こうした点を踏まえ、令和7年度から、特定の分野やテーマに必要な知識・スキルを体系的に身につけられる講座へ見直しを行い、講座ごとに学びで得た専門的な知識やスキルを客観的にデジタルで証明できるオープンバッジを導入したことから同認定制度を廃止した。令和8年度に静岡まちづくりマスターを証明するオープンバッジを発行したが、今後の活用について検証が必要である。

（参考）施策の評価につながる主な出来事

年度	トピックス
R5（2023）	第3次静岡市生涯学習推進大綱（R5-R12）策定に伴う「こ・こ・に」 ⇒リニューアルとして2学部1コースに再編 キャリアチャレンジ学部／地域チャレンジ学部／高校生チャレンジコース 第5回交流会ここにわ開催
R6（2024）	「こ・こ・に」リニューアル（大幅な見直し）検討 ⇒まちづくりの主役（原動力）となる人材養成へ転換 第6回交流会ここにわ開催
R7（2025）	「こ・こ・に」リニューアル完了 オープンバッジ導入



R5:A
R6:A
R7:A
→ **A**

【評価点】
利用しやすい生涯学習施設を目指して、令和6年度に新しい「スポーツ・生涯学習施設予約システム」を導入し、オンラインで利用者がいつでも施設予約システムを使用できるようになった。また、船越交流館が令和6年にリニューアルオープンし、バリアフリーをはじめとする利用しやすい施設づくりを実現している。令和7年度には使用料のキャッシュレス決済を導入、令和8年度に予約システムにおけるオンライン決済機能を追加したことで、施設の受付窓口に行かなくてもオンラインで対応できるサービスが拡充している。
【改善点】
令和4年度から生涯学習施設におけるWi-Fi環境の整備を進め、令和7年度に直営館全館への設置が完了した。一方、指定管理施設では利用頻度の高い施設に限った整備であることから、今後は全施設への展開を進めることで、学習機会の拡充とデジタル学習への対応を図る必要がある。
施設の既存スペースにテーブルやイスを設置し、休憩や打合せなどで利用しやすい「自由利用スペース」を北部、有度、玉川、藁科に整備し利用を促進したが、学習にも使えるスペースへと拡充していくよう検討していく。

（参考）施策の評価につながる主な出来事

年度	トピックス
R5（2023）	自由利用スペースの拡充
R6（2024）	船越交流館の新館完成・開館 新予約システムの導入 キャッシュレス決済の導入 Reまなびシンポジウムの開催
R7（2025）	予約システムのキャッシュレス決済導入

第３次生涯学習推進大綱　中間計画案の策定に向けて

資料3−1

１．ご意見を伺いたいこと

・市民意識調査の結果、前期推進事業中間評価の結果などから見える課題
・静岡市第5次総合計画や他の計画と第３次大綱の異なる点や課題
これらを勘案して見直し案を策定したいため、意見を伺いたい。

２．期間について

３次大綱は計画どおり2030年度までとし、４次大綱は静岡市第5次総合計画の終期に合わせて2031年度～2035年度としたい。

３．現状

（１）市民意識調査の結果

ア.現行の成果指標の伸び率から年度ごとの数値を割り出して考えると目標達成は困難である。

イ.３つの指標において、30代、40代の数値がH30から右肩下がりである。

ウ.生涯学習を行う目的を人生を豊かにするためと答えた市民の割合（57.9%）、また、生涯学習を通じて人生を豊かにしていると答えた市民の割合（68.9%）は内閣府調査（それぞれ45.8%、53.8%）を大きく上回っている。

エ. 10代の「地域に愛着がある（そう思う：44.7%）」、「地域の人と積極的に交流したい（21.1%）」という数値は全年代で最高値であるが、参加できない原因が「仕事・勉強が忙しい」ことである。

オ.20代～50代は「自宅や移動中（オンライン等）」を強く望んでおり、平日の夜間やオンラインなど、現役・子育て世代が参加しやすい細切れの時間に対応できる環境構築が課題。

カ. 20代、30代の情報の収集は「SNS」が4～5割を占める一方、60代は「新聞・雑誌（39.7%）」、70代は「行政の広報紙（34.9%）」、80代以上は「自治会の回覧板（32.1%）」と、情報が届くルートが全く異なる。

（２）前期推進事業中間評価の結果

ア. 学びを地域や社会に活かすための対話や地域交流の促進の事業が少なく、事業への参加者数もそれぞれの目標値に達していない状況が続いている。

イ.予約システムの改修やキャッシュレス導入、Wi-Fiの整備などのデジタル化を推進することによる施設の利便性向上やオンライン学習ニーズへの対応に積極的に取り組んできた。

ウ.大綱掲載事業が約200事業もあるが、生涯学習の推進に直接寄与するものは少なく、成果指標への反映が分かりづらい。

（３）静岡市第5次総合計画や他の計画と第３次大綱を比較した際の課題（比較表：**資料３－２**）

ア.リカレント、リスキリング

単なる理論や抽象的な知識の暗記にとどまらず、社会に出てから直接役立つ知識や技術、実践的な応用力を学ぶことを重視したリカレント教育の提供により地域社会や経済を支える人材を育てること、リスキリングには希望する仕事に就いたり仕事を続けていく経済的な安心感を求めることを重要視している。

イ.ウェルビーイング

すべての計画に市民の「ウェルビーイング（幸せや生きがい、愛着の実感など）を共通のゴールにしている。

ウ.推進体制・民間連携

民間企業・NPO・大学等との共働・共創のまちづくりによる安心と幸せが感じられる社会の実現が求められている。

エ.デジタル変革(DX)

現行大綱（P.6）はコロナ禍の一時的な「オンラインツールの利用」という手段の記述にとどまっている。

オ.社会的包摂

誰もが排除されず、地域の中で安心してつながり・支え合える「包摂的な地域社会」を実現し、個々の幸福感をきめ細かく高めていくアプローチしていくことが求められている。

（４）現大綱においては、上記の考え方について表現の違いこそあるが盛り込まれている。

４．課題と見直しのポイント

（１）**人口減少及び少子高齢化の加速とウェルビーイングの向上**

人口減少の加速により地域経済の縮小や生活関連産業の衰退、雇用の縮小など、日常生活への直接的な影響が起こる。特に若年層の流出や高齢化は地域の活力を損ない、市民一人ひとりの暮らしの質や幸福感の低下につながるおそれがある。

このため、こどもから高齢者まで、年代やライフステージの違いに応じた様々な講座の提供、オンライン・オンデマンドを活用した講座の提供が必要となってくる。

（２）**「アウトカム」を重視した市政運営**

今後はフォアキャスティング型の市政運営からバックキャスティング型の考え方へ転換し、「アウトプット」に重点を置くのではなく、市民にどのような幸せや暮らしの豊かさがもたらせれるかという「アウトカム」を重視したい。

このため、生涯学習を通じて自身の心が豊かになるような施策・取組が必要となってくる。

また、大綱における成果指標や各事業の目標値はアウトカム視点で設定する必要がある。

（３）**共働・共創のまちづくり**

多種多様な課題の解決のためには、行政の力だけでなく、市民・地域社会・企業・行政など社会全体の力による「共働・共創」が不可欠。このため、行政の立場では、社会の力がうまく働き、共働・共創の輪が広がるよう下支えし、結果が出るよう伴走することが必要。

（４）**社会的包摂（外国人、障害者、性別等）への考え方の整理**

きめ細やかかつ求められるものを提供していくことが大事。

（５）**DX化の推進**

生成AI等の「知能革命」が急速に進展する中、一過性の非対面対応（オンライン化）にとどまらず、市民の誰もがデジタル技術を主体的に活用し、社会変化に適応していくための「教育DX（デジタルトランスフォーメーション）」の強力な推進が必要。

（６）考え方は現大綱にある程度盛り込まれていることから、基本構想に大きな変更を加える必要はない。大綱は言葉の表現に変更を加え、搭載する推進事業の見直しを図る。

５．ポイント等を踏まえた変更点（大綱Ｐ１～P14）

大綱	ポイント等	現大綱	見直し案
生涯学習の現状と課題（P6第1章Ⅱ1）	(1)ウェルビーイングの向上 (2)「アウトカム」を重視した市政運営	記載なし	静岡市の市民意識調査によると、生涯学習を行っている市民のうち、自分の人生を豊かにしていると答えた方の割合が68.9％と高く、内閣府「生涯学習に関する世論調査(令和４年)」の53.8％を大きく上回っています。 市民が幸せを実感し、住み続けたいと感じられるまちを実現（ウェルビーイング）させていきます。
生涯学習の現状と課題（P7第1章Ⅱ3）	(5)DX化の推進	DXの進展やなどの経済社会の激しい変化への適応が不可避となり、また、人生100年時代において、働く期間がますます延びており（図５）、学校教育を終えて社会に出てからも常に学び続け、新しい考え方やスキルなどを身に付けていくことが求められています。	DXの進展や知能革命の進展（生成AI等）などの経済社会の激しい変化への適応が不可避となり、また、人生100年時代において、働く期間がますます延びており（図５）、学校教育を終えて社会に出てからも常に学び続け、新しい考え方やスキルなどを身に付けていくことが求められています。
生涯学習の現状と課題（P7第1章Ⅱ3）	・静岡市教育大綱における実学を重視したリカレント教育	本市においては、大学や企業等と協働し、リスキリングやリカレント教育等といった「大人の学び直し」などの学びの場の充実に取り組んでいきます。	本市においては、社会に出てから直接役立つ知識や技術、実践的な応用力を学ぶことを重視したリスキリングやリカレント教育の提供により、地域社会や経済を支える人材を育て、大学や企業等と協働し、「大人の学び直し」などの学びの場の充実に取り組んでいきます。
将来像と８年後の目指す姿（P9第2章Ⅰ）	・総合計画などでは触れていない	世界中の人が目指している持続可能な開発のための17の目標（SDGs）では、子どもから大人まで男女の区別なく全ての人々が質の高い教育を受けられることを目標にしています（目標４）。	削除
将来像と８年後の目指す姿（P10第2章Ⅰ）	(1)ウェルビーイングの向上 (2)「アウトカム」を重視した市政運営	・より多くの市民が生涯学習を行っている ・生涯学習を行っている市民の割合	・より多くの市民が生涯学習を通して人生が豊かになっている ・学んだことで自分の人生が豊かになったと感じている市民の割合・・・・75％

6．ポイント等を踏まえた変更点（大綱P15～P34）

大綱	ポイント等	現大綱	見直し案
生涯学習推進体制（P13第2章Ⅲ）	（３）共働・共創のまちづくり	さらなる生涯学習の推進のためには、行政、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、ＮＰＯ等が連携した生涯学習推進体制の確立が必要です。	さらなる生涯学習の推進のためには、民間事業者・大学と講座の内容や対象を地域の実情に応じて調整し、連携することで講座の質を高めるなど、行政、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、ＮＰＯ等が連携した生涯学習推進体制を確立し、共働・共創のまちづくりにより安心と幸せが感じられる社会の実現を目指します。
推進期間（P14第2章Ⅳ）	・４次総の廃止と５次総策定		４次総の廃止と５次総の策定及び期間を反映させた文言及び図を修正する。
施策を進めるうえで大事にしたい視点（P16第3章Ⅱ2）	(1)人口減少及び少子高齢化の加速 (2)「アウトカム」を重視した市政運営	２　テーマや対象者に合わせて事業を実施すること	２　年代やライフステージの違いに応じた様々な講座を提供すると共に、テーマや対象者に合わせて事業を実施すること
リーディングプロジェクト(P17-19第3章Ⅲ)	・取組施策の最適化による見直し	リーディングプロジェクトの記述	削除
全般			グラフ・資料の更新、文言（ポストコロナなどの削除）修正など

7．ポイントを踏まえた体系図の変更点



各種計画比較した現大綱の現状

資料3−2

検討テーマ	現行：生涯学習推進大綱（R5.3）	① 国の最新動向 （第4期基本計画/中教審R6.6）	② 静岡市第5次総合計画（R8.3）	③ 静岡市教育大綱（R6.11）
1. リカレント・ リスキリング	個人の趣味、教養、「好きなこと」のアップデートなど、自己実現的な学びが主軸。 【根拠：『第3次大綱』P.1（表紙キャッチコピー「わたしごとをアップデート！」）、P.9「将来像：自らの興味・関心に基づき、生涯を通じて学び続ける」】	社会人の主体的キャリア形成、産業界連携による「キャリアアップ・労働流動化への対応」を強く推進。 【根拠：『中教審生涯学習分科会議論の整理』P.2「社会人のリカレント教育」、P.16「社会人のリカレント教育の推進：個人のキャリアアップや社会の構造変化・労働流動化への対応」】	地域経済の活性化や雇用確保の観点から、「希望する仕事」「経済的な安心」に繋がる産業・教育施策を網羅。 【根拠：『静岡市基本計画』P.75「おわりに（仕組み・土台：地域の稼ぐ力→希望する仕事・経済的な安心感・雇用の確保）」】	入社から定年までの前提崩壊を直視。「実学を重視したリカレント教育」「転職・起業支援」を明記。 【根拠：『静岡市教育大綱』P.8「実学を重視したリカレント教育の提供により、地域社会や経済を支える人材を育てていく。 重点的な取組：就業・起業支援、転職・起業」】
2. 目指すゴール・ 成果指標	受講者の「満足度」や「学習講座への参画意欲」など、アウトプット・主観評価（P.34）が中心。 【根拠：『第3次大綱』P.34「Ⅴ.推進計画の評価（評価・改善のサイクル）」、P.35「Ⅵ.体系図」】	日本社会に根差した「ウェルビーイング（幸せや生きがい）の向上」を包括的な目標に設定。 【根拠：『国の第4期教育振興基本計画』P.3「II.今後の教育政策に関する基本的な方針：（2）日本社会に根差したウェルビーイングの向上」】	市民一人ひとりが「幸せを実感し、住み続けたいと感じられるまち」の実現（ウェルビーイング）。 【根拠：『静岡市基本計画』P.75「おわりに：誰もが安心して暮らし、幸せを実感し、住み続けたいと感じられるまちを実現」】	国の第4期計画を深く参酌し、「主観的ウェルビーイングの向上」を基本方針へダイレクトに導入。 【根拠：『静岡市教育大綱』P.3「1 策定背景：主観的ウェルビーイング（多様な個人それぞれが感じる幸せや生きがい）の向上や多様な教育ニーズへの対応…」】
3. 推進体制・ 民間連携	行政主導（大綱P.13）。生涯学習センターや公民館など、施設単体での縦割り講座提供が主流 【根拠：『第3次大綱』P.13「Ⅲ.生涯学習推進体制（行政の役割、生涯学習センター等の役割、社会教育委員の役割）」】	「社会教育人材の養成・活躍」、民間企業・NPO・大学等との多角的な連携強化を提示。 【根拠：『中教審生涯学習分科会議論の整理』P.2「4）社会教育人材」、P.26「社会教育人材の養成・活躍のあり方」】	「共働・共創のまちづくり」を掲げ、行政単体ではなく社会全体の力を引き出す仕組みへシフト。 【根拠：『静岡市基本計画』P.2「第3章 課題解決の基本的な考え方 ～共働・共創のまちづくりによる安心と幸せが感じられる社会の実現～」】	「地域や経済界との緊密な連携」により、多様な学びを創出し、社会の実践現場で生かす方針。 【根拠：『静岡市教育大綱』P.8「重点的な取組：地域や経済界との連携により、様々な学びを提供し、学んだ内容を社会の中の実践で生かす…」】
4. デジタル変革 （DX）	コロナ禍の非対面対応を踏まえた「オンラインツールの活用」という限定的・手段的な表現に留まる。 【根拠：『第3次大綱』P.6「（2）社会情勢の変化への対応：新型コロナウイルス感染症の拡大…オンライン会議システム等の活用による多様な学習機会の提供」】	教育分野全体における「デジタルトランスフォーメーション（教育DX）の強力な推進」を明記。 【根拠：『国の第4期教育振興基本計画』P.3「方針④ 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進」】	「知能革命の進展（生成AI等）」という厳しい現実を正面から直視した、先進的な市政運営への転換。 【根拠：『静岡市基本構想』P.3「3 市政運営の転換の必要性：深刻な人口減少や知能革命の進展、地球環境の危機など…」】	予測困難な未来社会に対応するため、多様な教育ニーズや劇的な環境変化への適応力を重視。 【根拠：『静岡市教育大綱』P.3「1 策定背景：社会や時代が大きく変化する中…予測できない未来に向けて持続可能な社会を創っていくことが重要」】
5. 社会的包摂 （インクルージョン）	全般的な「市民」を一括の対象としており、特定の困難や多様な背景を持つ層への言及が希薄。 【根拠：『第3次大綱』P.4～14（全体を通じて、対象が広く『市民』と一括りにされており、特定の弱者・多様な背景層への個別記述がない）】	「障害者の生涯学習機会の確保」や「外国人の日本語学習の推進」を今期の最重要事項に指定。 【根拠：『中教審生涯学習分科会議論の整理』P.2「今期重点的に議論した事項：2）障害者の生涯学習、3）外国人の日本語の学習」として独立した章を構成】	誰もが排除されず、地域の中で安心してつながり・支え合える「包摂的な地域社会」の実現。 【根拠：『静岡市基本計画』P.76「安心して暮らせる：地域の中でつながり・支えがあり、安心して生活できる」】	一人ひとりの多様な教育ニーズに寄り添い、個々の幸福感をきめ細かく高めていくアプローチ。 【根拠：『静岡市教育大綱』P.3「1 策定背景：多様な教育ニーズへの対応など、新たな概念、方針が示されました」】